



御殿場市営住宅等長寿命化計画

(令和3年度～令和12年度)

令和3年3月



御殿場市
GOTEMBA CITY

目 次

第 1 章 公営住宅等長寿命化計画の背景・目的

1	計画策定の背景	2
2	計画策定の目的	2
3	計画期間	2
4	計画の位置付け	3

第 2 章 公営住宅等の状況

1	公営住宅の現状	6
(1)	居住者の状況	6
(2)	公営住宅の概要	8
(3)	団地別実態調査	16

第 3 章 長寿命化に関する基本方針の設定

1	長寿命化に関する基本方針	84
2	ストックの状態の把握・修繕・日常的な維持管理・データ管理の方針	84
3	ライフサイクルコストの縮減に関する方針	84

第 4 章 公営住宅等長寿命化計画の対象と事業手法の選定

1	団地別・住棟別の事業手法の選定	85
2	公営住宅の需要の見通しに基づく将来のストック量の推計	86
3	1 次判定	88
4	2 次判定	93
5	3 次判定	96

第 5 章 長寿命化のための事業実施予定一覧

1	計画修繕・改善事業の実施予定一覧	103
2	新規整備事業及び建替事業の実施予定一覧	105
3	共同施設に係る事業の実施予定一覧（集会所・遊具等）	106

第 6 章 市営住宅における点検・計画修繕・改善事業・建替事業の実施方針

1	点検の実施方針	107
2	計画修繕の実施方針	111
3	改善事業の実施方針	111
4	建替事業の実施方針	112

第 7 章 ライフサイクルコストとその縮減効果の算出

1	ライフサイクルコスト（LCC）の算出の基本的な考え方	113
2	ライフサイクルコスト（LCC）の縮減効果の算出の基本的な考え方	114

第1章 公営住宅等長寿命化計画の背景・目的

1 計画策定の背景

平成18年6月、本格的な少子高齢社会、人口・世帯減少社会の到来を目前に控え、現在及び将来における国民の豊かな住生活を実現するため、『住生活基本法』が制定された。

この『住生活基本法』に基づいて策定された『住生活基本計画（全国計画）』では、これまでの「古い建物は壊して新しく造る」というフロー重視の政策から、「既存の建物を修繕し、きちんと手入れをして長く大切に使用していく」というストック重視の政策へと大きく転換が図られた。

現在、御殿場市には市営住宅は17団地891戸、県営住宅は1団地54戸が存在する。

ただし、市営住宅891戸の内、築40～50年が経過した簡易耐火平屋建て住宅（以下「簡易平屋住宅」という。）が327戸（37%）、築30年以上経過した中層耐火住宅が216戸（24%）あり、全体の60%以上で老朽化が進み、再生が必要な住宅となっている。

平成23年3月に、建替え・全面改修・部分改修・維持保全等の適切な活用方法の選択を行い、公営住宅を総合的に活用するための『御殿場市営住宅等長寿命化計画』を策定し、市営住宅の維持管理を進めてきた。

平成26年に『国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）』により、道路・河川・鉄道等のインフラ設備等、公営住宅を含む公共施設の維持管理の指針が示され、維持管理に対する考え方が変化してきている。

また、平成28年には『公営住宅等長寿命化計画策定指針』が改定され、公営住宅等の長寿命化への取組として、ライフサイクルコスト（維持管理費用）縮減のための取組強化が求められている。

御殿場市では平成29年に『御殿場市公共施設総合管理計画』を策定し、市営住宅を含む公共施設の長期維持管理についての方針を定めている。

これらの上位・関連計画との整合性を図りながら今後の市営住宅等の適切な維持管理の実現に向けた、『御殿場市営住宅等長寿命化計画』の改訂が求められている。

2 計画策定の目的

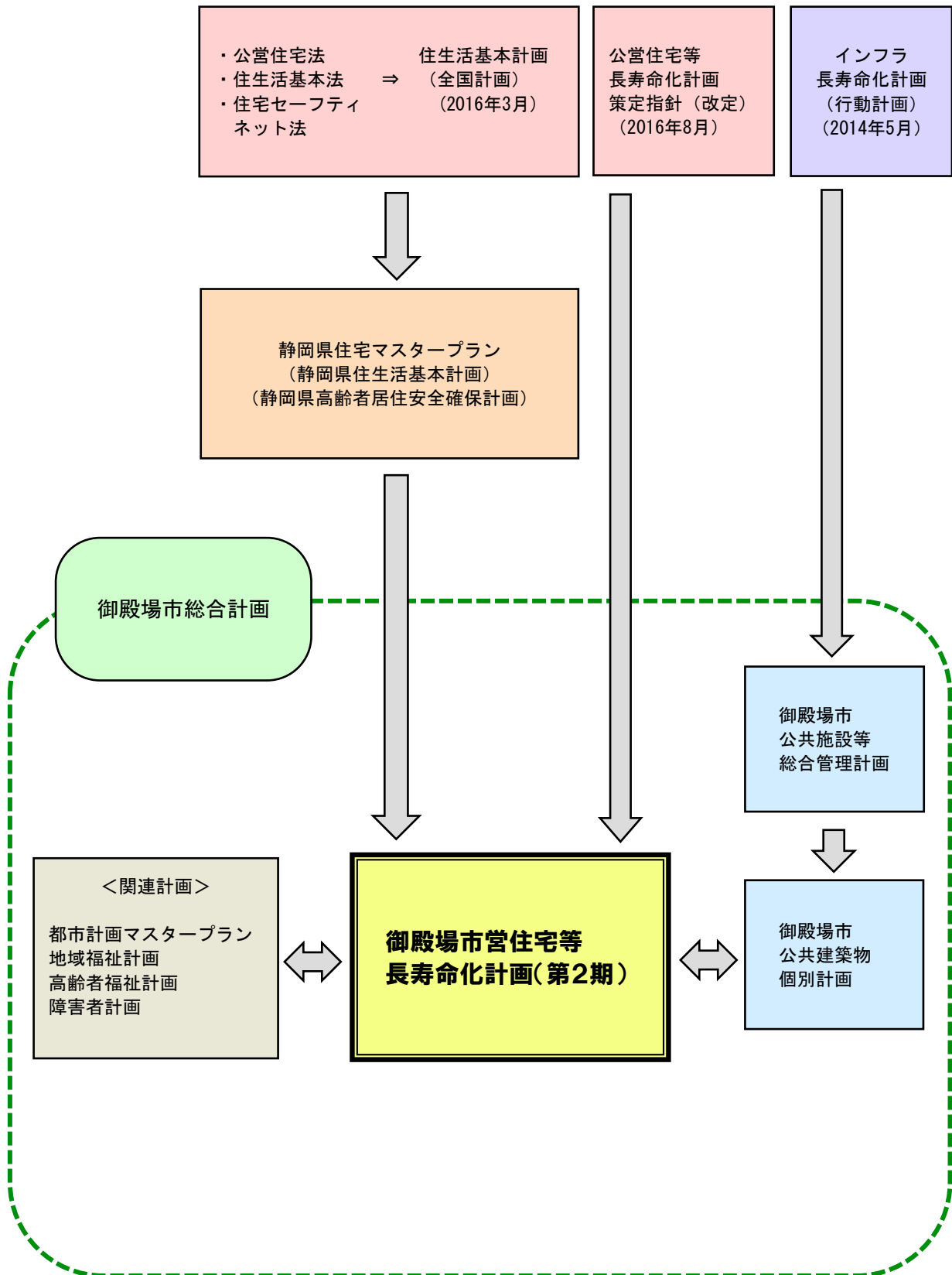
既存ストックを有効に活用できるよう、適切な点検・修繕・改善・データ管理等を行い、公営住宅等の状況や、公営住宅等に対する将来的な需要見通しを踏まえた団地のあり方を考慮した上で、団地別・住棟別の事業方法を選定すると共に、長寿命化に資する予防保全的な維持管理・改善を計画的に取り組み、長寿命化によるライフサイクルコスト（LCC）の縮減を目指すことを目的とする。

3 計画期間

本計画は、10年間（令和3年度～令和12年度）を計画期間として策定する。

また、社会情勢の変化、事業の進捗状況等に応じ、地域住宅計画の見直し等と連動して、概ね5年ごとに定期的に見直しを行うこととする。

4 計画の位置付け



◆御殿場市の上位関連計画

計画	第四次御殿場市総合計画後期基本計画	計画期間	令和3年度～令和7年度
将来都市像：緑さらさら、人いきいき、交流都市 御殿場 ○世界の宝である富士山が与えてくれる豊かな自然を保全・活用し、誰もが生きがいと誇りを持って暮らすことのできるまちづくりを進め、本市の魅力に惹かれ、人々が集うまちを将来都市像として表す。 ■政策方針1：人が集い活力あふれる産業を育てるまちづくり 《産業》 ■政策方針2：笑顔あふれる健やか・福祉のまちづくり 《健康福祉》 ■政策方針3：安全で安心して暮らせるまちづくり 《防災・市民生活》 ■政策方針4：富士山のように大きな心を持った人づくり 《教育文化》 ■政策方針5：富士山の恵みを大切に作るまちづくり 《環境》 ■政策方針6：富士山の麓にふさわしい美しく快適なまちづくり 《都市基盤》 ■政策方針7：雄大な富士と共に歩む協働のまちづくり 《協働・計画推進》 ◆市営住宅の整備 ○既存市営住宅の建替えや適切な維持管理により、住宅に困窮している低所得者、高齢者、障害のある人、子育て世代などに対し、低廉な家賃による居所の提供に努める。 ◆SDGsでの位置付け 目標3 すべての人に健康と福祉を 目標10 人や国の不平等をなくそう 目標11 住み続けられるまちづくりを    ◆SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年を期限とする国際社会全体の17の開発目標である。各分野にわたる17の目標の下に169のターゲット（具体目標）が掲げられており、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、経済・社会環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものとされている。			

計画	御殿場市都市計画マスタープラン	計画期間	令和3年度～令和7年度
本計画は、都市計画法第18条の2に示される「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として、「第四次御殿場市総合計画（後期基本計画）」、「御殿場小山広域都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」及び「第三次御殿場市国土利用計画」の内容に即し、本市が策定する計画である。 都市計画マスタープランの役割 ①御殿場市全体の将来都市像及び地域別の将来像を示す。 ②御殿場市の土地利用及び都市施設などの都市計画の決定・変更の際に、その方向性を示す。 ③地域活力の創出と豊かで暮らしやすい都市づくりを市民と協働で進めるための指針を示す。			

計画	第3次御殿場市地域福祉計画	計画期間	平成28年度～令和3年度
本計画は、社会福祉法第107条で、地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉、その他の福祉において共通して取り組むべき事項等を定めた計画である。 I 地域住民としての意識づくり II 地域における福祉の環境づくり 1 住みやすいまちづくり 市が取り組むこと【公助】 ○高齢者や障害のある人に対応した市営住宅の整備を進める。 III サービスを利用しやすい仕組みづくり			

計画	御殿場市第9次高齢者福祉計画	計画期間	令和3年度～令和5年度
基本施策 1. 地域包括ケアの推進 ・ 住まいの安定的な確保 高齢者にとって安全・安心で快適な住まいづくりを行うことの重要性を考慮し、高齢者福祉施設等との複合的対応を考えた市営住宅の整備等について調査・研究を進めていく。 2. 介護予防の推進と自立生活の支援 3. 社会参加の支援と生きがいのづくりの推進 4. 認知症高齢者の支援 5. 高齢者の権利擁護 6. 介護保険事業の安定した運営			

計画	第5次御殿場市障害者計画	計画期間	平成30年度～令和4年度
●この計画の基本理念を遂行するために、6つの基本目標掲げる。 I 理解と交流と社会参加の促進 II 健康の維持・増進 III 教育・療育の充実 IV 相談体制・障害福祉サービスの充実 V 就労支援と生活の安定 ・ 居住場所の確保→市営住宅の提供体制の維持 VI 快適で安心できるまちづくり			

第2章 公営住宅等の状況

1 公営住宅の現状

(1) 居住者の状況

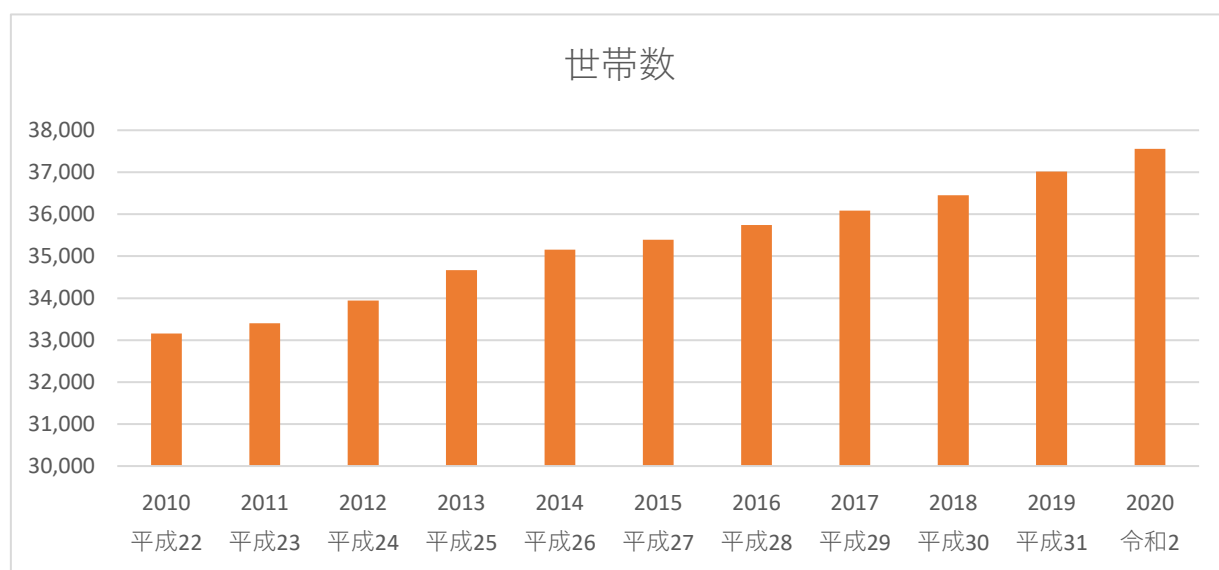
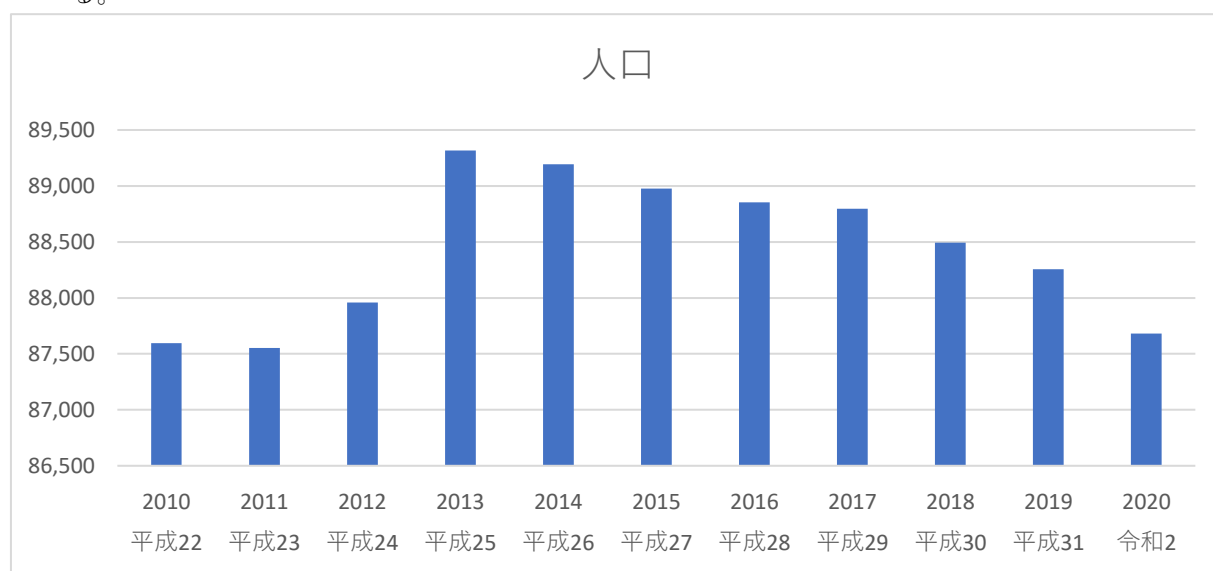
① 御殿場市の人口

御殿場市の人口は、2010年（平成22年）に87,596人から年々増加傾向で推移してきたが、2013年（平成25年）の89,318人をピークにその後は減少し続け、2020年（令和2年）には、87,681人となっている。

② 御殿場市の世帯数

御殿場市の世帯数は、人口ピークの2013年（平成25年）に34,667世帯から年々増加傾向で推移してきており、2020年（令和2年）には37,555世帯となっている。

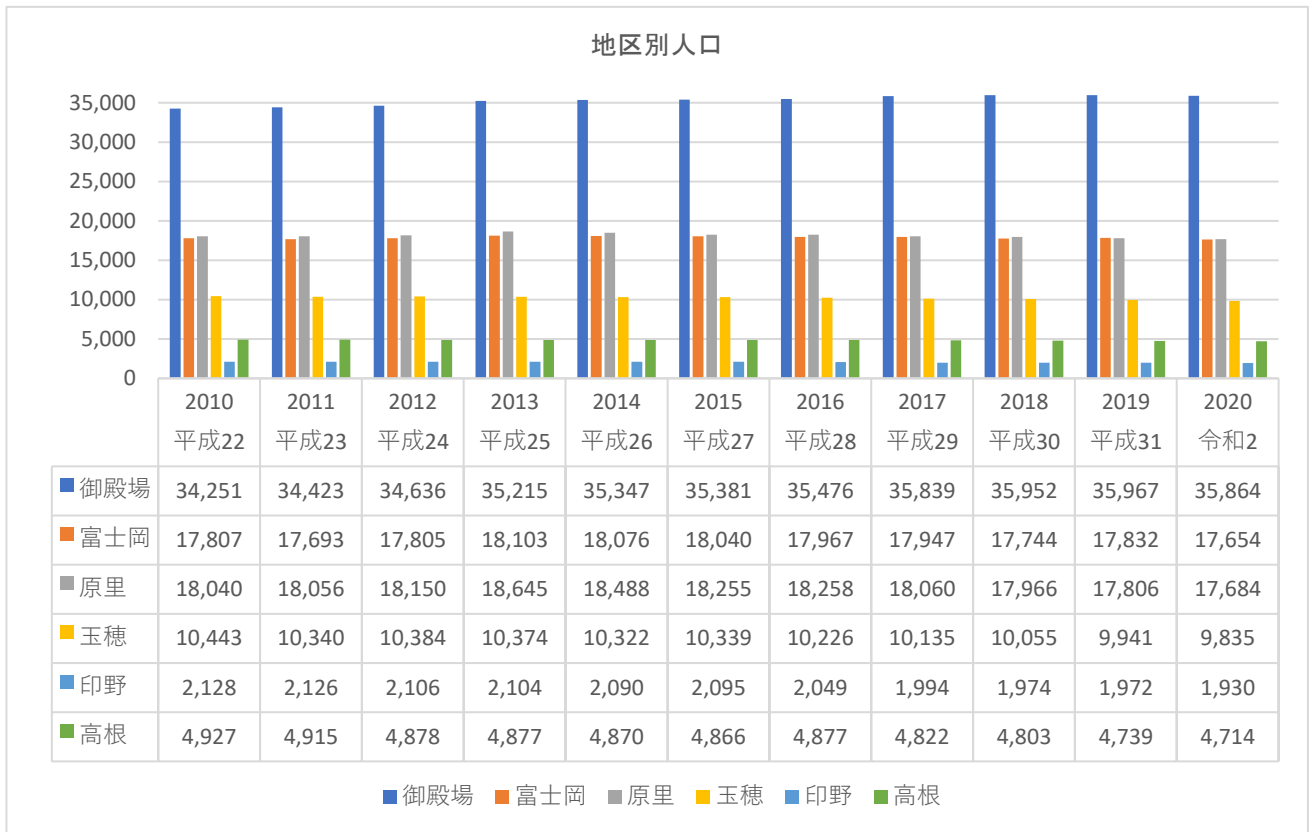
人口が減少している中、世帯当りの世帯人員が減少し、2人・単身者世帯が増加していると推測される。



出典：御殿場市統計書

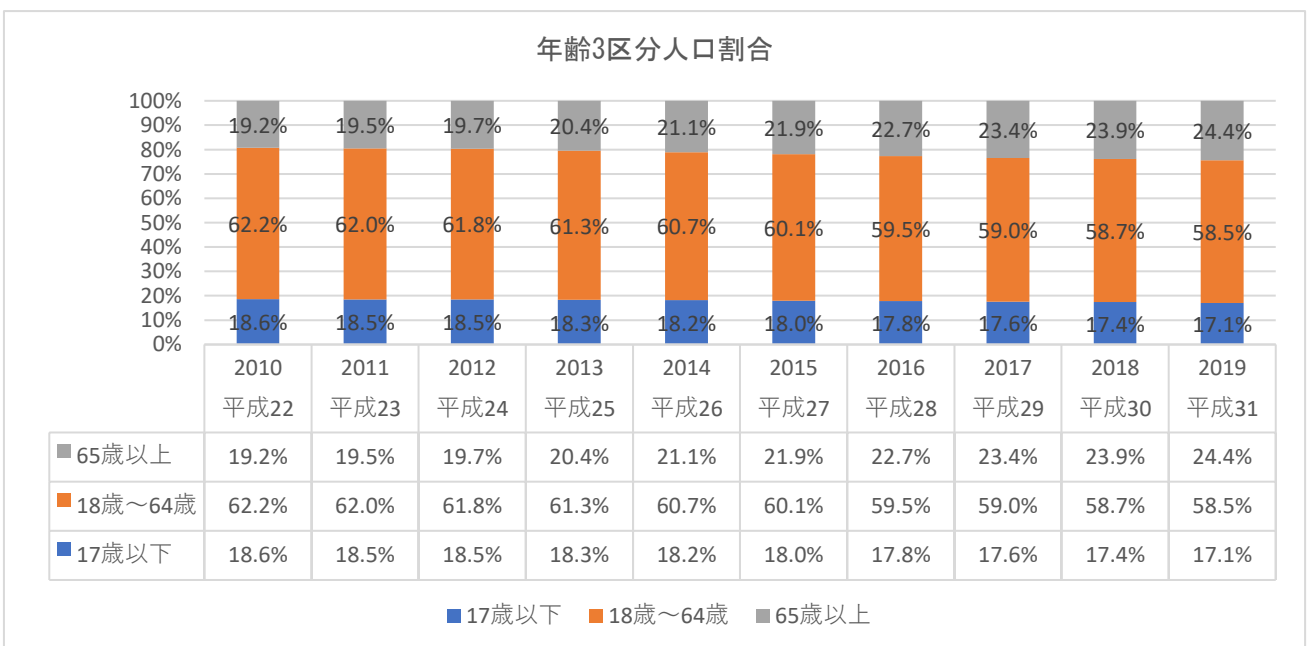
③ 御殿場市の地区別人口

御殿場市を御殿場、富士岡、原里、玉穂、印野、高根の6地区に分け、地区別の人口を見ると、御殿場地区の人口が最も多く、次いで原里、富士岡、玉穂、高根、印野の順となっている。



④ 年齢構成

御殿場市の人口を就学年代の17歳以下、就労年代の18歳～64歳、高齢者の65歳以上の3区分に分けて人口推移をみると、明らかな少子高齢化の進行が見られる。



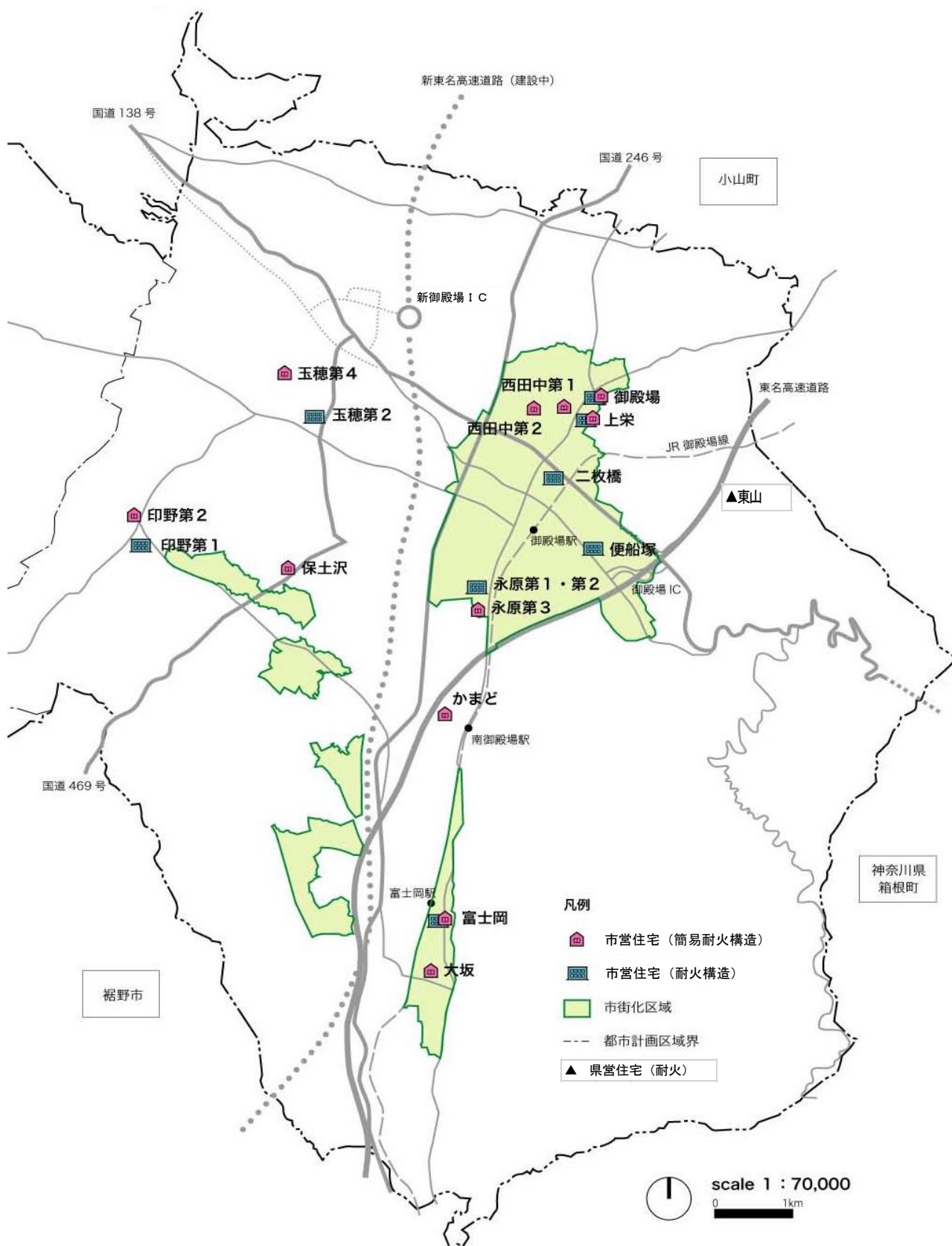
出典：御殿場市統計書

(2) 公営住宅の概要

① 公営住宅の位置

現在、御殿場市には市営住宅は17団地、県営住宅は1団地が存在する。

図1. 公営住宅の位置



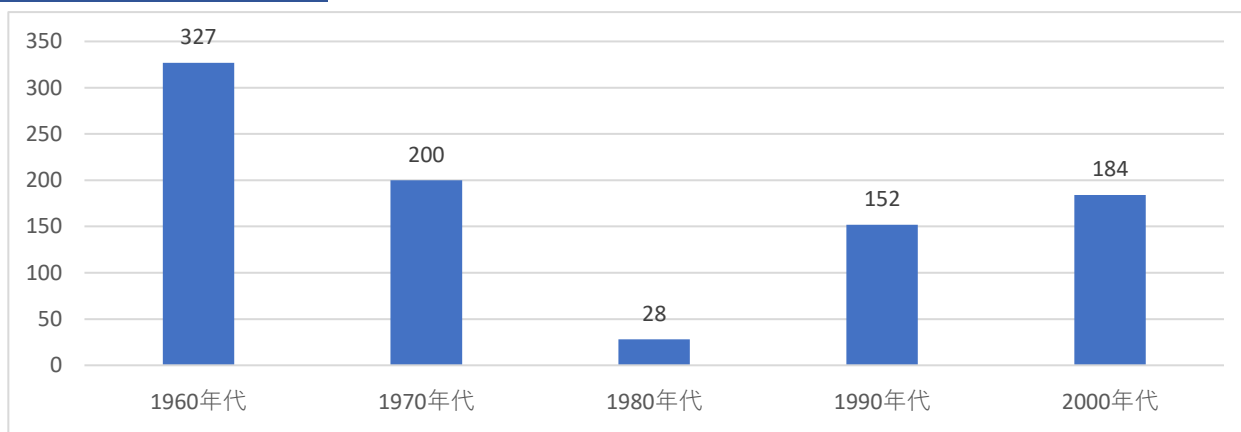
② 公営住宅の概要

表 1. 公営住宅の各団地の概要（令和 2 年 4 月 1 日現在）

団地名	種別	棟名	構造	建設年度 (西暦)	経過年数 (年)	耐用年数 (年)	管理戸数 (戸)	住戸面積 (㎡)	土地 種別
御殿場	市営住宅	1	簡平	1963	57	30	20	36.0	市/借地
		2	簡平	1964	56	30	6	36.0	
		A1	中耐	1974	46	80	24	52.0	市/借地
		A2	中耐	1975	45	80	24	52.0	
		A3	中耐	1976	44	80	16	62.0	
		A4	中耐	1977	43	80	24	62.0	
		A5	中耐	1977	43	80	16	62.0	
A6	中耐	1978	42	80	16	62.0			
上栄	市営住宅	1(11-20)	簡平	1961	59	30	10	29.9	市
		2(21-35)	簡平	1962	58	30	15	31.0	
		K1	中耐	1979	41	80	16	68.9	
西田中第 1	市営住宅	1	簡平	1960	60	30	8	28.9	市/借地
		2	簡平	1960	60	30	7	35.7	
		3	簡平	1961	59	30	15	29.9	
		4	簡平	1962	58	30	2	36.0	
		5	簡平	1963	57	30	3	31.0	
西田中第 2	市営住宅	1	簡平	1966	54	30	10	36.0	市
		2	簡平	1966	54	30	5	31.0	
		3	簡平	1967	53	30	5	36.0	
二枚橋	市営住宅	A	中耐	2000	20	80	32	43.3～57.7	市
		B	中耐	2001	19	80	16	48.9/61.0	
		C	中耐	2001	19	80	16	61.0	
便船塚	市営住宅		中耐	1999	21	80	40	46.0/61.7	借地
富士岡	市営住宅	F1	中耐	1980	40	80	16	68.9	借地
		F2	簡二	1981	39	80	8	64.9	
		F3	簡二	1981	39	80	4	64.9	
大坂	市営住宅	1	簡平	1960	60	30	10	41.9	市/借地
		2	簡平	1960	60	30	10	48.6	
		4	簡平	1962	58	30	20	31.0	
かまど	市営住宅	1	簡平	1965	55	30	15	36.0	借地
		2	簡平	1965	55	30	25	31.0	
		3	簡平	1966	54	30	10	31.0	
永原第 1	市営住宅	A	中耐	1996	24	80	16	64.4～76.3	市
		B	中耐	1996	24	80	32	73.0/76.3	
		C	中耐	1995	25	80	32	65.3～79.7	
		D	中耐	1993	27	80	32	62.3～76.6	
永原第 2	市営住宅	N1	中耐	1972	48	80	24	49.0	市
		N2	中耐	1973	47	80	24	52.0	
永原第 3	市営住宅	1	簡平	1963	57	30	10	36.5	市/借地
		2	簡平	1964	56	30	5	31.0	
保土沢	市営住宅	1	簡平	1960	60	30	10	35.7	市
		2	簡平	1960	60	30	10	28.9	
玉穂第 2	市営住宅	A	耐二	2003	17	80	15	38.6/58.8	借地
		B	耐二	2003	17	80	15	38.6/58.8	
		C	耐二	2004	16	80	15	38.6/58.8	
		D	耐二	2004	16	80	15	38.6/58.8	
		E	耐二	2005	15	80	14	38.6/59.2	
		F	耐二	2005	15	80	14	38.6/59.2	
		G	耐二	2006	14	80	10	38.6/59.2	
		H	耐二	2006	14	80	12	59.2	
玉穂第 4	市営住宅	I	耐二	2006	14	80	10	38.6/59.2	市
		1	簡平	1968	52	30	27	31.4	
		2	簡平	1968	52	30	20	36.4	
		3	簡平	1969	51	30	20	36.4	
印野第 1	市営住宅		中耐	1979	41	80	16	68.9	借地
		1	簡平	1964	56	30	10	31.0	
印野第 2	市営住宅	2	簡平	1965	55	30	5	31.0	借地
東山団地	県営住宅	1	中耐	1989	31	80	18	62.7～79.3	/
		2	中耐	1989	31	80	24	62.7～79.3	
		3	中耐	1990	30	80	12	62.7	
合計							945		

※簡平：簡易耐火構造平屋建て、 簡二：簡易耐火構造二階建て
 中耐：中層耐火構造、 耐二：耐火構造二階建て

図2. 建設年度と戸数



1960年代	御殿場、上栄、西田中第1、西田中第2、大坂、かまど、永原第3、保土沢、玉穂第4、印野第2 ※全て簡平
1970年代	御殿場、上栄、永原第2、印野第1 ※全て中耐
1980年代	富士岡（中耐、簡二）
1990年代	永原第1、便船塚 ※全て中耐
2000年代	二枚橋（中耐）、玉穂第2（耐二）

図3. 構造別・規模別住戸の割合

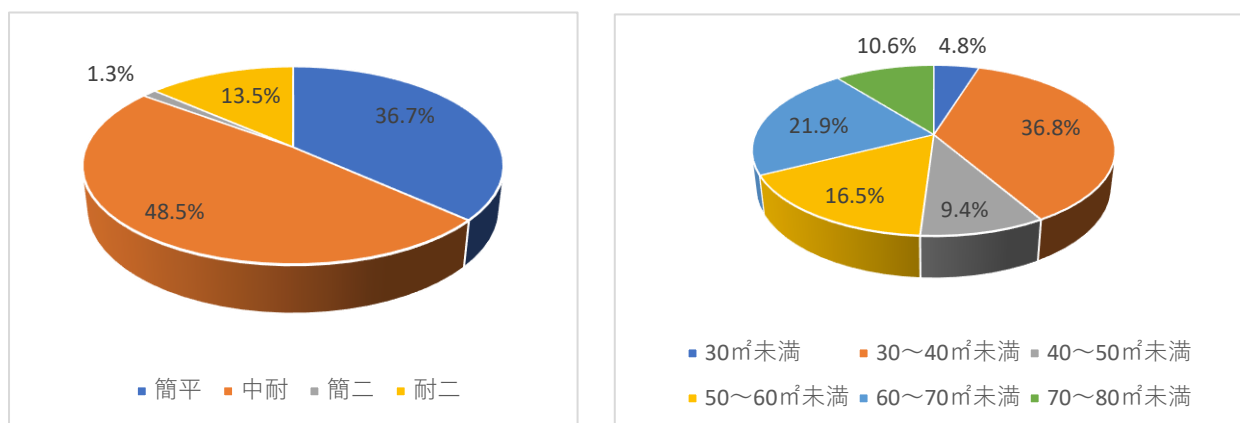


図4. 団地別入居戸数

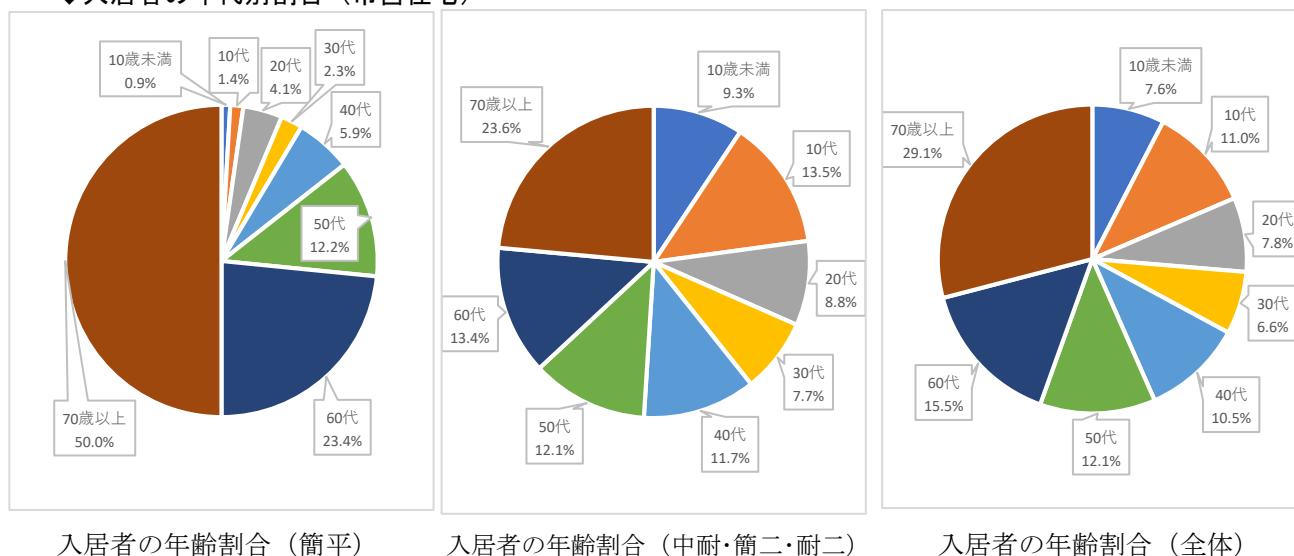
団地名	簡易平屋住宅										
	御殿場	上栄	西田中1	西田中2	大坂	かまど	永原3	保土沢	玉穂4	印野2	全体
戸数	26	25	35	20	40	50	15	20	81	15	327
入居者数（全体）	18	10	16	12	18	24	8	9	40	9	164
空室数	8	15	19	8	22	26	7	11	41	6	163
入居率	69.2%	40.0%	45.7%	60.0%	45.0%	48.0%	53.3%	45.0%	49.4%	60.0%	50.2%

団地名	中層耐火・簡易耐火2階建て・耐火2階建て住宅										
	御殿場	上栄	二枚橋	便船塚	富士岡	永原1	永原2	玉穂2	印野1		全体
戸数	120	16	64	40	28	112	48	120	16		564
入居者数（全体）	85	8	49	36	18	77	30	100	9		412
空室数	35	8	15	4	10	35	18	20	7		152
入居率	70.8%	50.0%	76.6%	90.0%	64.3%	68.8%	62.5%	83.3%	56.3%		73.0%

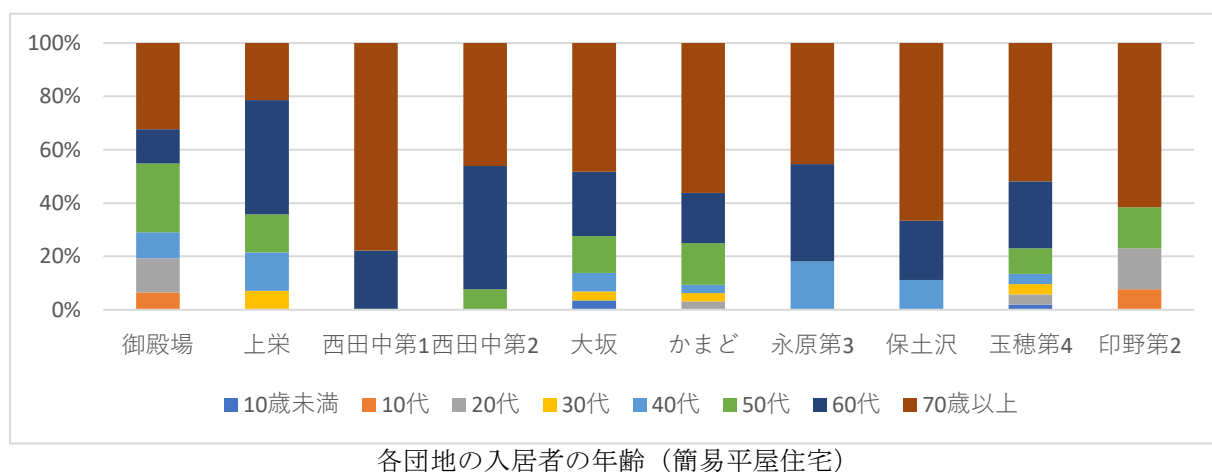
注記：令和2年3月31日現在の数値。

図 5. 団地別入居者年齢の割合

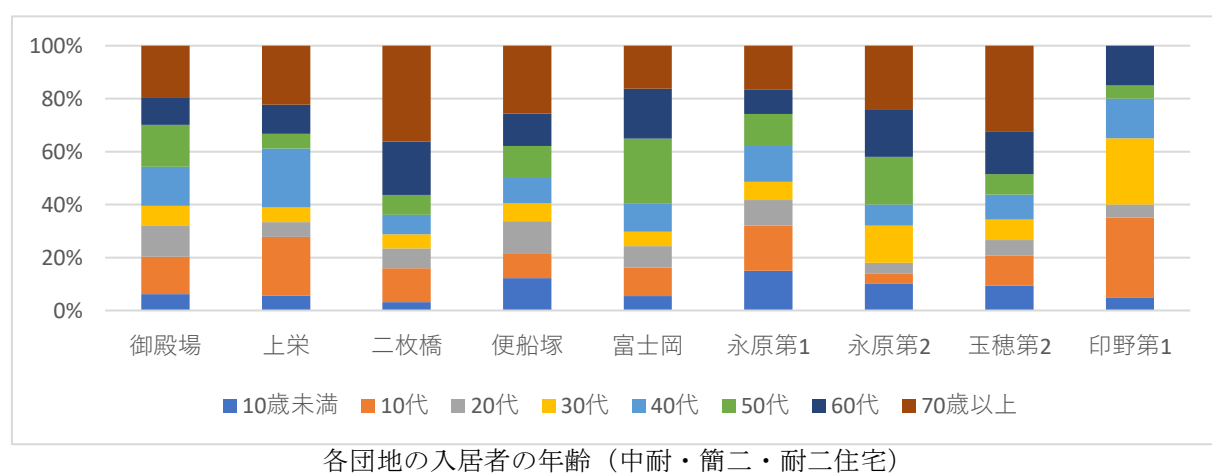
◆入居者の年代別割合（市営住宅）



◆入居者の年代別割合（簡易平屋住宅）



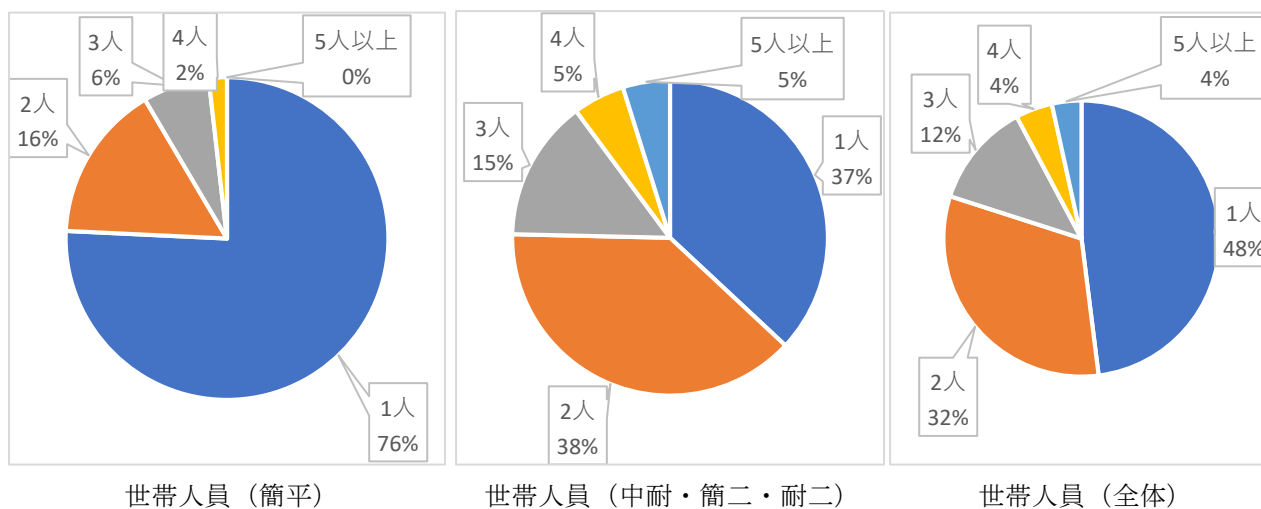
◆入居者の年代別割合（中耐・簡二・耐二住宅）



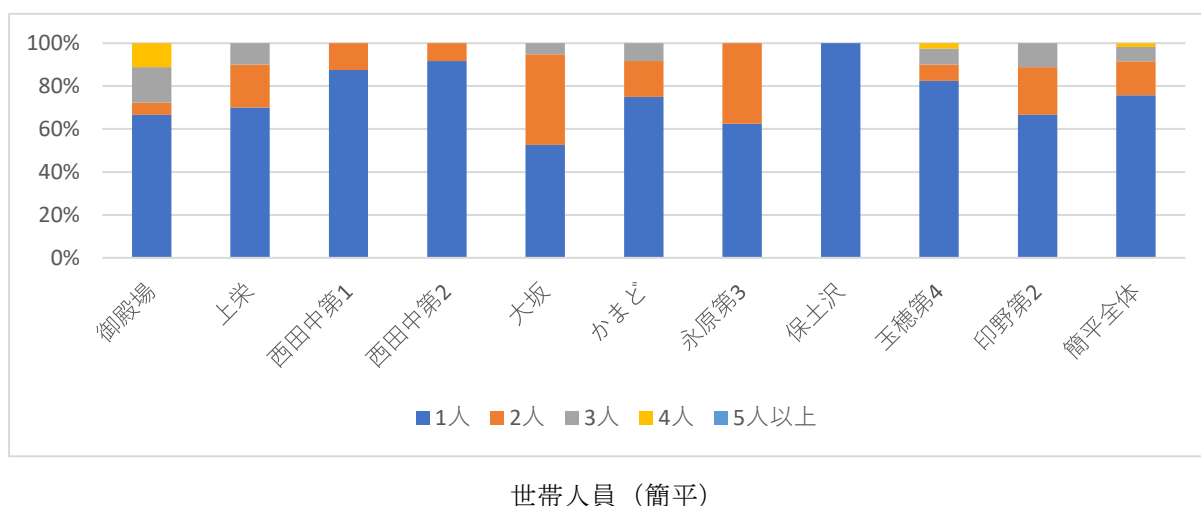
簡易平屋住宅の入居者の73%が60歳以上でかなり高齢化が進んでいる。
中でも西田中第1団地は100%、西田中第2・永原第3・保土沢団地は80%以上が60歳以上の高齢者となっている。

図6. 団地別世帯人員の割合（令和2年度）

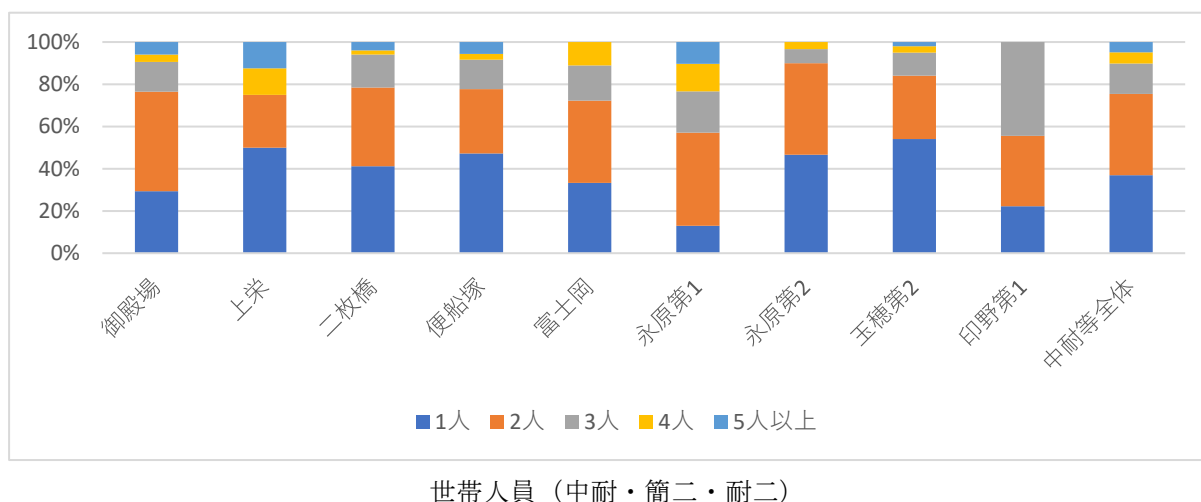
◆世帯人員（市営住宅全体）



◆世帯人員（簡易平屋住宅）



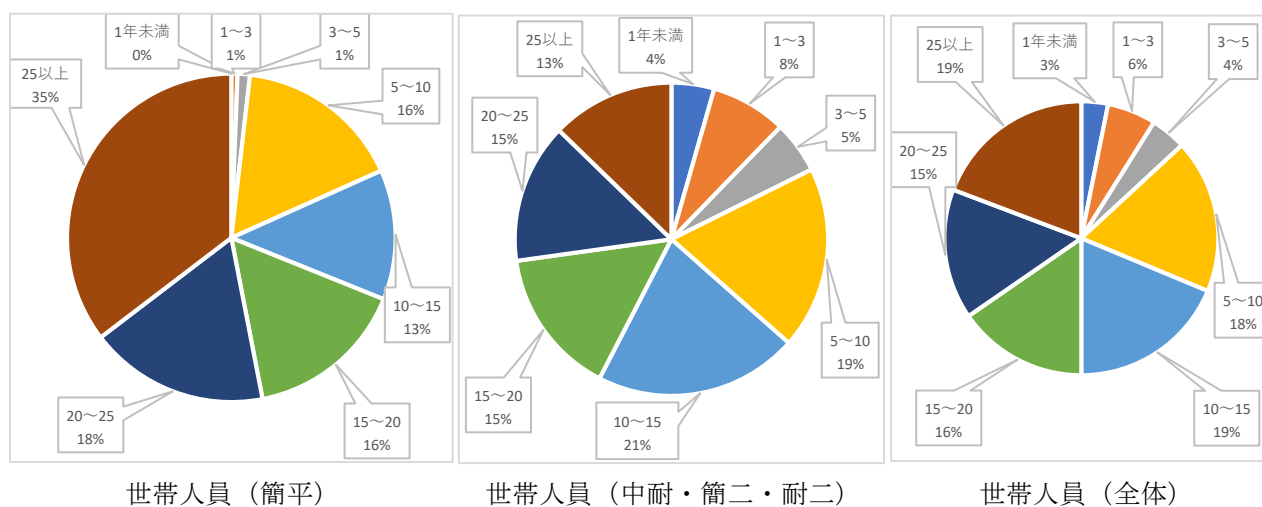
◆世帯人員（中耐・簡二・耐二）



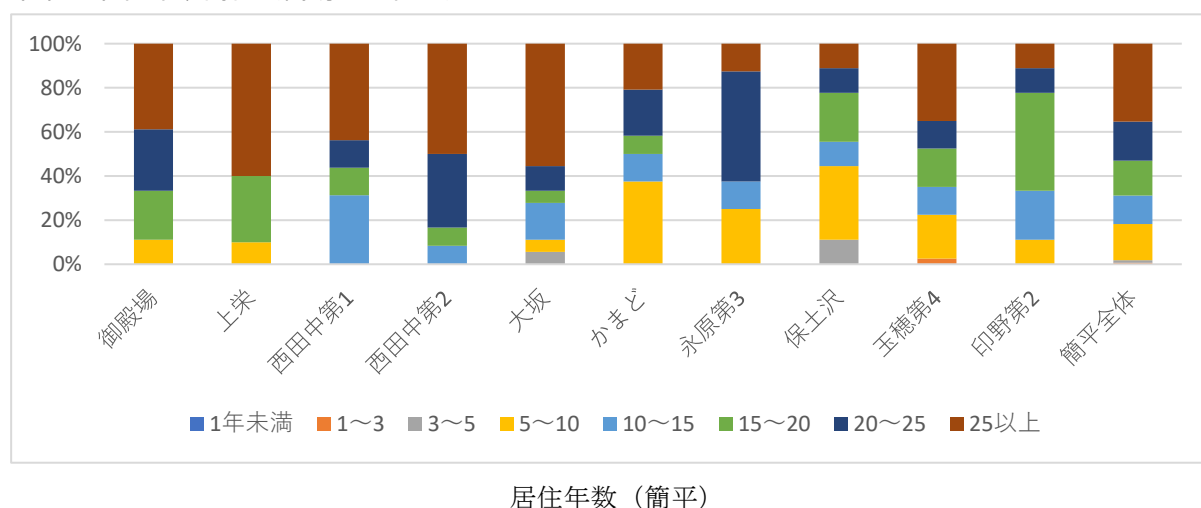
・簡易平屋住宅の世帯人員は7割超が1人、9割以上が1人または2人。保土沢団地は入居者全員が1人暮らし。また、中耐等の住宅でも7割を超える入居者が1人または2人暮らしとなっている。

図 7. 団地別居住年数の割合（令和 2 年度）

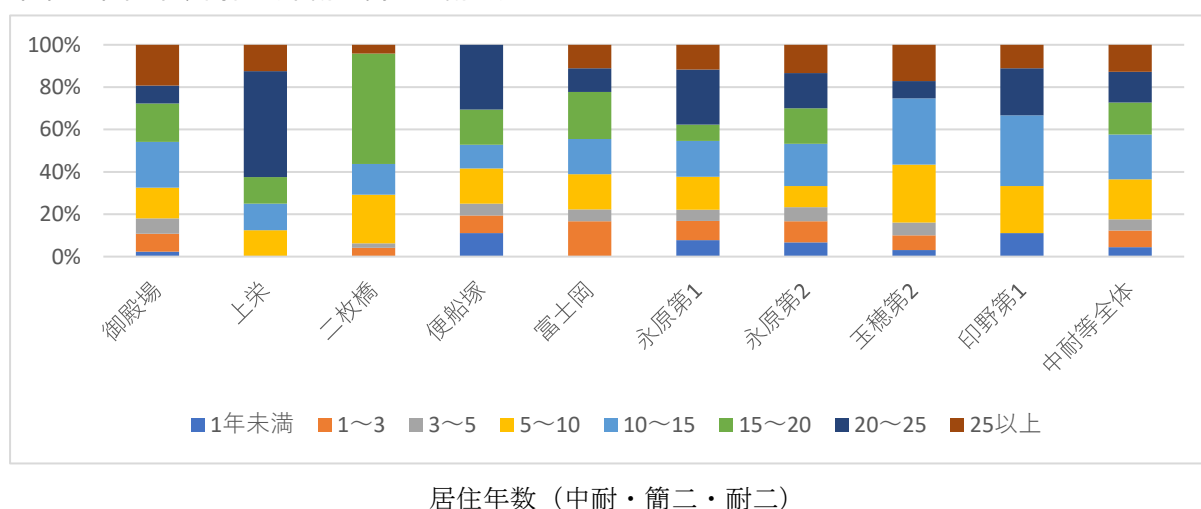
◆入居者（名義人）の居住年数（市営住宅全体）



◆入居者の居住年数割合（簡易平屋住宅）



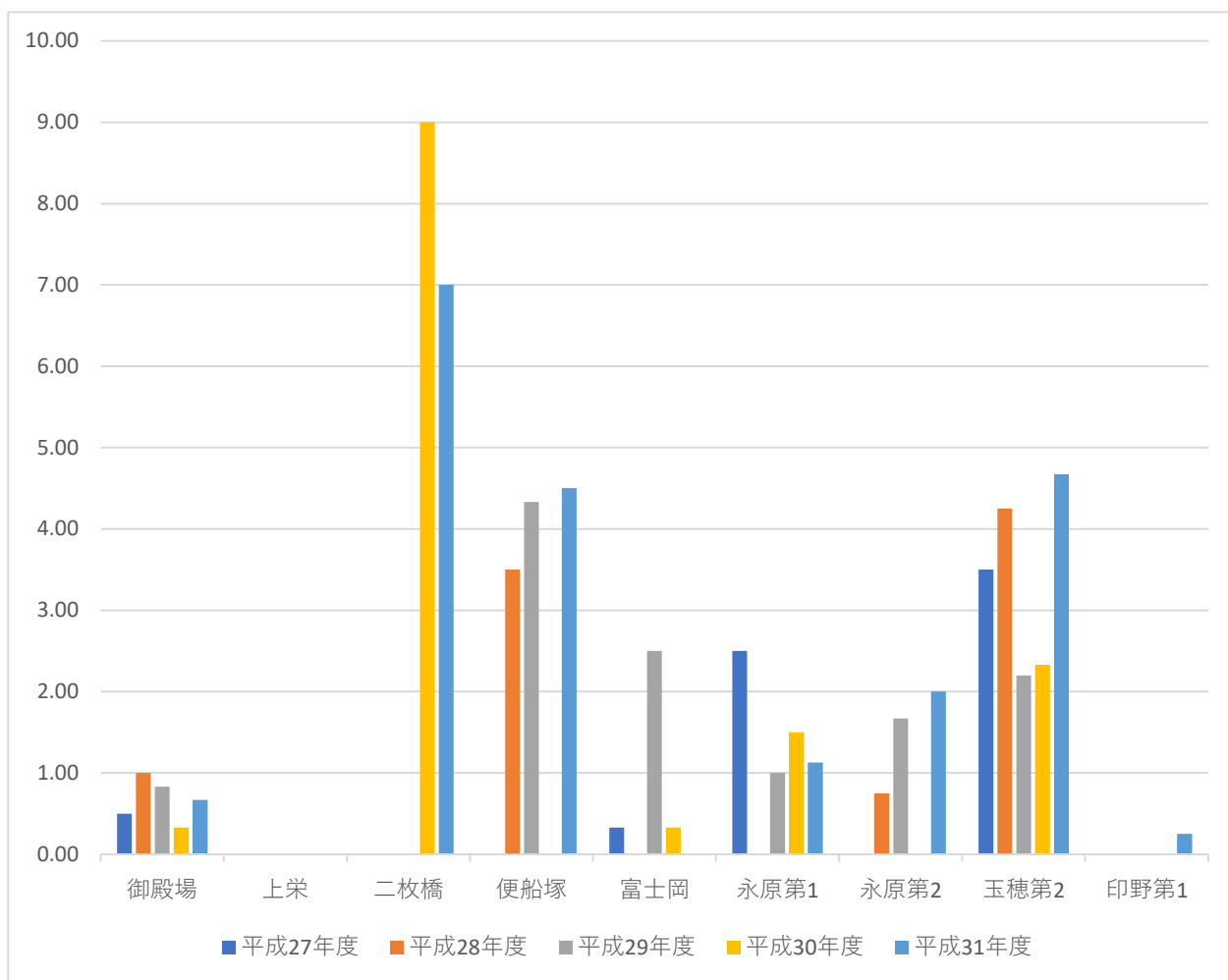
◆入居者の居住年数割合（中耐・簡二・耐二）



- ・居住年数は10年以上の入居者が半数以上を占めている。簡平は居住年数が長年にわたる入居者が多く、その中でも御殿場地区（御殿場・上栄・西田中周辺）の団地入居者の居住年数が長くなっている。

図 8. 団地別応募倍率（過去 5 年）

◆団地別の応募状況



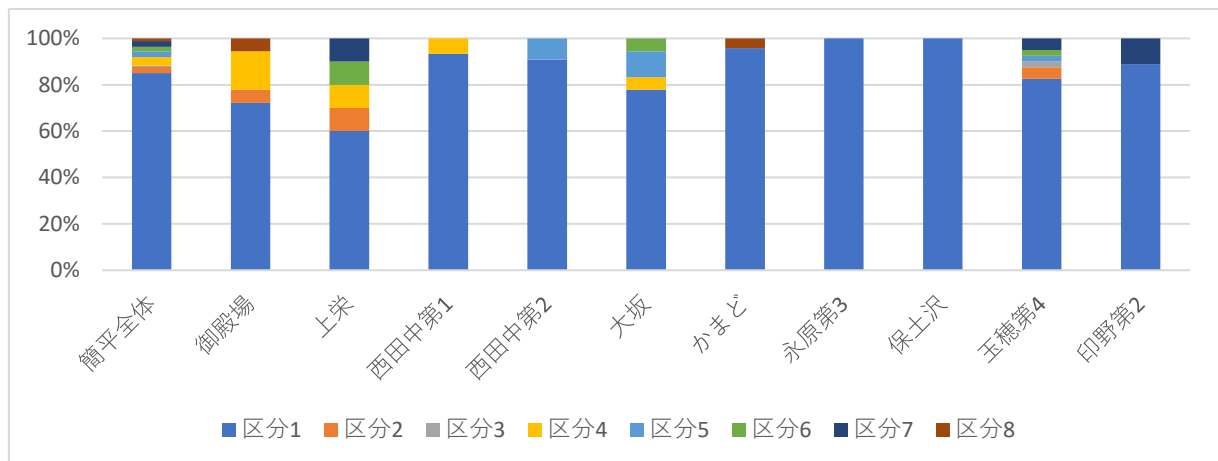
中耐・簡二・耐二

中層耐火・簡易耐火2階建て・耐火2階建て住宅																
	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度			平均 応募倍率
	募集戸数	応募件数	応募倍率	募集戸数	応募件数	応募倍率	募集戸数	応募件数	応募倍率	募集戸数	応募件数	応募倍率	募集戸数	応募件数	応募倍率	
御殿場	2	1	0.50	3	3	1.00	6	5	0.83	3	1	0.33	3	2	0.67	0.67
上栄	0	0	募集無	0	0	募集無	0	0	募集無	0	0	募集無	0	0	募集無	-
二枚橋	1	0	0.00	1	0	0.00	2	0	0.00	1	9	9.00	1	7	7.00	3.20
便船塚	1	0	0.00	2	7	3.50	3	13	4.33	0	0	募集無	2	9	4.50	3.08
富士岡	3	1	0.33	2	0	0.00	0.4	1	2.50	3	1	0.33	2	0	0.00	0.63
永原第1	4	10	2.50	0	0	募集無	5	5	1.00	8	12	1.50	8	9	1.13	1.53
永原第2	0	0	募集無	4	3	0.75	3	5	1.67	1	0	0.00	1	2	2.00	1.11
玉穂第2	2	7	3.50	4	17	4.25	5	11	2.20	3	7	2.33	3	14	4.67	3.39
印野第1	0	0	募集無	1	0	0.00	0	0	募集無	2	0	0.00	4	1	0.25	0.08

※簡易平屋住宅は募集なし

図9. 団地別収入分位の割合（令和2年度）

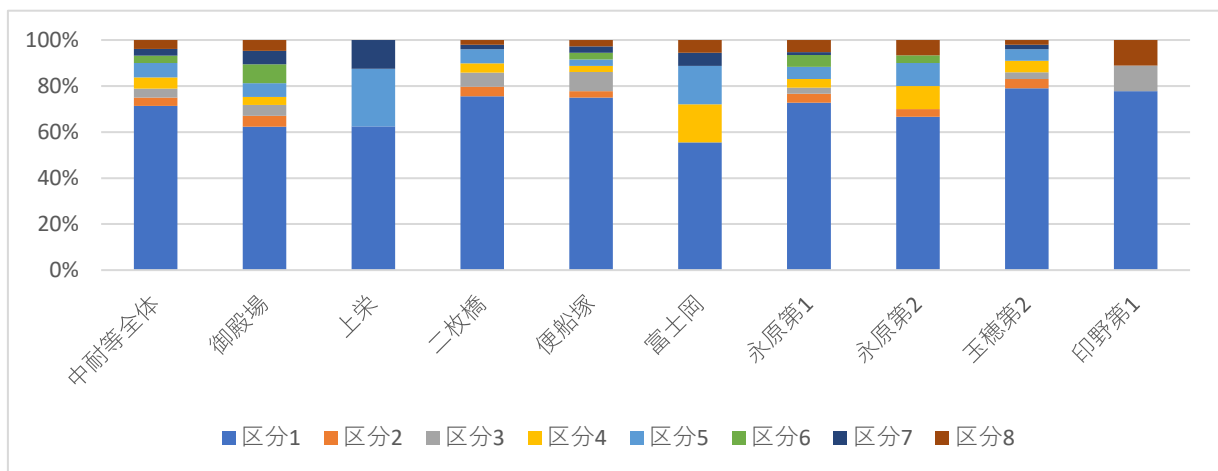
◆収入分位別割合（簡易平屋住宅）



◆収入分位別世帯数（簡易平屋住宅）

収入区分	簡平全体		御殿場		上栄		西田中第1		西田中第2		大坂		かまど		永原第3		保土沢		玉穂第4		印野第2	
	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合
区分1	138	85.1%	13	72.2%	6	60.0%	14	93.3%	10	90.9%	14	77.8%	23	95.8%	8	100.0%	9	100.0%	33	82.5%	8	88.9%
区分2	4	2.5%	1	5.6%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.0%	0	0.0%
区分3	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%
区分4	6	3.7%	3	16.6%	1	10.0%	1	6.7%	0	0.0%	1	5.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
区分5	4	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	2	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%
区分6	3	1.9%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%
区分7	4	2.5%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.0%	1	11.1%
区分8	2	1.2%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

◆収入分位別割合（中耐・簡二・耐二住宅）



◆収入分位別世帯数（中耐・簡二・耐二）

収入区分	中耐等全体		御殿場		上栄		二枚橋		便船塚		富士岡		永原第1		永原第2		玉穂第2		印野第1	
	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合
区分1	294	71.4%	53	62.4%	5	62.5%	37	75.6%	27	75.0%	10	55.5%	56	72.8%	20	66.7%	79	79.0%	7	77.8%
区分2	15	3.6%	4	4.7%	0	0.0%	2	4.1%	1	2.8%	0	0.0%	3	3.9%	1	3.3%	4	4.0%	0	0.0%
区分3	16	3.9%	4	4.7%	0	0.0%	3	6.1%	3	8.3%	0	0.0%	2	2.6%	0	0.0%	3	3.0%	1	11.1%
区分4	20	4.8%	3	3.5%	0	0.0%	2	4.1%	1	2.7%	3	16.6%	3	3.8%	3	10.0%	5	5.0%	0	0.0%
区分5	26	6.3%	5	5.9%	2	25.0%	3	6.1%	1	2.8%	3	16.7%	4	5.2%	3	10.0%	5	5.0%	0	0.0%
区分6	13	3.2%	7	8.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.8%	0	0.0%	4	5.2%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
区分7	12	2.9%	5	5.9%	1	12.5%	1	2.0%	1	2.8%	1	5.6%	1	1.3%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
区分8	16	3.9%	4	4.7%	0	0.0%	1	2.0%	1	2.8%	1	5.6%	4	5.2%	2	6.7%	2	2.0%	1	11.1%

・収入分位1の入居者が、簡平団地は入居者全体の85%以上、中耐等団地は70%以上を占めている。

(3) 団地別実態調査

御殿場団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	26戸	8戸	8戸		120戸	35戸	0戸

● 住棟データ

 耐用年数超過

 耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
1	簡平	1	1963	57	30	20	36.0	耐震診断	Ⅱ 確保: 玄関+南側掃出
2	簡平	1	1964	56	30	6	36.0	耐震診断	Ⅱ 確保: 玄関+南側掃出
A1	中耐	4	1974	46	80	24	52.0	耐震診断	I b 確保: 玄関+バルコニー
A2	中耐	4	1975	45	80	24	52.0	耐震診断	I b 確保: 玄関+バルコニー
A3	中耐	4	1976	44	80	16	62.0	耐震診断	I b 確保: 玄関+バルコニー
A4	中耐	4	1977	43	80	24	62.0	耐震診断	I b 確保: 玄関+バルコニー
A5	中耐	4	1977	43	80	16	62.0	耐震診断	I b 確保: 玄関+バルコニー
A6	中耐	4	1978	42	80	16	62.0	耐震診断	I b 確保: 玄関+バルコニー
集会所	RC造平屋建て		1978	42	耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	簡平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中耐	5	5	9	5	2	2	3	6	3	43
応募	簡平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中耐	6	4	4	11	2	1	3	5	1	39
倍率	簡平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中耐	1.2	0.8	0.4	2.2	1.0	0.5	1.0	0.8	0.3	0.7

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)	
分位 (1~8)	簡平	4,500	~ 12,800
	中耐	15,800	~ 38,800
近傍 同種	簡平	14,200	~ 15,200
	中耐	27,300	~ 38,800

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	簡平: 木造小屋組、大波板スレート葺き 中耐: RC造スラブ上断熱材、鉄骨小屋組、耐火野地板、ゴムアスシート、ガルバリウム鋼板葺き ※既存RC造スラブの上に鉄骨造勾配屋根新設
外壁/ 外部建具	簡平: CB造、モルタル塗り、リシン吹付/木製建具(一部アルミサッシ) 中耐: RC造外断熱パネル張り、複層仕上げ塗材吹付/アルミサッシ
給排水/ 給湯/ガス	簡平: 水道直結直圧方式、雑排水側溝放流/給湯器持込/プロパンガス 中耐: ポンプ圧送方式(受水槽)、下水道/給湯器持込/都市ガス
浴室/便所	簡平: 浴槽・風呂釜持込み/汲取り 中耐: 浴槽・風呂釜持込み/水洗

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
1995	A4	24	外壁塗装・防水
1997	A5	16	外壁塗装・防水
2002	A1, A6	40	外壁断熱塗装・受水槽
	A6	16	屋上断熱防水
2004	A2	24	外壁断熱塗装・受水槽
2005	A3	16	外壁断熱塗装・受水槽
2006	A4	24	外壁断熱塗装
	A5	16	ガス本管取替工事(ガス設備経年改修工事)
2007	A5	16	外壁断熱塗装・受水槽
2008	A4	24	ガス本管取替工事
2009	A1, 2, 3, 6	80	ガス本管取替工事
	A4, 5, 6	56	室内ガス管取替工事
	A1, 2, 3	64	宅内ガス管取替工事
	集会所		宅内ガス管取替工事、ガス本管取替工事、屋根防水修繕、集会所修繕改修(内装)
2013	A1~A6	120	排水設備改修
2014	A1	24	給排水設備改修
2015	A2	24	給排水設備改修
2016	A4	24	給排水設備改修
2017	A3	16	給排水設備改修
2018	A5	16	給排水設備改修
2020	A6	16	給排水設備改修

● 居住性（設備の有無等）

※問題がある場合は×、問題が無い場合は○

簡平	○ 日照・通風	○ プライバシー・騒音等問題	× 便所水洗化	× 給湯器
	× 住戸内部の高齢化対応	○ 共用部の高齢化対応	× 駐輪場	× 屋外物置
	× 集会所	× 児童遊園	○ その他問題点	○ ゴミ集積場
中耐	○ 日照・通風	○ プライバシー・騒音等問題	○ 便所水洗化	× 給湯器
	× 住戸内部の高齢化対応	× 共用部の高齢化対応	× 駐輪場	○ 屋外物置
	○ 集会所	× 児童遊園	○ その他問題点	○ ゴミ集積場

● 周辺状況

用途地域等	第1種中高層住居専用地域（150/60）
立地性	● 教育・医療・商業施設が近隣に充実していて利便性は良い。 ● 路線バスが多く通っており、駅周辺へのアクセスが良い。 ● 1km圏内に中耐団地が1か所、簡平団地が3か所あり、近隣での相互連携が可能。



～ 凡 例 ～

- 小学校
- 保育園等
- 医療機関
- 商業施設
- コンビニエンスストア
- 金融機関
- 郵便局
- 高齢者福祉施設
- 市役所・支所
- 駅
- バス停
- 路線バス (1時間1本以上)
- - 路線バス (1時間1本未満)

● 団地周辺の便利施設等を各団地毎に示す。

「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」

「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」

「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」

「金融機関（銀行・J A・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」

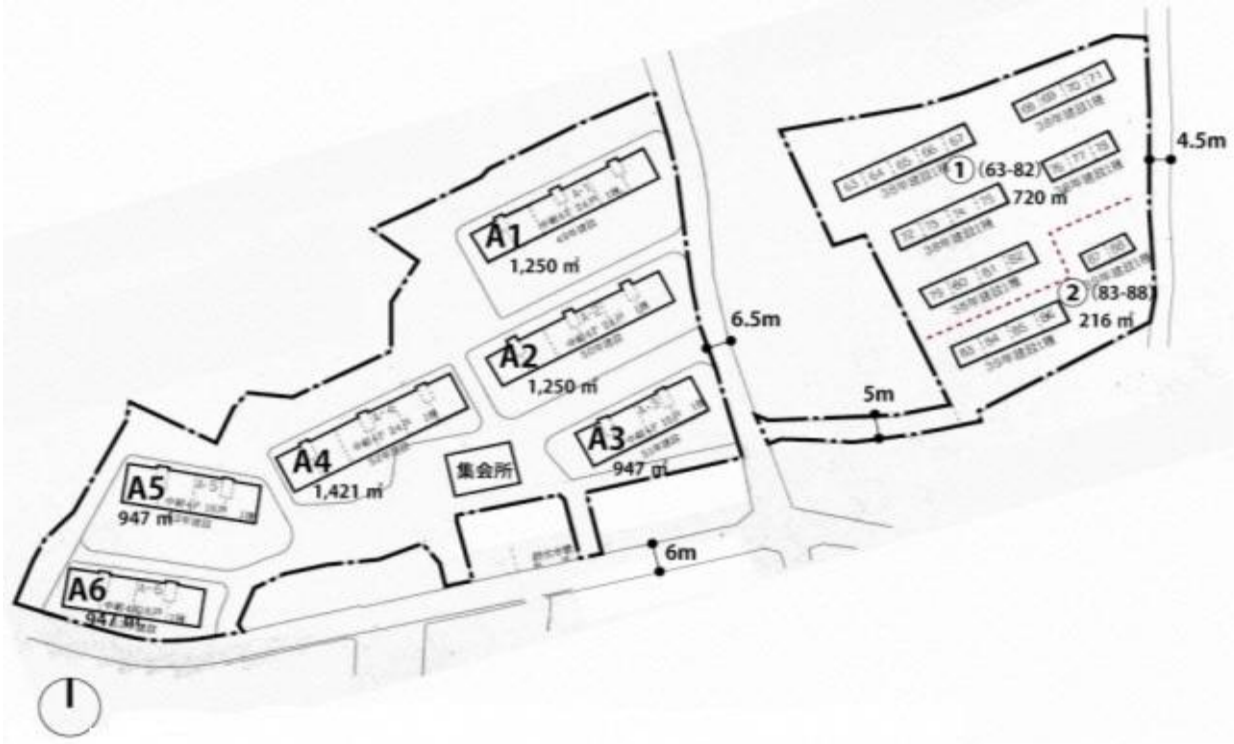
「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」

「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」

「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

● 敷地状況

敷地面積	13,848.62㎡	市有地 3,066.31㎡	借地 10,782.31㎡	延べ面積 (住棟合計)	簡平： 936㎡ 中耐： 6,762㎡	駐車場	簡平： 有 中耐： 有
特記事項	中耐の敷地は形状が複雑。 簡平の敷地は袋小路形状で幅員も5mと狭く、大型車両の通行が困難で、歩車道分離も出来ていない。						



※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



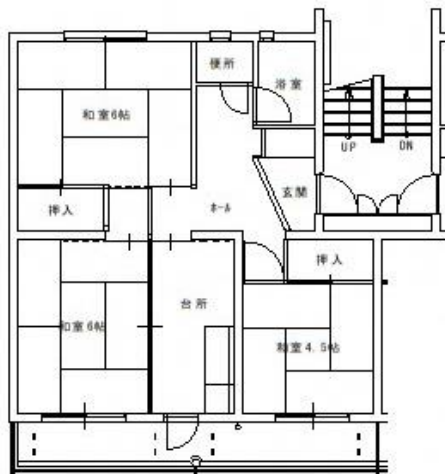
● 間取り

簡平	3 K	36.0 m ²	26 戸	
----	-----	---------------------	------	--

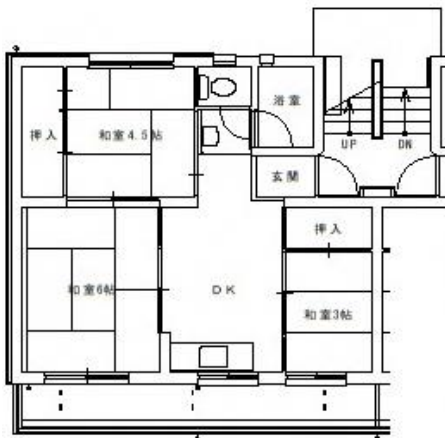


中耐	3 DK	52.0 m ²	48 戸	3 K	62.0 m ²	72 戸
----	------	---------------------	------	-----	---------------------	------

3 K



3 DK



上栄団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	25戸	15戸	15戸		16戸	8戸	0戸

● 住棟データ

耐用年数超過 耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
1(11-20)	簡平	1	1961	59	30	10	29.9	耐震診断 III	確保:玄関+南側掃出
2(21-35)	簡平	1	1962	58	30	15	31.0	耐震診断 III	確保:玄関+南側掃出
K1	中耐	4	1979	41	80	16	68.9	耐震診断 I b	確保:玄関+バルコニー
集会所	なし				耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	簡平	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	中耐	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
応募	簡平	28	11	0	0	0	0	0	0	0	0	39
	中耐	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
倍率	簡平	7.0	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	7.8
	中耐	3.0	-	0.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.3

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)	
分位 (1~8)	簡平	3,200	~ 9,500
	中耐	22,200	~ 54,500
近傍 同種	簡平	16,900	~ 17,000
	中耐	54,500	~ 54,500

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	簡平: 木造小屋組、大波板スレート葺き 中耐: R C造スラブ上断熱材、鉄骨小屋組、耐火野地板、ゴムアスシート、ガルバリウム鋼板葺き ※既存R C造スラブの上に鉄骨造勾配屋根新設
外壁/ 外部建具	簡平: C B造、モルタル塗り、リシン吹付/木製建具(一部アルミサッシ) 中耐: R C造外断熱パネル張り、複層仕上塗材吹付/アルミサッシ
給排水/ 給湯/ガス	簡平: 水道直結直圧方式、雑排水側溝放流/給湯器持込/プロパンガス 中耐: ポンプ圧送方式(受水槽)、下水道/給湯器持込/都市ガス
浴室/便所	簡平: 浴槽・風呂釜持込み/汲取り 中耐: 浴槽・風呂釜持込み/水洗

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
1998	K1	16	置屋根 外壁外断熱
2009	K1	16	宅内ガス管取替工事、ガス本管取替工事
2014	K1	16	排水設備改修

● 居住性(設備の有無等)

※問題がある場合は×、問題が無い場合は○

簡平	○ 日照・通風	○ プライバシー・騒音等問題	× 便所水洗化	× 給湯器		
	× 住戸内部の高齢化対応	○ 共用部の高齢化対応	× 駐輪場	× 屋外物置	○ ゴミ集積場	
	× 集会所	○ 児童遊園	○ その他問題点			
中耐	○ 日照・通風	○ プライバシー・騒音等問題	○ 便所水洗化	× 給湯器		
	× 住戸内部の高齢化対応	× 共用部の高齢化対応	× 駐輪場	○ 屋外物置	○ ゴミ集積場	
	× 集会所	○ 児童遊園	○ その他問題点			

● 周辺状況

用途地域等	第1種中高層住居専用地域（150/60）
立地性	● 教育・医療・商業施設が近隣に充実していて利便性は良い。 ● 市役所が1km圏内にある。 ● 路線バスが多く通っており、駅周辺へのアクセスが良い。 ● 1km圏内に中耐団地が1か所、簡平団地が3か所あり、近隣での相互連携が可能。



～ 凡 例 ～

- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ コンビニエンスストア
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス
(1時間1本以上)
- 路線バス
(1時間1本未満)

● 団地周辺の利便施設等を各団地毎に示す。

「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」

「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」

「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」

「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」

「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」

「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」

「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

● 敷地状況

敷地面積	5,534.46㎡	市有地 5,534.46㎡	借地 -	延べ面積 (住棟合計)	簡平： 764㎡ 中耐： 1,102㎡	駐車場	簡平： 有 中耐： 有
特記事項	公図上の赤道（法定外道路）があり、敷地が分断されている。						



※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積

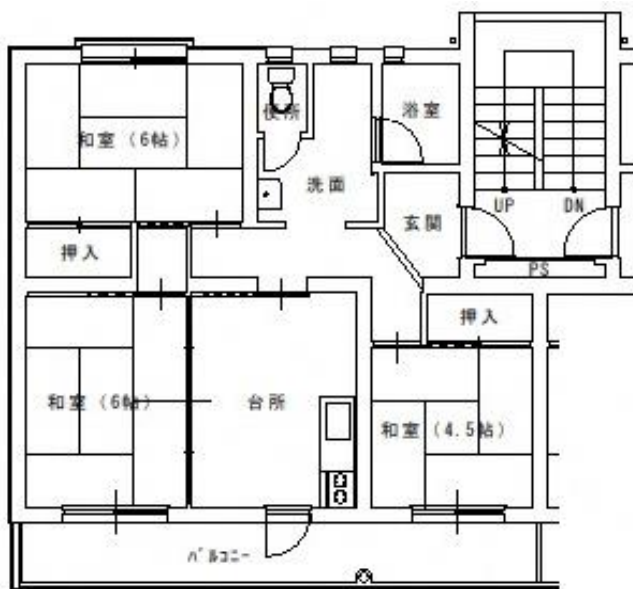


● 間取り

簡平	2 K	29.9~31.0 m ²	25 戸
----	-----	--------------------------	------



中耐	3 DK	68.9 m ²	16 戸
----	------	---------------------	------



西田中第1団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	35 戸	19 戸	19 戸		- 戸	- 戸	- 戸

● 住棟データ 耐用年数超過 耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
1	簡平	1	1960	60	30	8	28.9	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
2	簡平	1	1960	60	30	7	35.7	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
3	簡平	1	1961	59	30	15	29.9	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
4	簡平	1	1962	58	30	2	36.0	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
5	簡平	1	1963	57	30	3	31.0	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
集会所	CB造平屋建て		1960	60	耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	簡平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
応募	簡平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倍率	簡平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位(1~8)	簡平	2,900 ~ 11,300
近傍同種	簡平	14,000 ~ 18,900

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	簡平: 木造小屋組、大波板スレート葺き
外壁/外部建具	簡平: CB造、モルタル塗り、リシン吹付/木製建具(一部アルミサッシ)
給排水/給湯/ガス	簡平: 水道直結直圧方式、雑排水側溝放流/給湯器持込/プロパンガス
浴室/便所	簡平: 浴槽・風呂釜持込み/汲取り

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
			なし

● 居住性(設備の有無等)

※問題がある場合は×、問題が無い場合は○

簡平	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 × 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 ○ 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 × 屋外物置 ○ ゴミ集積場 ○ 集会所 × 児童遊園 ○ その他問題点
----	---

● 周辺状況

用途地域等	第1種中高層住居専用地域（150/60）
立地性	● 教育・医療・商業施設が近隣に充実していて利便性は良い。 ● 市役所が1km圏内にある。 ● 路線バスが多く通っており、駅周辺へのアクセスが良い。 ● 1km圏内に中耐団地が2か所、簡平団地が3か所あり、近隣での相互連携が可能。



～ 凡 例 ～

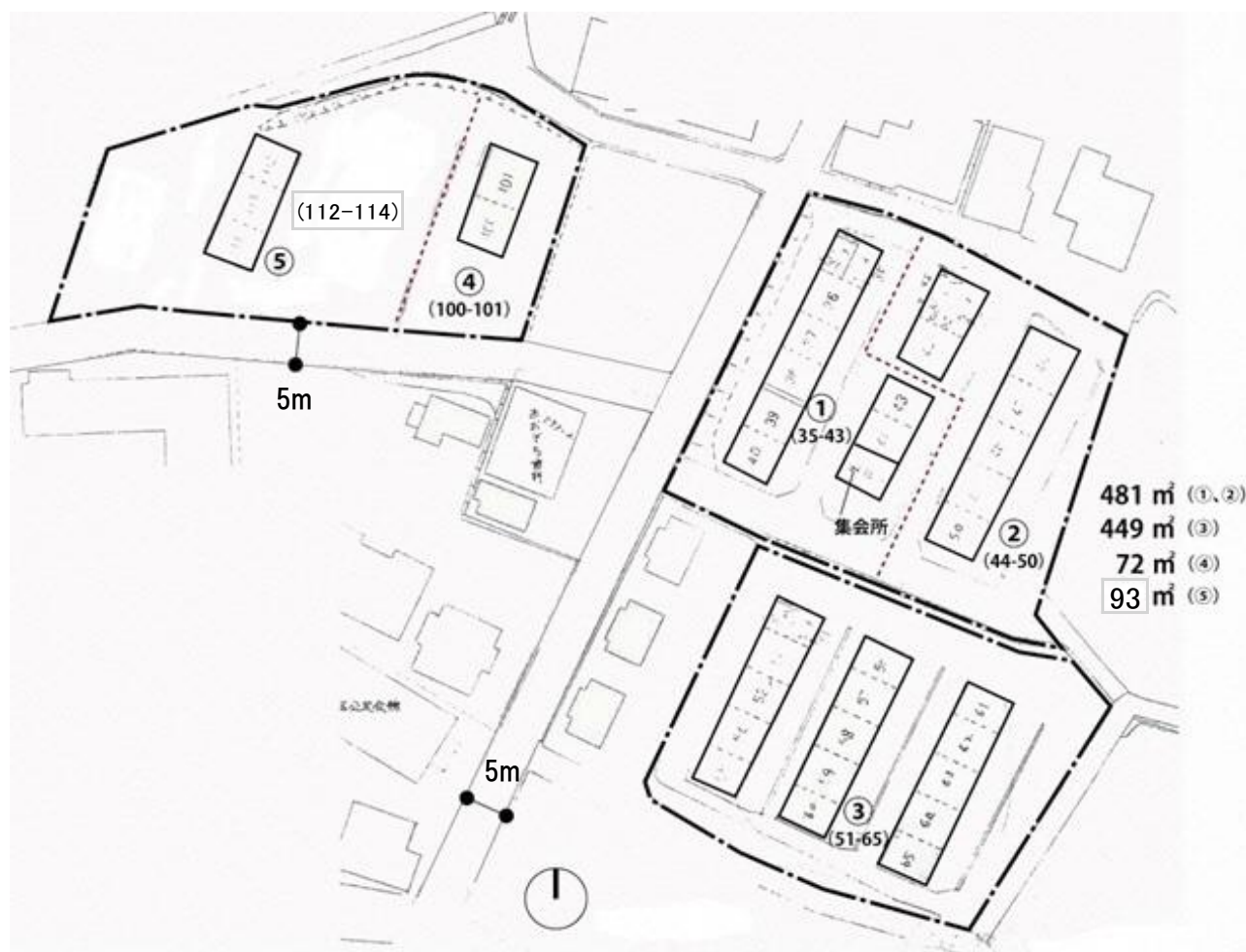
- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コピ エンスタ
- 金 金融機関
- 郵便局
- 高齢者福祉施設
- 市役所・支所
- 駅
- バス停
- 路線バス
(1時間1本以上)
- 路線バス
(1時間1本未満)

● 団地周辺の利便施設等を各団地毎に示す。

- 「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」
- 「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」
- 「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」
- 「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」
- 「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」
- 「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」
- 「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

● 敷地状況

敷地面積	6,152.83㎡	市有地 4,281㎡	借地 1,871.83㎡	延べ面積 (住棟合計)	簡平： 1,281㎡	駐車場	簡平： 有
特記事項	公道を挟んで市有地と借地とに分かれている。 さらに市有地側は水路（暗渠）によって分断されている。住戸の一つを集会所として使用している。						



※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



● 間取り

簡平	2 K (3 畳)	28.9 m ²	8 戸	2 K (4.5 畳)	29.9 m ²	31 戸
	3 K	36.0 m ²	2 戸			



2 K (3 畳) タイプ



2 K (4.5 畳) タイプ



西田中第2団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	20 戸	8 戸	8 戸		- 戸	- 戸	- 戸

● 住棟データ 耐用年数超過 耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
1	簡平	1	1966	54	30	10	36.0	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
2	簡平	1	1966	54	30	5	31.0	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
3	簡平	1	1967	53	30	5	36.0	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
集会所	なし				耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	簡平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
応募	簡平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倍率	簡平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位(1~8)	簡平	4,500 ~ 14,800
近傍同種	簡平	17,500 ~ 20,100

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	簡平: 木造小屋組、大波板スレート葺き
外壁/外部建具	簡平: C B造、モルタル塗り、リシン吹付/木製建具(一部アルミサッシ)
給排水/給湯/ガス	簡平: 水道直結直圧方式、雑排水側溝放流/給湯器持込/プロパンガス
浴室/便所	簡平: 浴槽・風呂釜持込み/汲取り

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
			なし

● 居住性(設備の有無等)

※問題が有る場合は×、問題が無い場合は○

簡平	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 × 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 ○ 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 × 屋外物置 ○ ゴミ集積場 × 集会所 × 児童遊園 × その他問題点
----	---

● 周辺状況

用途地域等	第1種低層住居専用地域（80／40）	高さ制限： 10 m
立地性	● 教育・医療・商業施設が近隣に充実していて利便性は良い。 ● 市役所が1 km圏内にある。 ● 路線バスが多く通っており、駅周辺へのアクセスが良い。 ● 1 km圏内に中耐団地が2か所、簡平団地が3か所あり、近隣での相互連携が可能。	



～ 凡 例 ～

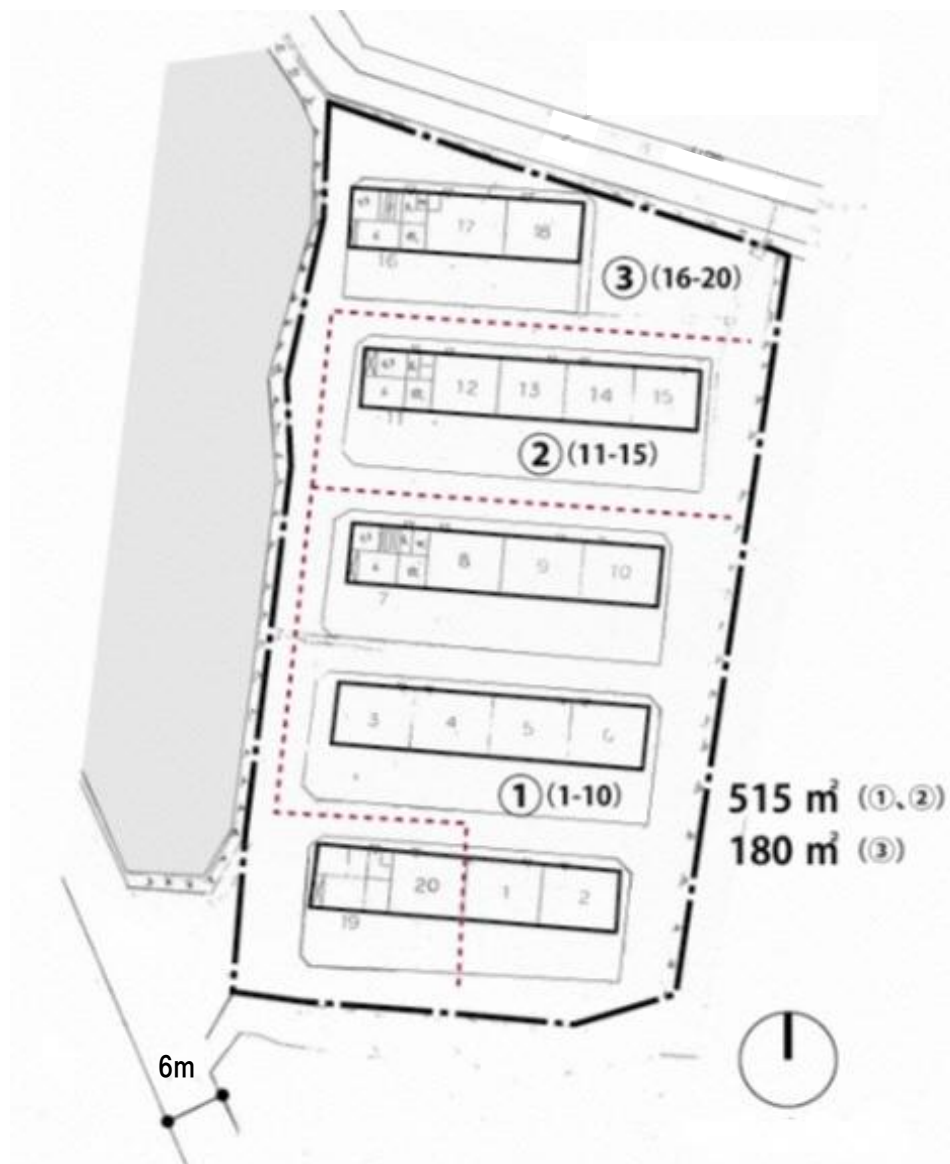
- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ コンビニエンスストア
- 金 金融機関
- 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 市役所・支所
- 駅
- バス バス停
- 路線バス (1時間1本以上)
- 路線バス (1時間1本未満)

● 団地周辺の便利施設等を各団地毎に示す。

- 「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」
- 「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」
- 「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」
- 「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」
- 「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」
- 「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」
- 「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

● 敷地状況

敷地面積	2,960.54㎡	市有地 2,960.54㎡	借地 -	延べ面積 (住棟合計)	簡平： 695㎡	駐車場	簡平： 有
特記事項	整形でまとまった形状。西側隣地よりG Lが2～3m低く、擁壁から流れ出た雨水により敷地が水溜りになる						

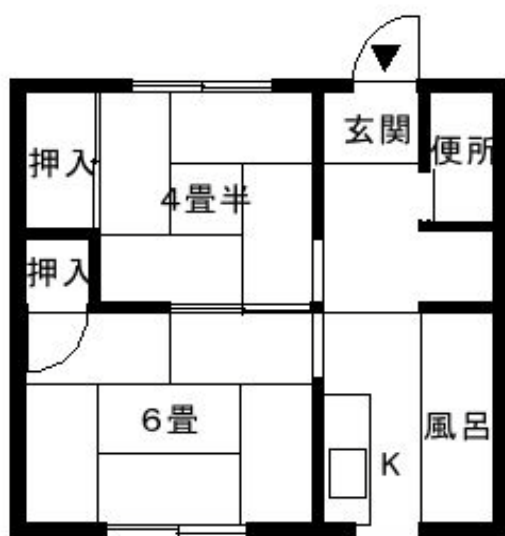


※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



● 間取り

簡平	2 K	31.0 m ²	5 戸	3 K	36.0 m ²	15 戸
----	-----	---------------------	-----	-----	---------------------	------



2 Kタイプ



3 Kタイプ



二枚橋団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	- 戸	- 戸	- 戸		64 戸	15 戸	0 戸

● 住棟データ



耐用年数超過



耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
A	中耐	4	2000	20	80	32	43.3 50.2 57.7	新耐震基準	I b 確保: 玄関+バルコニー
B	中耐	4	2001	19	80	16	48.9 61.0	新耐震基準	I b 確保: 玄関+バルコニー
C	中耐	4	2001	19	80	16	61.0	新耐震基準	I b 確保: 玄関+バルコニー
集会所	木造平屋建て		2001	19	耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	中耐	5	4	3	0	2	1	1	2	1	20
応募	中耐	23	31	17	0	14	0	0	0	9	101
倍率	中耐	4.6	7.8	5.7	-	7.0	0.0	0.0	0.0	9.0	5.1

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位 (1~8)	中耐	19,000 ~ 71,200
近傍 同種	中耐	59,600 ~ 77,700

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	中耐: RCスラブ内断熱、モルタル下地、アスファルトルーフィング、ガルバリウム鋼板葺き
外壁/ 外部建具	中耐: RC造外断熱パネル張り、複層仕上げ塗材吹付/アルミサッシ
給排水/ 給湯/ガス	中耐: ポンプ圧送方式(受水槽)、下水道/給湯器完備/都市ガス
浴室/便所	中耐: ユニットバス/水洗

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
2017	A	-	外壁修繕
2018	C	-	外壁修繕

● 居住性(設備の有無等)

※問題がある場合は×、問題が無い場合は○

中耐	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 ○ 便所水洗化 ○ 給湯器 ○ 住戸内部の高齢化対応 × 共用部の高齢化対応 ○ 駐輪場 × 屋外物置 ○ ゴミ集積場 ○ 集会所 ○ 児童遊園 ○ その他問題点
----	---

● 周辺状況

用途地域等	第1種住居地域（200/60）	第2種住居地域（200/60）
立地性	● 教育・医療・商業施設が近隣に充実していて利便性は良い。 ● 市役所が500m圏内にある。 ● 路線バスが多く通っており、駅周辺へのアクセスが良い。 ● 1km圏内に中耐団地が2か所、簡平団地が3か所あり、近隣での相互連携が可能。	



～ 凡 例 ～

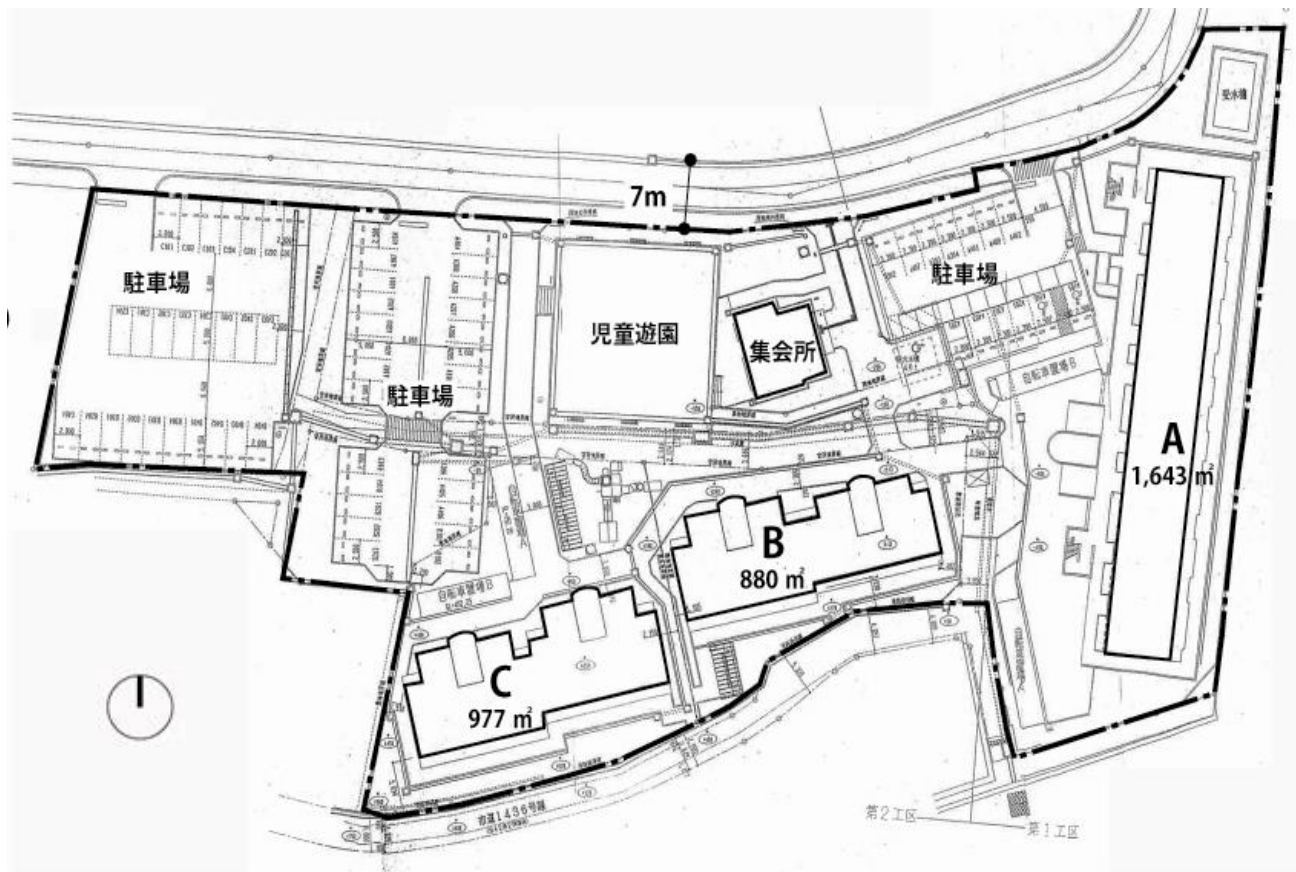
● 団地周辺の利便施設等を各団地毎に示す。

- 「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」
- 「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」
- 「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」
- 「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」
- 「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」
- 「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」
- 「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ コンビニエンスストア
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス（1時間1本以上）
- 路線バス（1時間1本未満）

● 敷地状況

敷地面積	5,778.6㎡	市有地 5,778.6㎡	借地 -	延べ面積 (住棟合計)	中耐： 3,500㎡	駐車場	中耐： 有
特記事項	形状は複雑であるが、歩車道分離は確保できている。						



※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



● 間取り

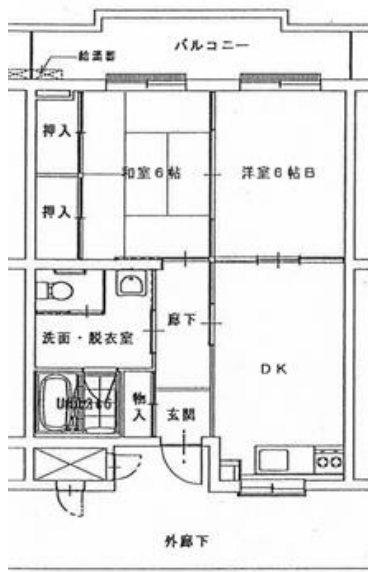
中耐	2 K	43.3 m ²	16 戸	2 DK	48.9~50.2 m ²	16 戸
	3 DK	57.7~61.0 m ²	32 戸			

※車椅子対応：3戸

【A棟】



3DKタイプ



2DKタイプ



【B・C棟】



3DKタイプ



2DKタイプ

2 K（車椅子対応）タイプ



便船塚団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	- 戸	- 戸	- 戸		40 戸	4 戸	0 戸

● 住棟データ 耐用年数超過 耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
-	中耐	4	1999	21	80	40	46.0 61.7	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
集会所	木造平屋建て		1999	21	耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年（西暦20xx）		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	中耐	3	1	0	1	1	1	2	3	0	2	14
応募	中耐	12	9	0	4	5	0	7	13	0	9	59
倍率	中耐	4.0	9.0	-	4.0	5.0	0.0	3.5	4.3	-	4.5	4.2

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位 (1~8)	中耐	20,100 ~ 67,000
近傍 同種	中耐	49,900 ~ 67,000

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	中耐: RCスラブ内断熱、モルタル下地、アスファルトルーフィング、ガルバリウム鋼板葺き
外壁/ 外部建具	中耐: RC造外断熱パネル張り、複層仕上げ塗材吹付/アルミサッシ
給排水/ 給湯/ガス	中耐: ポンプ圧送方式(受水槽)、下水道/給湯器完備/都市ガス
浴室/便所	中耐: ユニットバス/水洗

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
			なし

● 居住性(設備の有無等) ※問題が有る場合は×、問題が無い場合は○

中耐	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 ○ 便所水洗化 ○ 給湯器 ○ 住戸内部の高齢化対応 × 共用部の高齢化対応 ○ 駐輪場 × 屋外物置 ○ ゴミ集積場 ○ 集会所 ○ 児童遊園 ○ その他問題点
----	---

● 周辺状況

用途地域等	第2種中高層住居専用地域（150/60）	第2種住居地域（200/60）
立地性	● 教育・医療・商業施設が近隣に充実していて利便性は良い。 ● 駅が1km圏内にある。 ● 路線バスが多く通っており、駅周辺へのアクセスが良い。 ● 1km圏内に中耐団地が1か所あり、近隣での相互連携が可能。	



～ 凡 例 ～

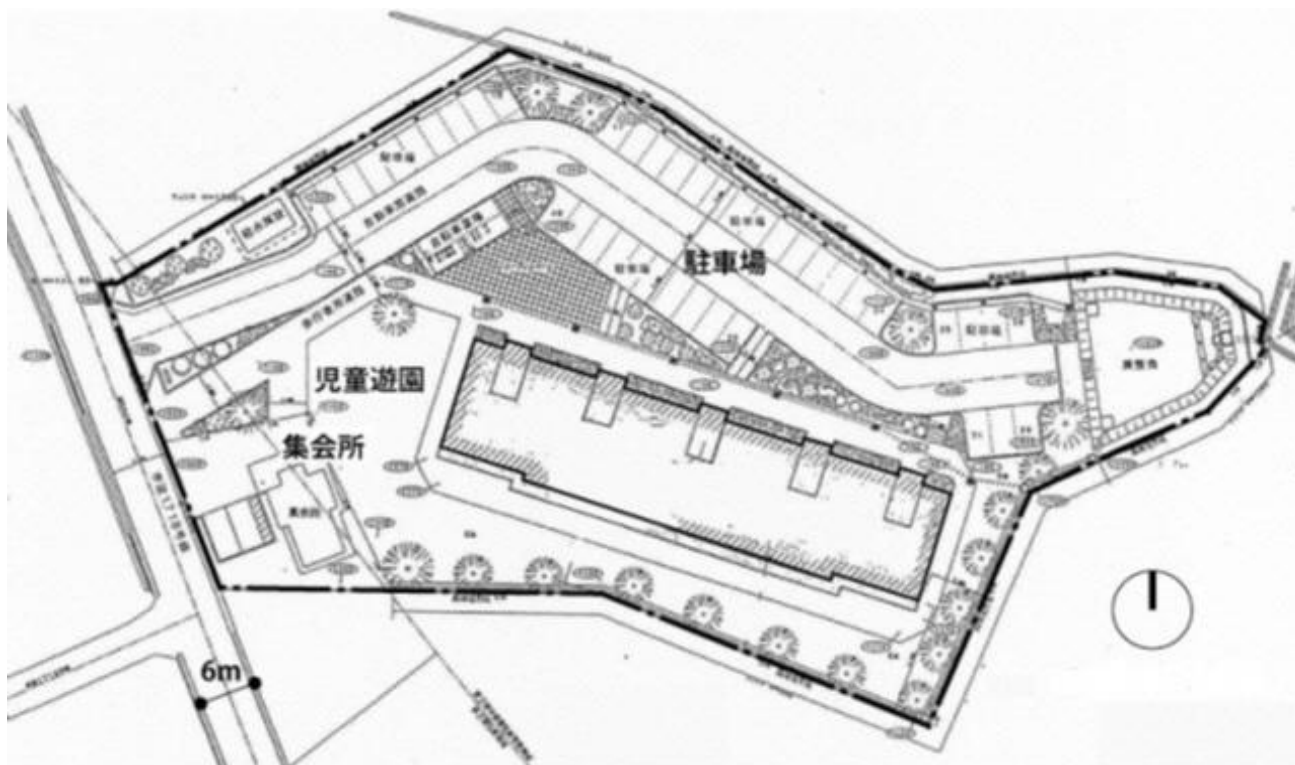
- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ コンビニエンスストア
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス (1時間1本以上)
- 路線バス (1時間1本未満)

● 団地周辺の利便施設等を各団地毎に示す。

- 「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」
- 「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」
- 「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」
- 「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」
- 「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」
- 「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」
- 「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

● 敷地状況

敷地面積	4,208.74㎡	市有地 -	借地 4,208.74㎡	延べ面積 (住棟合計)	中耐： 2,553㎡	駐車場	中耐： 有
特記事項	比較的まとまった敷地形状で、歩車道分離も確保できている。						

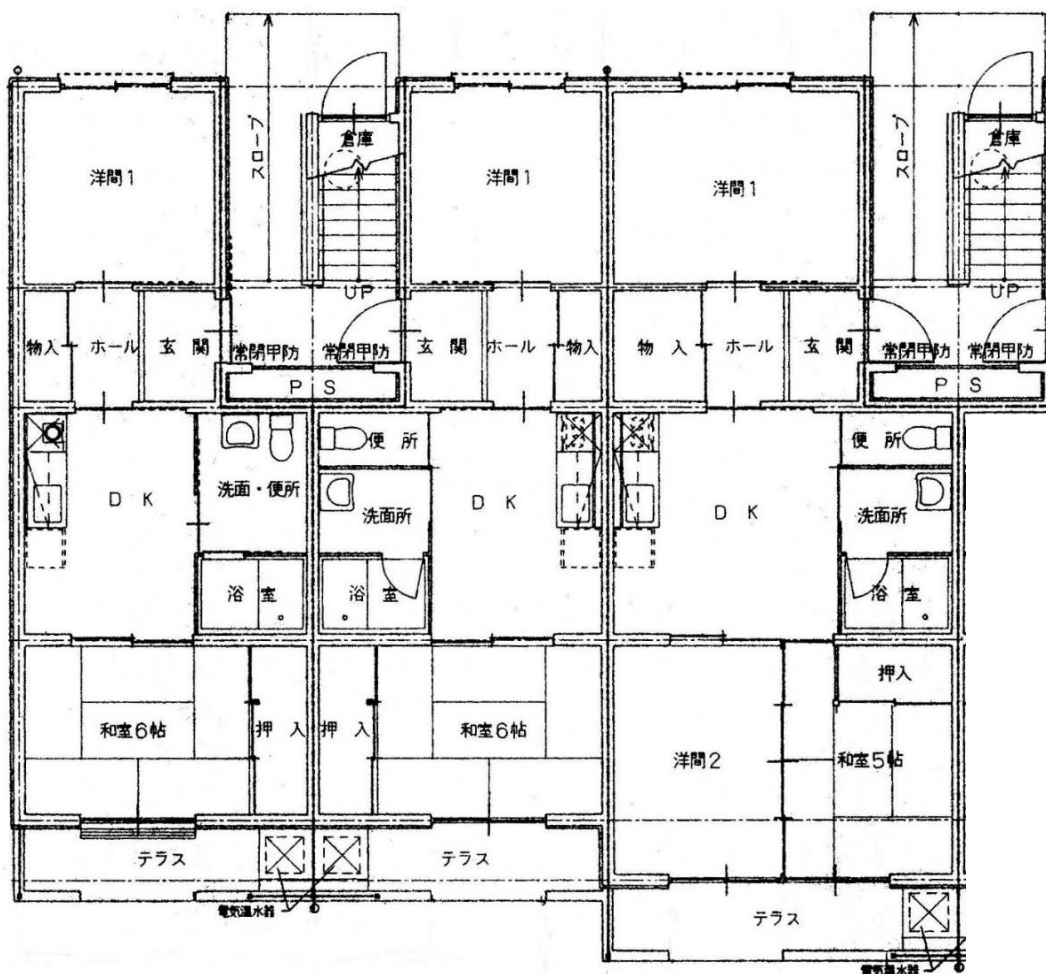


※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



● 間取り

中耐	2DK	46.0 m ²	16 戸	3DK	61.7 m ²	24 戸
----	-----	---------------------	------	-----	---------------------	------



2DK
車椅子対応タイプ

2DKタイプ

3DKタイプ



富士岡団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅 簡二住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	- 戸	- 戸	- 戸		28 戸	10 戸	0 戸

● 住棟データ

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
F1	中耐	4	1980	40	80	16	68.9	耐震診断 I b	確保: 玄関+バルコニー
F2	簡二	2	1981	39	80	8	64.9	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
F3	簡二	2	1981	39	80	4	64.9	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
集会所	なし			耐用年数基準年: 2020 年					

● 応募倍率

年（西暦20xx）		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	中耐 簡二	2	1	1	2	0	3	2	4	3	2	20
応募	中耐 簡二	8	3	1	2	0	1	0	1	1	0	17
倍率	中耐 簡二	4.0	3.0	1.0	1.0	-	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.9

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位 (1~8)	中耐 簡二	21,200 ~ 49,200
近傍 同種	中耐 簡二	48,600 ~ 49,200

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	簡二: PCパネル、被覆熱防水層(天井断熱) 中耐: RC造スラブ上断熱材、鉄骨小屋組、耐火野地板、ゴムアスシート、ガルバリウム鋼板葺き ※既存RC造スラブの上に鉄骨造勾配屋根新設
外壁/ 外部建具	簡二: PCパネル、吹付/アルミサッシ 中耐: RC造外断熱パネル張り、複層仕上げ塗材吹付/アルミサッシ
給排水/ 給湯/ガス	簡二: 水道直結直圧方式、浄化槽/給湯器持込/プロパンガス 中耐: ポンプ圧送方式(受水槽)、浄化槽/給湯器持込/プロパンガス
浴室/便所	簡二: 浴槽・風呂釜持込み/水洗 中耐: 浴槽・風呂釜持込み/水洗

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
1999	F1	16	置屋根 外壁外断熱
2009	F2、F3	12	LPガス設備工事
	F1	16	LPガス設備改善
2018	F1	16	浄化槽パワーポンプ1基交換、浄化槽放流ポンプ2基交換

● 居住性(設備の有無等)

※問題がある場合は×、問題が無い場合は○

簡二	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 ○ 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 ○ 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 ○ 屋外物置 ○ ゴミ集積場 × 集会所 ○ 児童遊園 ○ その他問題点
中耐	○ 日照・通風 × プライバシー・騒音等問題 ○ 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 × 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 ○ 屋外物置 ○ ゴミ集積場 × 集会所 ○ 児童遊園 ○ その他問題点

● 周辺状況

用途地域等	第1種中高層住居専用地域（150/60）	第1種住居地域（200/60）
立地性	● 教育・医療・商業施設の数はいくつか近隣にあり利便性は良い。 ● 駅が500m圏内にある。 ● 路線バスは1時間に1本程度通っている。 ● 1km圏内に簡平団地が1か所あるが、タイプが違うため相互連携は困難。	



～ 凡 例 ～

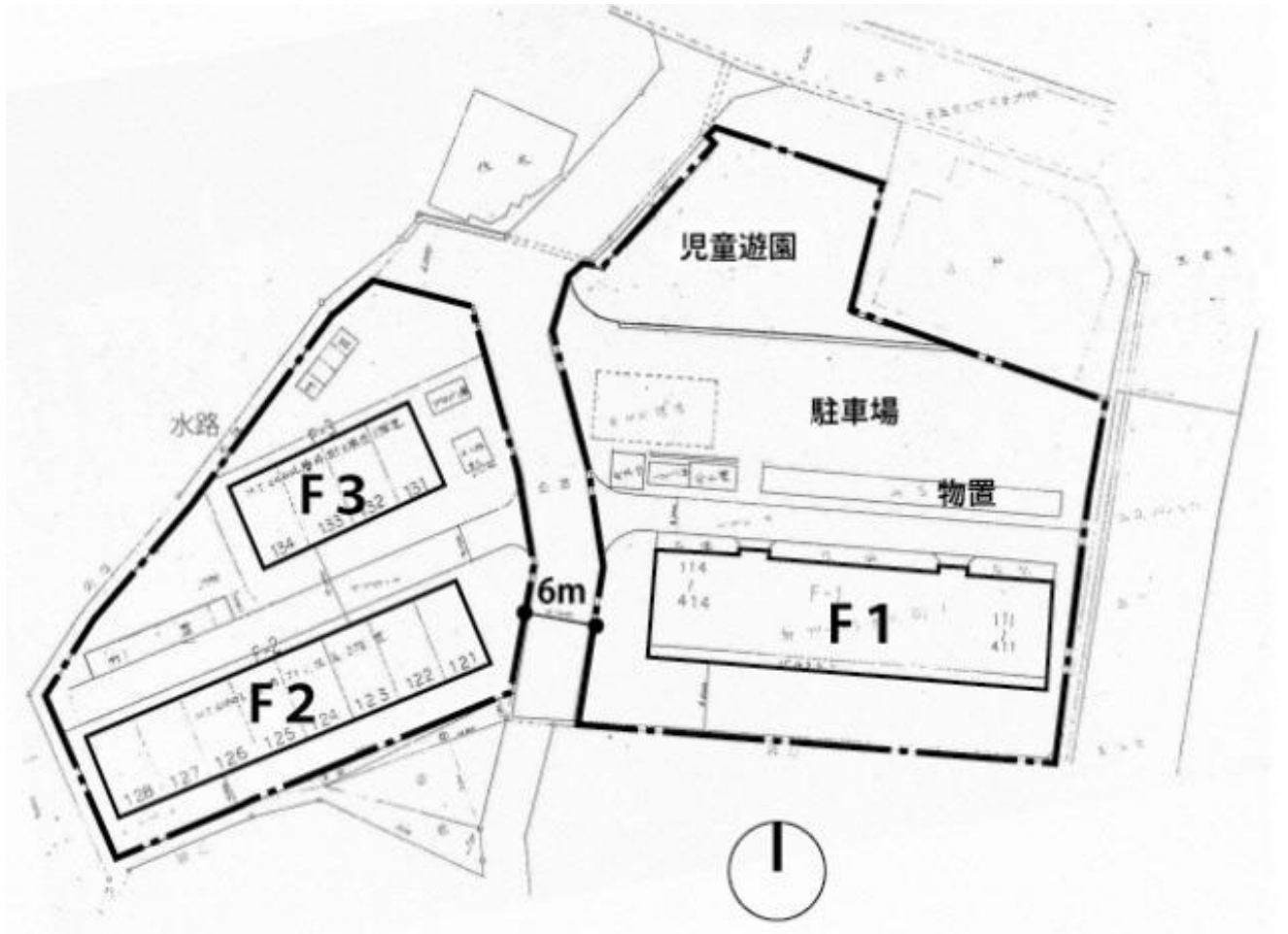
- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ コンビニエンスストア
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス (1時間1本以上)
- 路線バス (1時間1本未満)

● 団地周辺の利便施設等を各団地毎に示す。

- 「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」
- 「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」
- 「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」
- 「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」
- 「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」
- 「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」
- 「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

● 敷地状況

敷地面積	2,960.53㎡	市有地 -	借地 2,960.53㎡	延べ面積 (住棟合計)	簡二： 779㎡ 中耐： 1,102㎡	駐車場	簡二： 有 中耐： 有
特記事項	比較的まとまった形状ではあるが、公道（6 m）を挟んで中耐と簡二で敷地が分断されている。 歩車道分離は確保できている。						

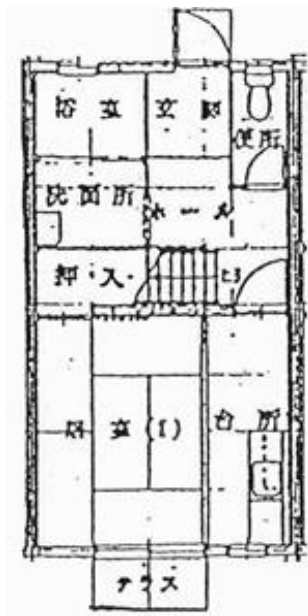


※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積

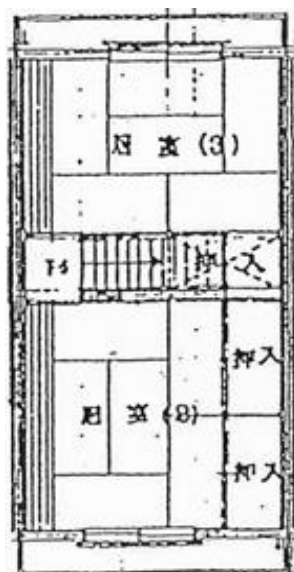


● 間取り

簡二	3 K	64.9 m ²	12 戸
----	-----	---------------------	------



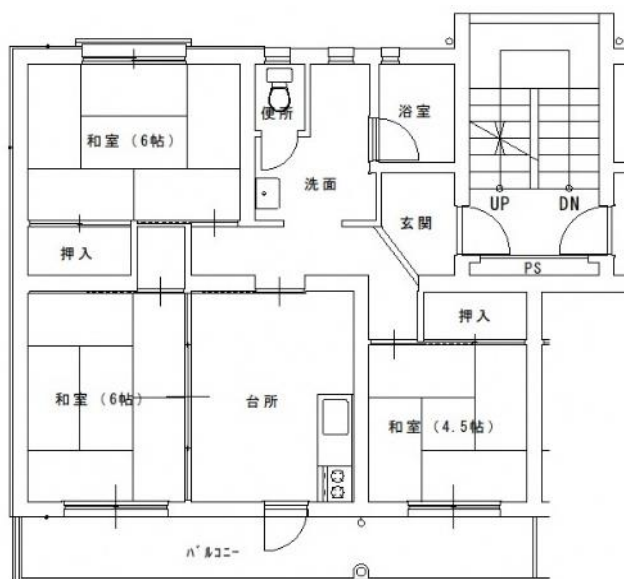
1 階



2 階



中耐	3 DK	68.9 m ²	16 戸
----	------	---------------------	------



大坂団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	40 戸	22 戸	22 戸		- 戸	- 戸	- 戸

● 住棟データ



耐用年数超過



耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
1	簡平	1	1960	60	30	10	41.9	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
2	簡平	1	1960	60	30	10	48.6	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
4	簡平	1	1962	58	30	20	31.0	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
集会所	なし				耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	簡平	0	0	1	2	2	0	0	0	0	5
応募	簡平	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
倍率	簡平	-	-	0.0	0.5	0.0	-	-	-	-	0.2

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位(1~8)	簡平	3,200 ~ 18,100
近傍同種	簡平	15,600 ~ 21,200

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	簡平: 木造小屋組、大波板スレート葺きの上折板葺き 1・2棟増築部分(1980年): R C 造(天井断熱)下地シート防水
外壁/外部建具	簡平: C B 造、モルタル塗り、リシン吹付/木製建具(一部アルミサッシ)
給排水/給湯/ガス	簡平: 水道直結直圧方式、雑排水側溝放流/給湯器持込/プロパンガス
浴室/便所	簡平: 浴槽・風呂釜持込み/汲取り

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
1980	1・2	20	6 畳間増築

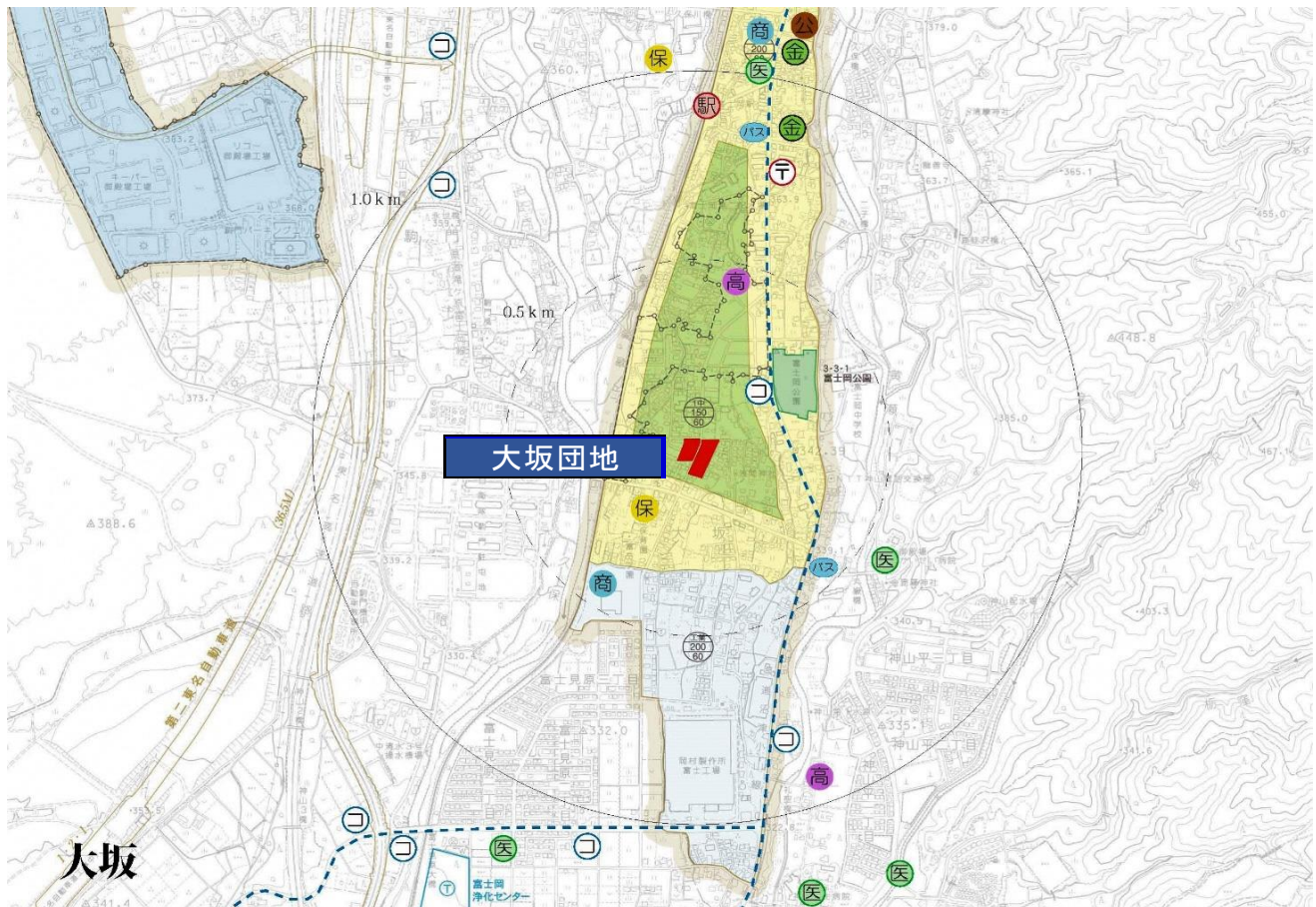
● 居住性(設備の有無等)

※問題が有る場合は×、問題が無い場合は○

簡平	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 × 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 ○ 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 × 屋外物置 ○ ゴミ集積場 × 集会所 ○ 児童遊園 ○ その他問題点
----	---

● 周辺状況

用途地域等	第1種中高層住居専用地域（150/60）
立地性	● 駅が1km圏内にある。 ● 路線バスは1時間に1本程度通っている。 ● 1km圏内に簡二・中耐団地が1か所あるが、タイプが違うため相互連携は困難。



～ 凡 例 ～

- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ コンビニエンスストア
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス (1時間1本以上)
- 路線バス (1時間1本未満)

● 団地周辺の利便施設等を各団地毎に示す。

「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」

「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」

「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」

「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」

「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」

「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」

「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

● 敷地状況

敷地面積	5,503.96㎡	市有地 1,998.81㎡	借地 3,505.15㎡	延べ面積 (住棟合計)	簡平： 1,328㎡	駐車場	簡平： 有
特記事項	公道（6m）を挟んで、市有地と借地に分断されている。 市有地・借地共に、形状は整形。						

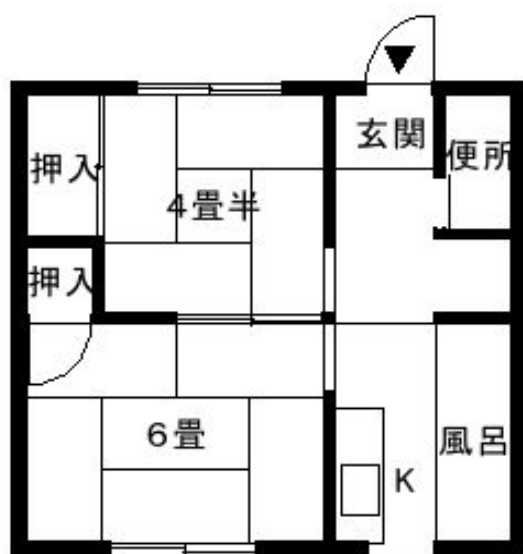


※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



● 間取り

簡平	2 K	31.0 m ²	20 戸	3 K	41.9~48.6 m ²	20 戸
----	-----	---------------------	------	-----	--------------------------	------



2 Kタイプ



3 Kタイプ



かまど団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	50 戸	26 戸	26 戸		- 戸	- 戸	- 戸

● 住棟データ

耐用年数超過

耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
1	簡平	1	1965	55	30	15	36.0	耐震診断 II	確保: 玄関+南側掃出
2	簡平	1	1965	55	30	25	31.0	耐震診断 II	確保: 玄関+南側掃出
3	簡平	1	1966	54	30	10	31.0	耐震診断 II	確保: 玄関+南側掃出
集会所	なし				耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	簡平	1	1	2	2	4	0	0	0	0	10
応募	簡平	3	5	4	1	2	0	0	0	0	15
倍率	簡平	3.0	5.0	2.0	0.5	0.5	-	-	-	-	1.5

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位(1~8)	簡平	3,900 ~ 12,000
近傍同種	簡平	12,500 ~ 14,700

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	簡平: 木造小屋組、大波板スレート葺きの上折板葺き
外壁/外部建具	簡平: C B造、モルタル塗り、リシン吹付/木製建具(一部アルミサッシ)
給排水/給湯/ガス	簡平: 水道直結直圧方式、雑排水側溝放流/給湯器持込/プロパンガス
浴室/便所	簡平: 浴槽・風呂釜持込み/汲取り

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
			なし

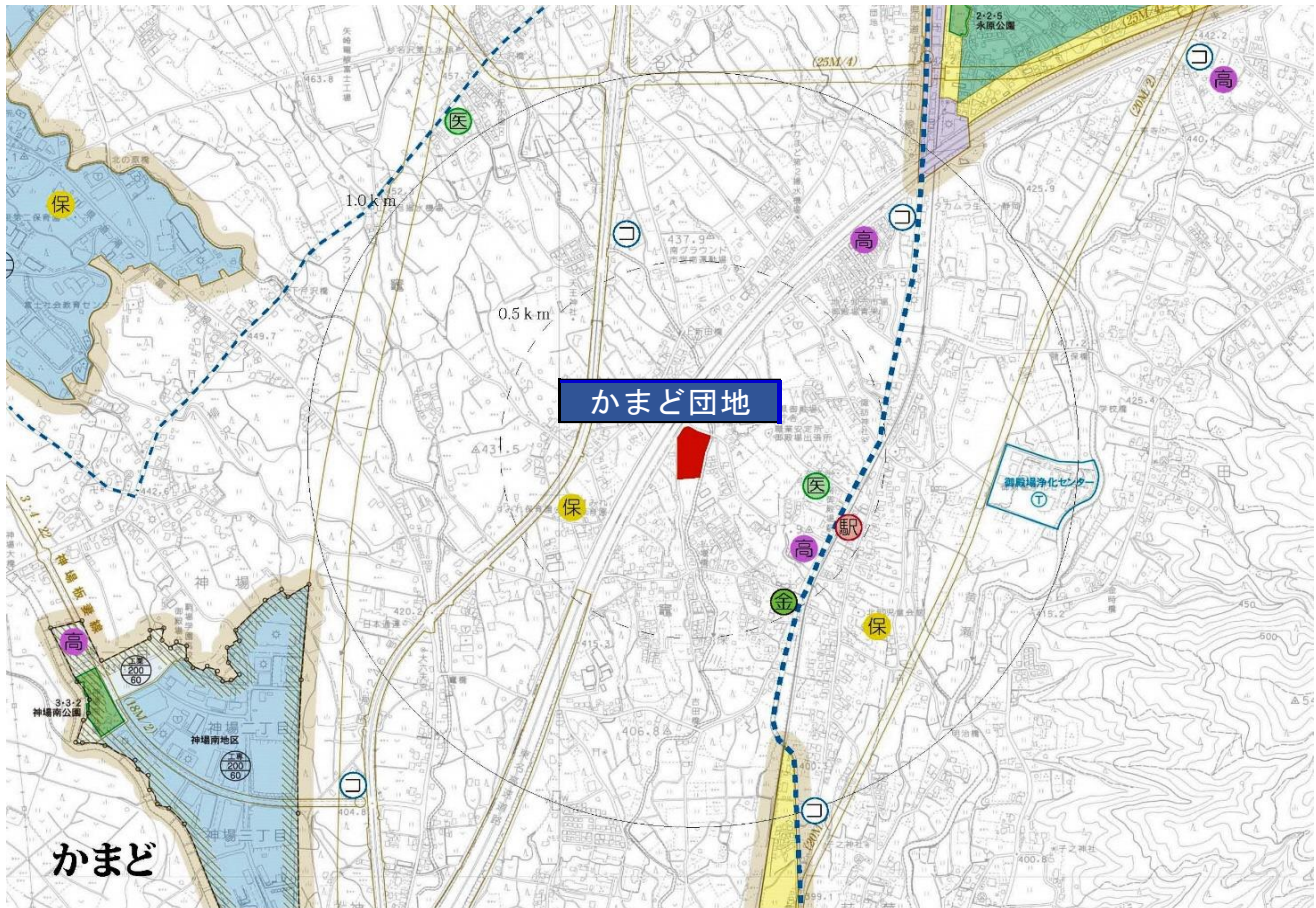
● 居住性(設備の有無等)

※問題が有る場合は×、問題が無い場合は○

簡平	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 × 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 ○ 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 × 屋外物置 ○ ゴミ集積場 × 集会所 × 児童遊園 ○ その他問題点
----	---

● 周辺状況

用途地域等	市街化調整区域（200/60） 建替制限；高さ10m以下、延べ床面積・戸数1.5倍以内、階数3階まで
立地性	● 近隣に医療・商業施設が少ない。小学校からも離れている。 ● 駅が500m圏内にある。 ● 路線バスは1時間に1本程度通っている。 ● 1km圏内に市営住宅はなく、相互連携は困難。



～ 凡 例 ～

- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ コンビニエンスストア
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス (1時間1本以上)
- 路線バス (1時間1本未満)

● 団地周辺の利便施設等を各団地毎に示す。

「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」

「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」

「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」

「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」

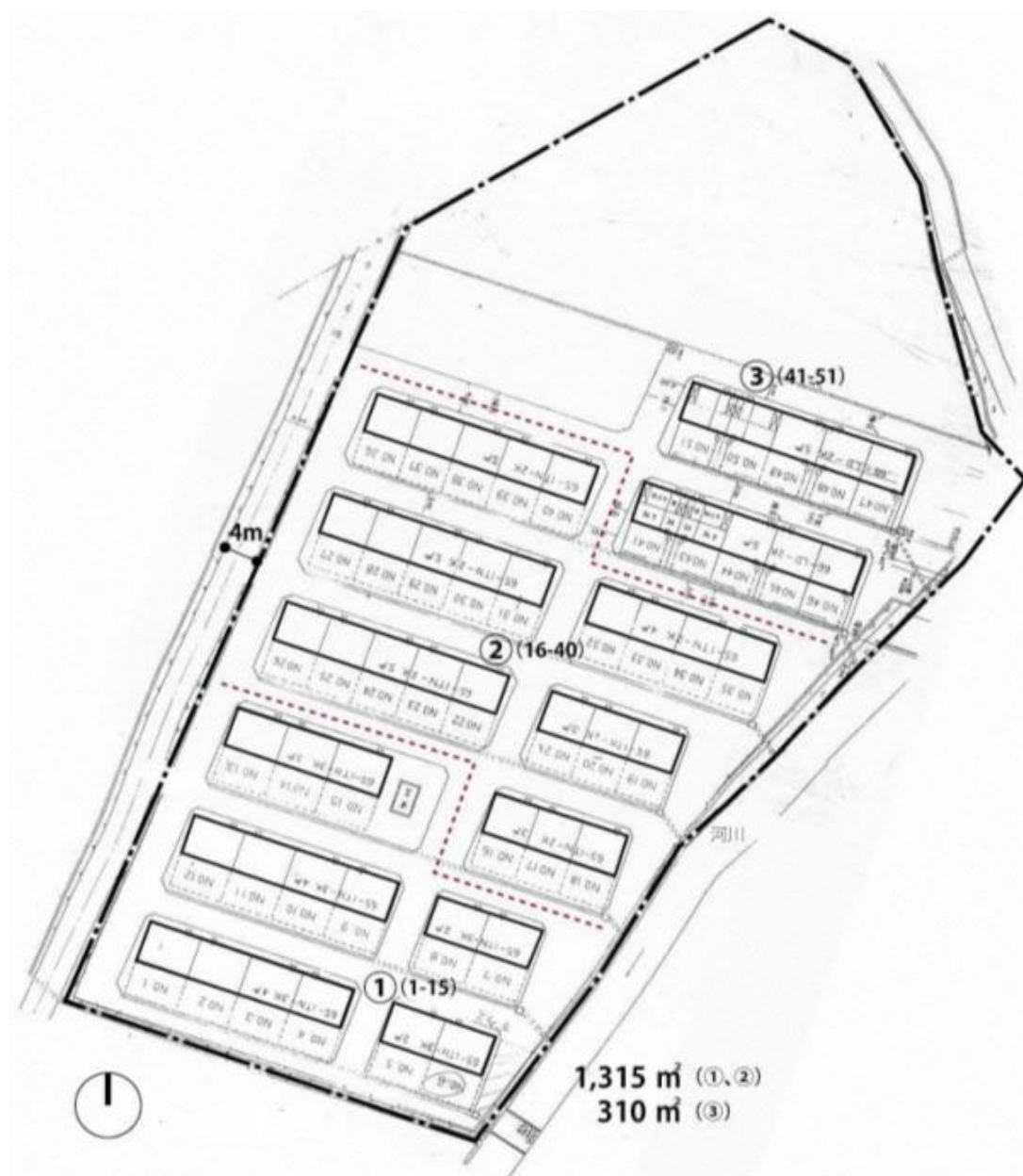
「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」

「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」

「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

● 敷地状況

敷地面積	7,589.45㎡	市有地	借地	延べ面積 (住棟合計)	簡平： 1,625㎡	駐車場	簡平： 有
特記事項	形状は整形。 接道は4m。						



※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



● 間取り

簡平	2 K	31.0 m ²	35 戸	3 K	36.0 m ²	15 戸
----	-----	---------------------	------	-----	---------------------	------



2 Kタイプ



3 Kタイプ



永原第1団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	- 戸	- 戸	- 戸		112 戸	35 戸	0 戸

● 住棟データ 耐用年数超過 耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
A	中耐	4	1996	24	80	16	64.4/73.0 76.3	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
B	中耐	4	1996	24	80	32	73.0 76.3	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
C	中耐	4	1995	25	80	32	65.3/76.3 79.7	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
D	中耐	4	1993	27	80	32	62.3/73.3 76.6	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
集会所	RC平屋建て		1996	24	耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	中耐	2	5	1	4	2	4	0	5	8	39
応募	中耐	25	18	13	9	6	10	0	5	12	107
倍率	中耐	12.5	3.6	13.0	2.3	3.0	2.5	-	1.0	1.5	2.7

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位(1~8)	中耐	25,400 ~ 82,600
近傍同種	中耐	60,300 ~ 82,600

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	中耐: RCスラブ内断熱、モルタル下地、アスファルトルーフィング、ガルバリウム鋼板葺き
外壁/ 外部建具	中耐: RC造外断熱パネル張り、複層仕上げ塗材吹付/アルミサッシ
給排水/ 給湯/ガス	中耐: ポンプ圧送方式(受水槽)、下水道/給湯器完備/都市ガス
浴室/便所	中耐: ユニットバス/水洗

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
			なし

● 居住性(設備の有無等)

※問題がある場合は×、問題が無い場合は○

中耐	○ 日照・通風	○ プライバシー・騒音等問題	○ 便所水洗化	○ 給湯器	
	○ 住戸内部の高齢化対応	○ 共用部の高齢化対応	○ 駐輪場	○ 屋外物置	○ ゴミ集積場
	○ 集会所	○ 児童遊園	○ その他問題点		

● 周辺状況

用途地域等	第1種中高層住居専用地域（150/60）
立地性	● 教育・医療・商業施設が近隣に充実していて利便性は良い。 ● 路線バスは1時間に1本程度通っている。 ● 第1・第2（中耐）・第3（簡平）は隣接しているが、第3団地は簡平の為、相互連携は困難。



～ 凡 例 ～

- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ コンビニエンスストア
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス (1時間1本以上)
- 路線バス (1時間1本未満)

● 団地周辺の利便施設等を各団地毎に示す。

- 「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」
- 「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」
- 「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」
- 「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」
- 「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」
- 「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」
- 「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

● 敷地状況

敷地面積	12,271.27㎡	市有地 12,271.27㎡	借地 -	延べ面積 (住棟合計)	中耐： 9,596㎡	駐車場	中耐： 有
特記事項	比較的まとまった形状。 歩車道分離は確保できている。						



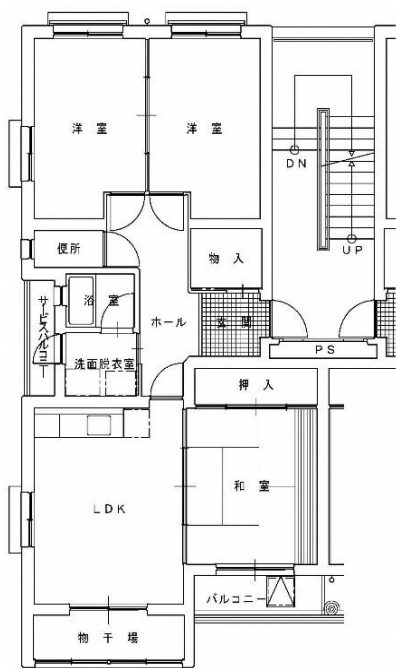
※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



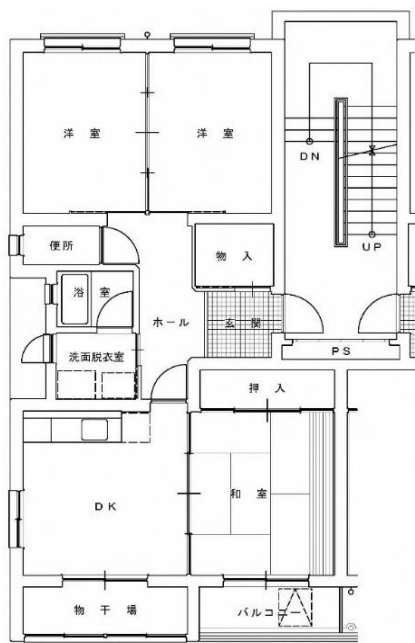
● 間取り

中耐	2DK	64.4 m ²	4戸	2LDK	62.3~65.3 m ²	12戸
	3DK	73.0~76.3 m ²	44戸	3LDK	73.3~79.7 m ²	52戸

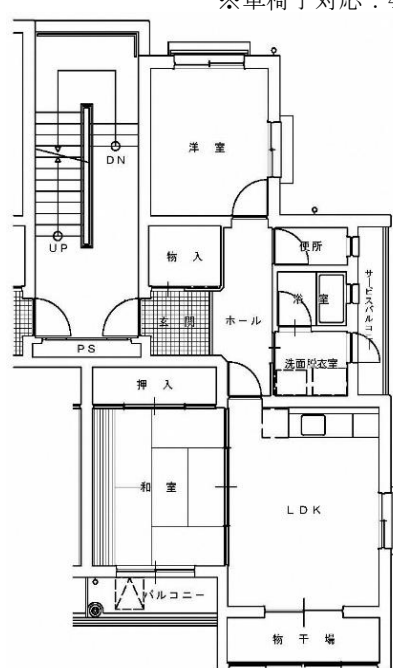
※車椅子対応：4戸



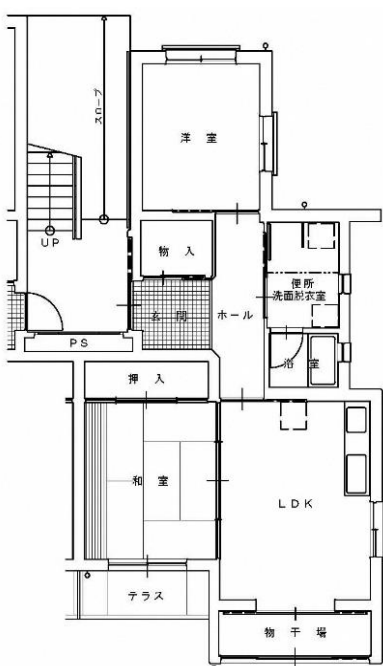
3LDKタイプ



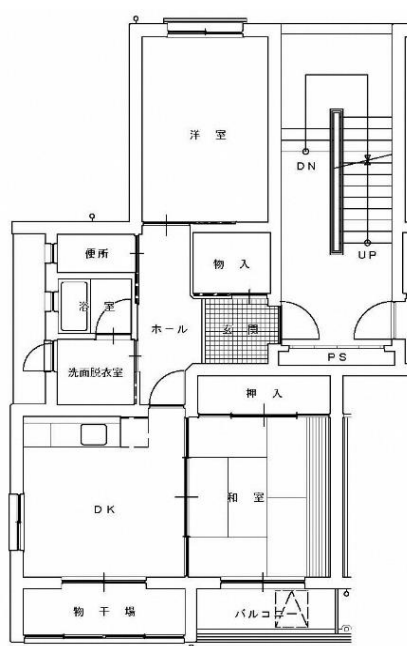
3DKタイプ



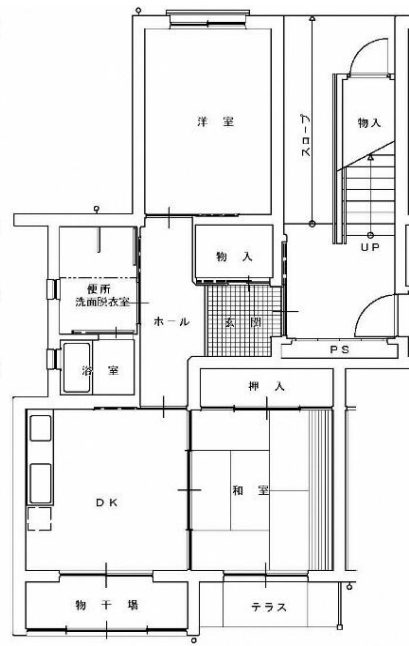
2LDKタイプ



2LDK（車椅子対応）タイプ



2DKタイプ



2DK（車椅子対応）タイプ



永原第2団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	- 戸	- 戸	- 戸		48 戸	18 戸	0 戸

● 住棟データ 耐用年数超過 耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
N1	中耐	4	1972	48	80	24	49.0	耐震診断 I b	確保: 玄関+バルコニー
N2	中耐	4	1973	47	80	24	52.0	耐震診断 I b	確保: 玄関+バルコニー
集会所	なし				耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	中耐	4	4	1	0	4	0	4	3	1	22
応募	中耐	6	2	0	0	2	0	3	5	0	20
倍率	中耐	1.5	0.5	0.0	-	0.5	-	0.8	1.7	0.0	0.9

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位(1~8)	中耐	14,600 ~ 35,900
近傍同種	中耐	32,200 ~ 35,900

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	中耐: R C造スラブ上断熱材、鉄骨小屋組、耐火野地板、ゴムアスシート、ガルバリウム鋼板葺き ※既存R C造スラブの上に鉄骨造勾配屋根新設
外壁/ 外部建具	中耐: R C造外断熱パネル張り、複層仕上げ塗材吹付/アルミサッシ
給排水/ 給湯/ガス	中耐: ポンプ圧送方式(受水槽)、下水道/給湯器完備/都市ガス
浴室/便所	中耐: 浴槽・風呂釜持込み/水洗

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
1997	N1, N2	48	給水設備改修
2000	N1	24	外壁断熱塗装 置屋根
2001	N2	24	外壁断熱塗装 置屋根
2008	N1, N2	48	宅内外ガス管取替工事(全取替)
2011	N1	8	給水設備改修
2012	N1	16	給水設備改修
2013	N2	24	給水設備改修
2015	N2	24	外壁修繕
2016	N1	24	外壁修繕

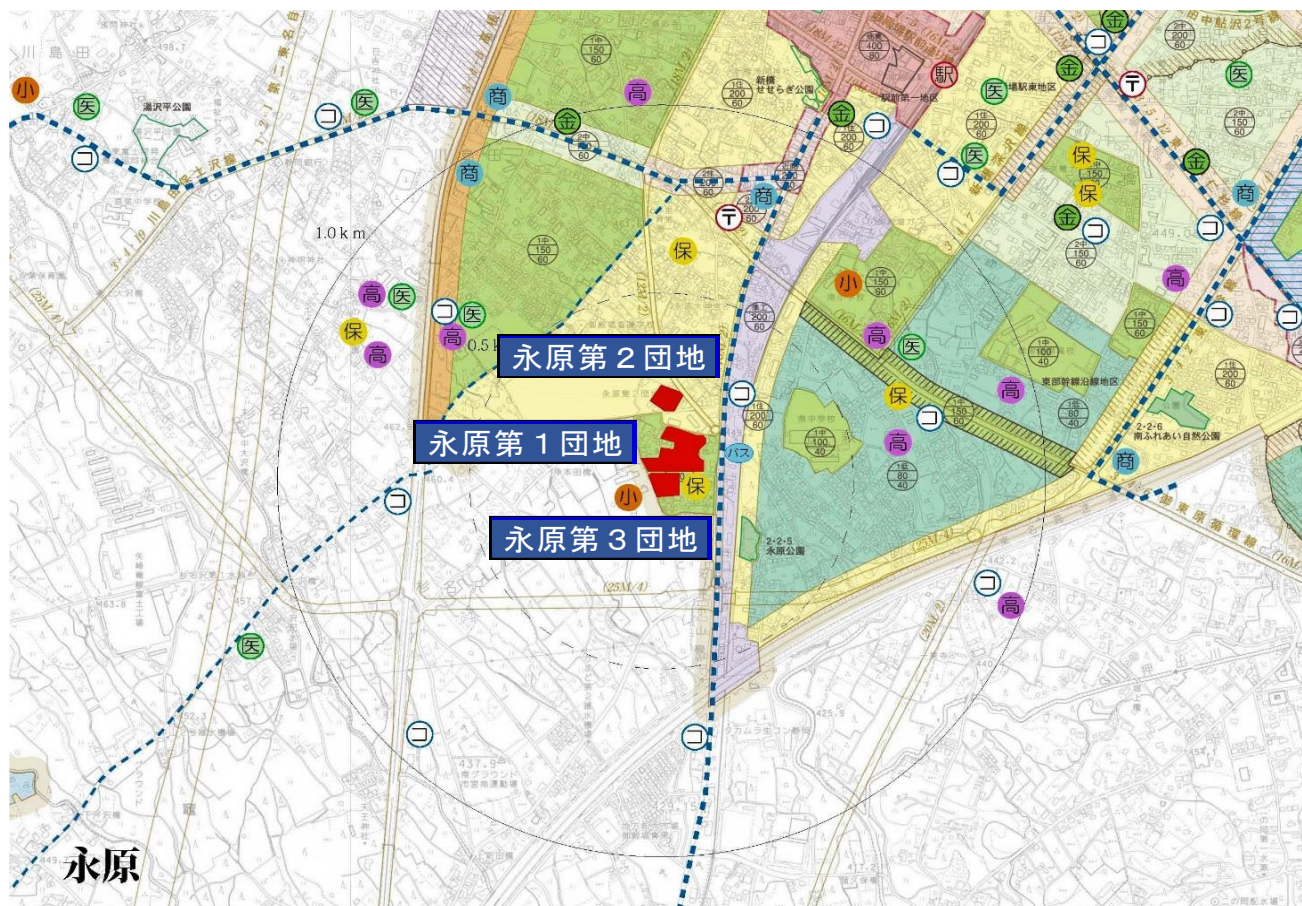
● 居住性(設備の有無等)

※問題がある場合は×、問題が無い場合は○

中耐	○ 日照・通風 ○ ブラインド・騒音等問題 ○ 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 × 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 ○ 屋外物置 ○ ゴミ集積場 × 集会所 × 児童遊園 ○ その他問題点
----	--

● 周辺状況

用途地域等	第1種住居地域（200/60）
立地性	● 教育・医療・商業施設が近隣に充実していて利便性は良い。 ● 路線バスは1時間に1本程度通っている。 ● 第1・第2（中耐）・第3（簡平）は隣接しているが、第3団地は簡平の為、相互連携は困難。



～ 凡 例 ～

● 団地周辺の便利施設等を各団地毎に示す。

「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」

「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」

「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」

「金融機関（銀行・J A・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」

「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」

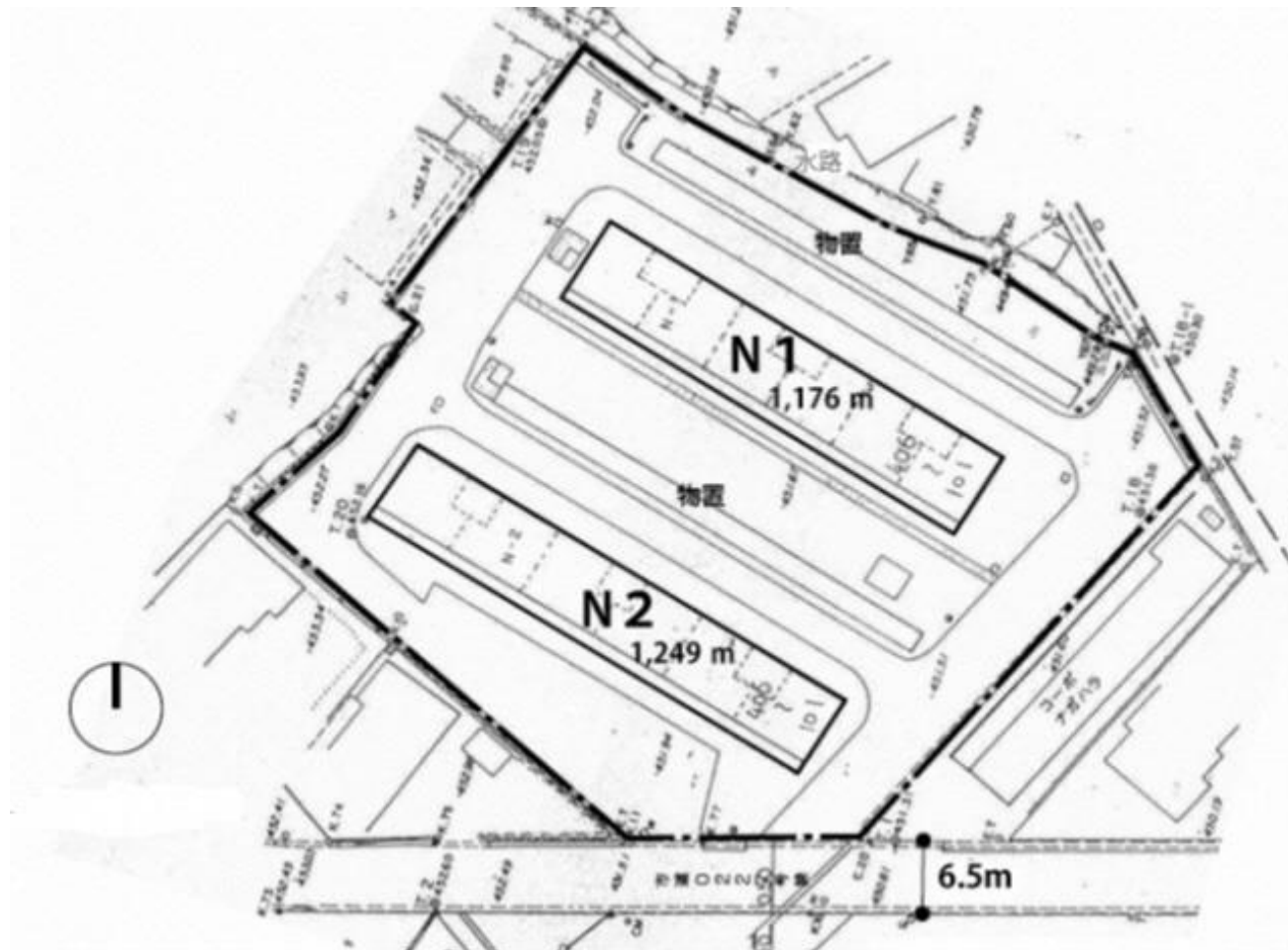
「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」

「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ コンビニエンスストア
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス（1時間1本以上）
- 路線バス（1時間1本未満）

● 敷地状況

敷地面積	3,665.63㎡	市有地 3,665.63㎡	借地 -	延べ面積 (住棟合計)	中耐： 2,425㎡	駐車場	中耐： 有
特記事項	比較的まとまった形状。 歩車道分離は確保できている。						

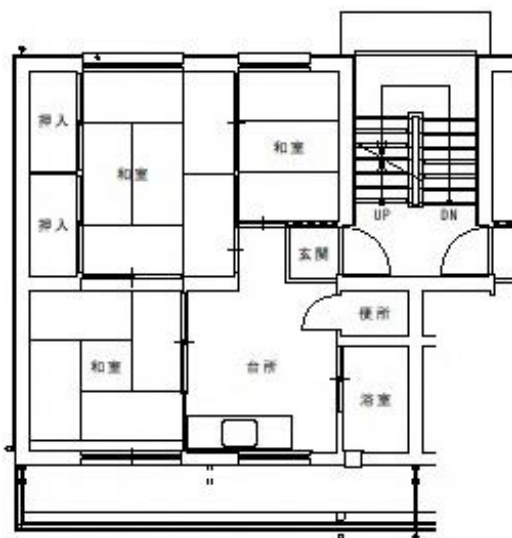


※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



● 間取り

中耐	3DK	49.0~52.0 m ²	4戸
----	-----	--------------------------	----



N 1 棟



N 2 棟



永原第3団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	15 戸	7 戸	7 戸		- 戸	- 戸	- 戸

● 住棟データ

耐用年数超過

耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(m ²)	耐震性能ランク	二方向避難
1	簡平	1	1963	57	30	10	36.5	耐震診断 I b	確保: 玄関+南側掃出
2	簡平	1	1964	56	30	5	31.0	耐震診断 I b	確保: 玄関+南側掃出
集会所	なし			耐用年数基準年: 2020 年					

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	簡平	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
応募	簡平	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
倍率	簡平	-	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位(1~8)	簡平	6,800 ~ 21,500
近傍同種	簡平	23,000 ~ 23,900

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	簡平: 木造小屋組(断熱材無し)、野地板、アスファルトルーフィング、金属板瓦棒葺き
外壁/外部建具	簡平: C B 造、リシン吹付、アルミサッシ
給排水/給湯/ガス	簡平: 水道直結直圧方式、下水道/給湯器持込/プロパンガス
浴室/便所	簡平: 浴槽・風呂釜持込み/水洗

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
1998	15	15	屋根改修(オールカバ工法)
			外壁改修
			トイレ改修(水洗化)
			内装改修(床・壁・天井の下地・仕上げ、建具、流し等)

● 居住性(設備の有無等)

※問題が有る場合は×、問題が無い場合は○

簡平	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 ○ 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 ○ 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 × 屋外物置 ○ ゴミ集積場 × 集会所 × 児童遊園 ○ その他問題点
----	---

● 周辺状況

用途地域等	第1種中高層住居専用地域（150／60）
立地性	● 教育・医療・商業施設が近隣に充実していて利便性は良い。 ● 路線バスは1時間に1本程度通っている。 ● 第1・第2（中耐）・第3（簡平）は隣接しているが、第3団地は簡平の為、相互連携は困難。



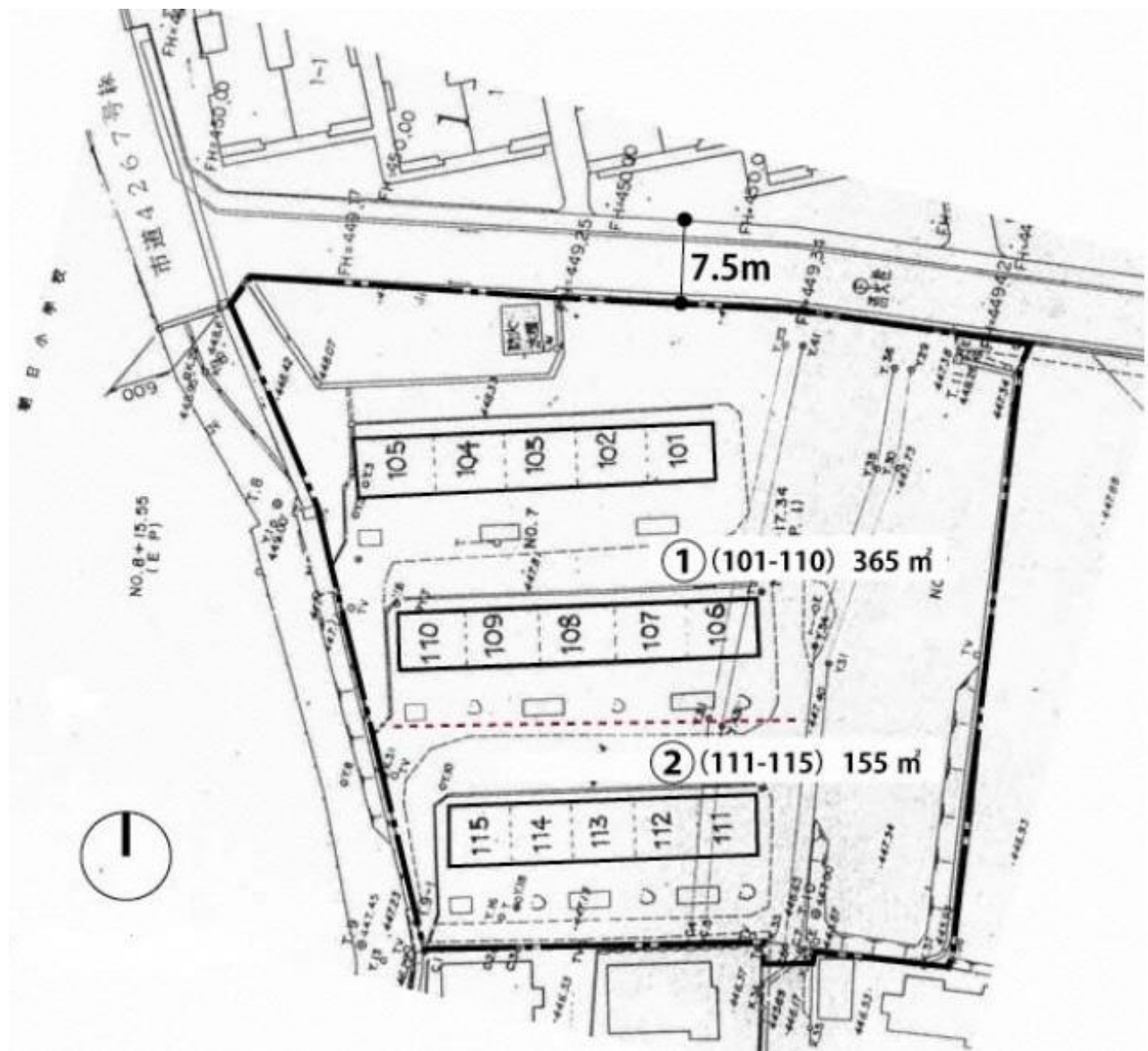
- 団地周辺の利便施設等を各団地毎に示す。
- 「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」
- 「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」
- 「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」
- 「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」
- 「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」
- 「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」
- 「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

～ 凡 例 ～

- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ コンビニエンスストア
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス（1時間1本以上）
- 路線バス（1時間1本未満）

● 敷地状況

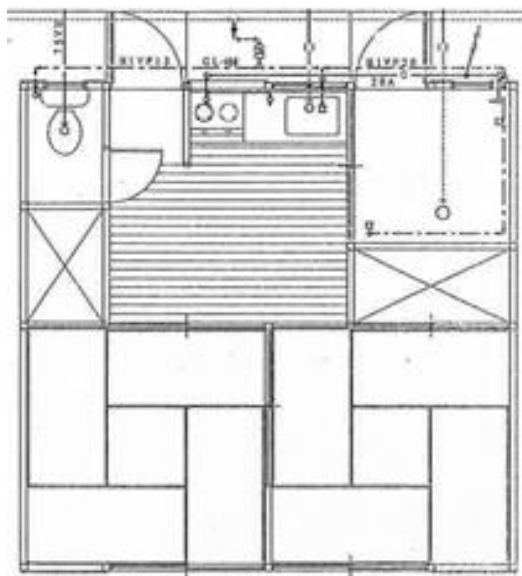
敷地面積	3,237.34㎡	市有地 2,099.13㎡	借地 1,138.21㎡	延べ面積 (住棟合計)	簡平：520㎡	駐車場	簡平：有
特記事項	形状は整形。 接道よりG Lが1 m程度低く、敷地内も50 c m程度の高低差が有り。（南側下がり）						



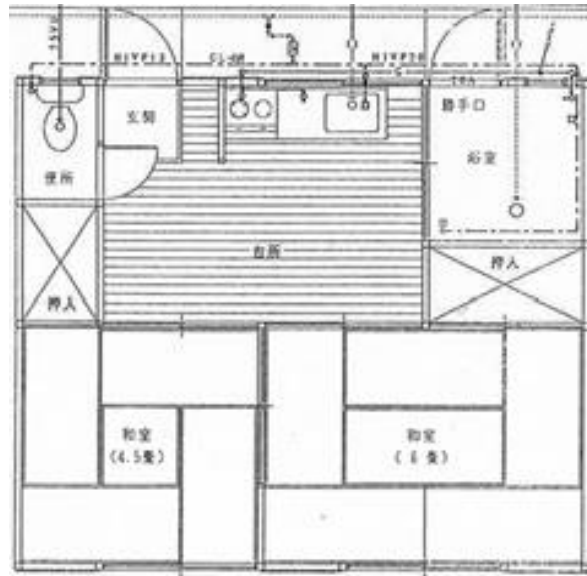
※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積

● 間取り

簡平	2 K	31.0 m ²	5 戸	2 DK	36.5 m ²	4 戸
----	-----	---------------------	-----	------	---------------------	-----



2 Kタイプ



2 DKタイプ



保土沢団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	20 戸	11 戸	11 戸		- 戸	- 戸	- 戸

● 住棟データ

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
1	簡平	1	1960	60	30	10	35.7	耐震診断 II	確保: 玄関+南側掃出
2	簡平	1	1960	60	30	10	28.9	耐震診断 II	確保: 玄関+南側掃出
集会所	なし				耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	簡平	0	0	1	1	2	0	0	0	0	4
応募	簡平	0	0	0	4	1	0	0	0	0	5
倍率	簡平	-	-	0.0	4.0	0.5	-	-	-	-	1.3

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位(1~8)	簡平	2,300 ~ 7,700
近傍同種	簡平	13,800 ~ 16,400

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	簡平: 木造小屋組、大波板スレート葺き
外壁/外部建具	簡平: C B造、モルタル塗り、リシン吹付/木製建具(一部アルミサッシ)
給排水/給湯/ガス	簡平: 水道直結直圧方式、雑排水側溝放流/給湯器持込/プロパンガス
浴室/便所	簡平: 浴槽・風呂釜持込み/汲取り

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
			なし

● 居住性(設備の有無等) ※問題が有る場合は×、問題が無い場合は○

簡平	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 × 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 × 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 × 屋外物置 ○ ゴミ集積場 × 集会所 ○ 児童遊園 ○ その他問題点
----	---

● 周辺状況

用途地域等	市街化調整区域（200/60）
立地性	● 医療・商業施設が近隣に少ない。 ● 工業地域及び工業専用地域が隣接している。 ● 路線バスは1時間に1本程度通っている。 ● 1km圏内に市営住宅はなく、相互連携は困難。



～凡例～

● 団地周辺の便利施設等を各団地毎に示す。

「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」

「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」

「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」

「金融機関（銀行・J A・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」

「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」

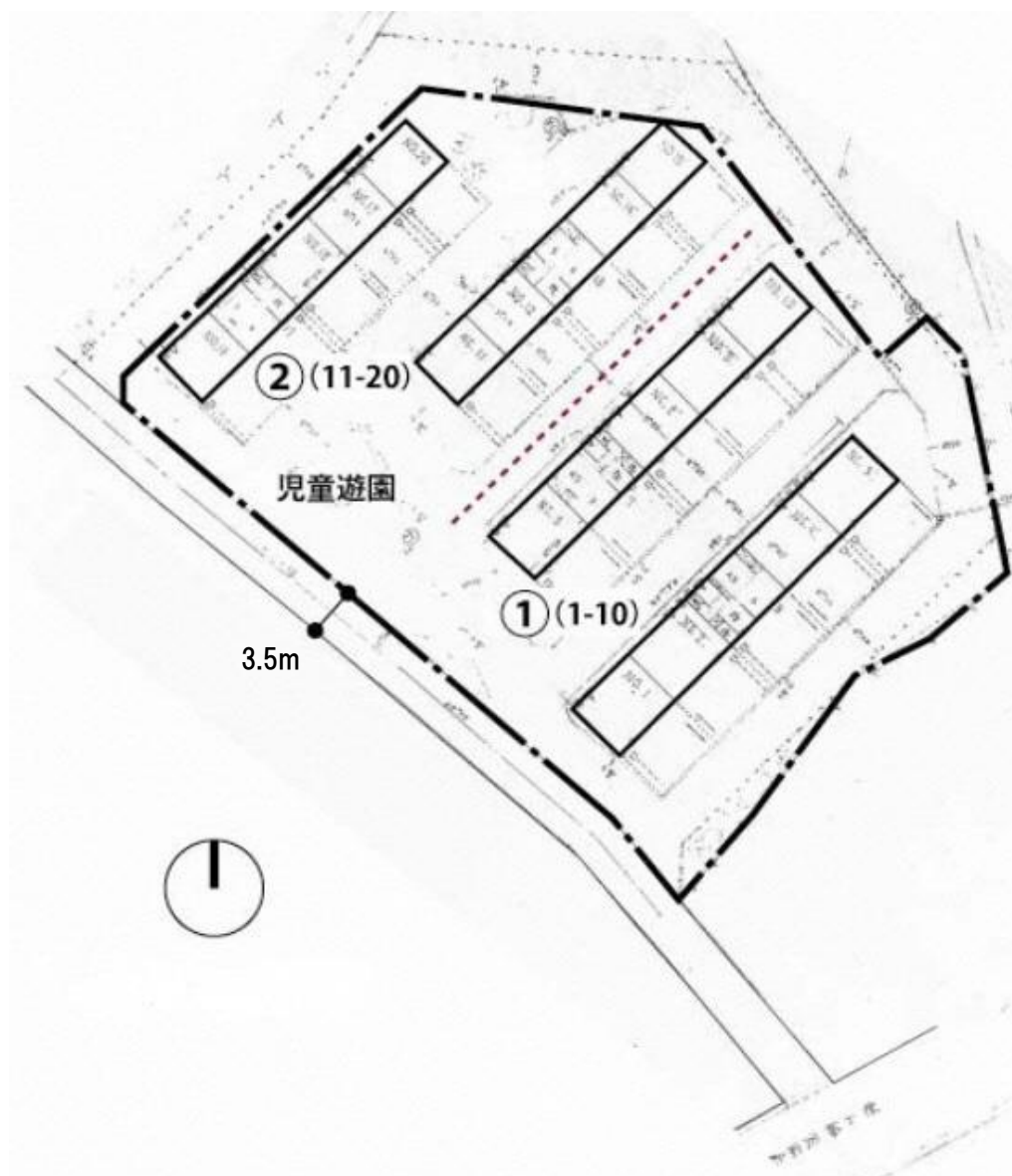
「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」

「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ ｺﾝﾍﾞﾆｴﾝｽｽﾄｱ
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス（1時間1本以上）
- 路線バス（1時間1本未満）

● 敷地状況

敷地面積	2,715.36㎡	市有地 2,715.36㎡	借地 -	延べ面積 (住棟合計)	簡平： 647㎡	駐車場	簡平： 有
特記事項	整形でまとまった形状。 接道の幅員が3.5mで、4m無い。						



※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



● 間取り

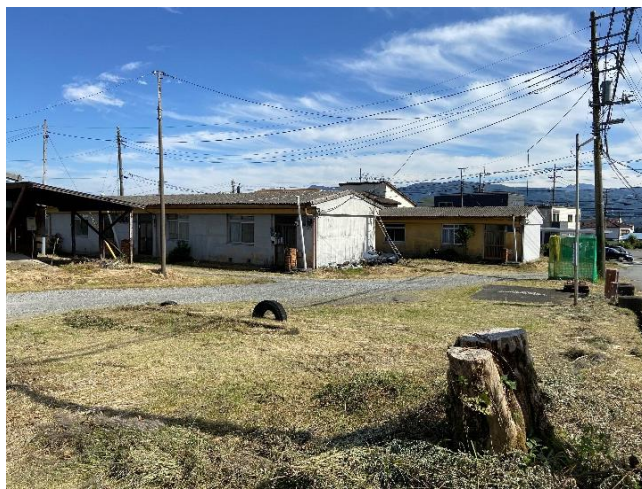
簡平	2 K	28.9 m ²	5 戸	2 DK	35.7 m ²	4 戸
----	-----	---------------------	-----	------	---------------------	-----



2 Kタイプ



2 DKタイプ



玉穂第2団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	耐二住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	- 戸	- 戸	- 戸		120 戸	20 戸	0 戸

● 住棟データ 耐用年数超過 耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
A	耐二	2	2003	17	80	15	38.6/58.8	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
B	耐二	2	2003	17	80	15	38.6/58.8	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
C	耐二	2	2004	16	80	15	38.6/58.8	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
D	耐二	2	2004	16	80	15	38.6/58.8	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
E	耐二	2	2005	15	80	14	38.6/59.2	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
F	耐二	2	2005	15	80	14	38.6/59.2	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
G	耐二	2	2006	14	80	10	38.6/59.2	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
H	耐二	2	2006	14	80	12	59.2	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
I	耐二	2	2006	14	80	10	38.6/59.2	新耐震基準 I b	確保: 玄関+バルコニー
集会所	木造平屋建て		2006	14	耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	耐二	6	3	5	8	3	2	4	5	3	42
応募	耐二	46	14	27	23	18	7	17	11	7	184
倍率	耐二	7.7	4.7	5.4	2.9	6.0	3.5	4.3	2.2	2.3	4.4

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位(1~8)	耐二	14,400 ~ 59,200
近傍同種	耐二	44,700 ~ 70,400

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	耐二: R C造スラブ内断熱材、アスファルトルーフィング、ガルバリウム鋼板葺き
外壁/ 外部建具	耐二: R C造外断熱パネル張り、複層仕上げ塗材吹付/アルミサッシ
給排水/ 給湯/ガス	耐二: 水道直結直圧方式、下水道/給湯器完備/プロパンガス
浴室/便所	耐二: ユニットバス/水洗

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
			なし

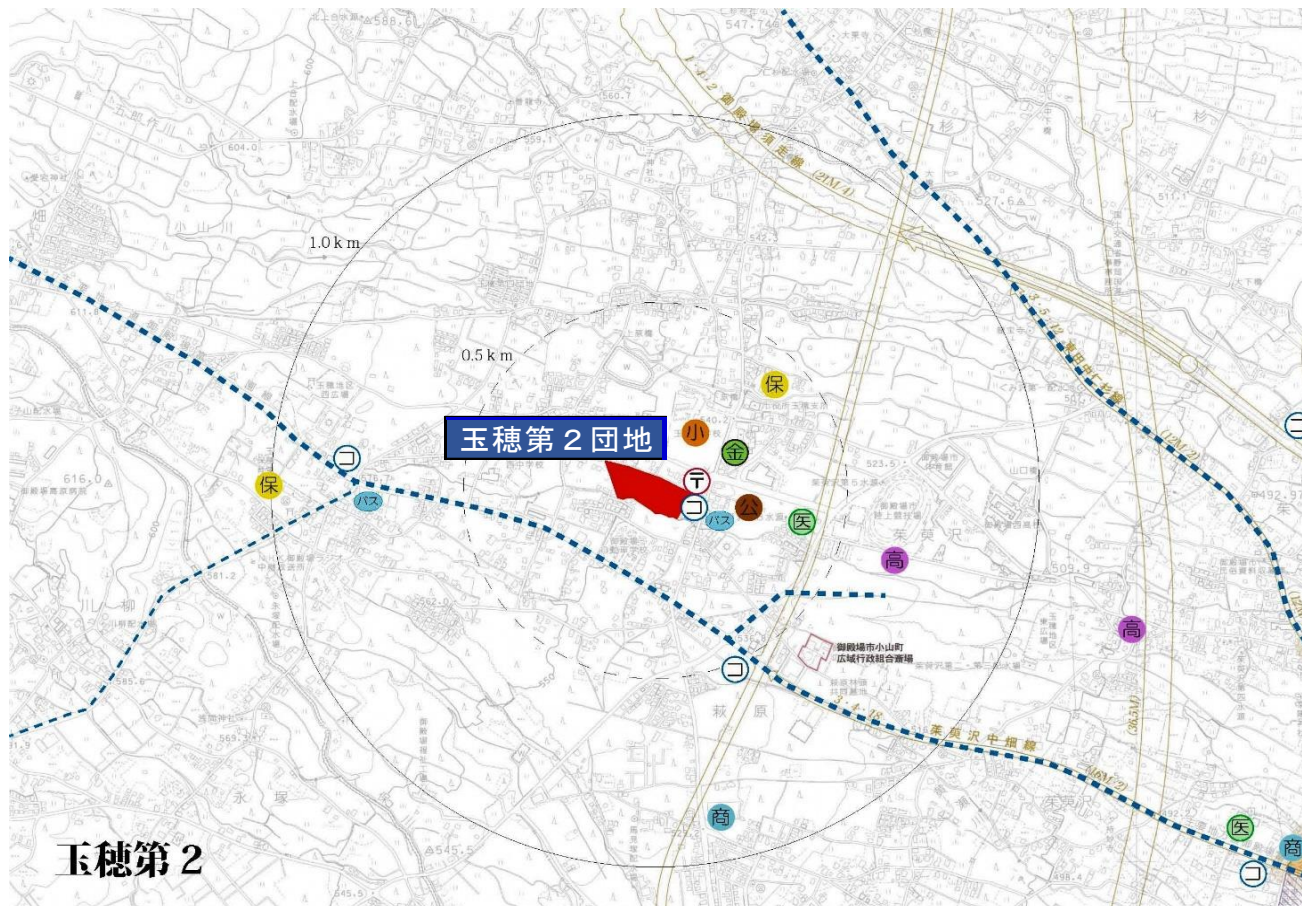
● 居住性(設備の有無等)

※問題がある場合は×、問題が無い場合は○

耐二	○ 日照・通風	○ プライバシー・騒音等問題	○ 便所水洗化	○ 給湯器
	○ 住戸内部の高齢化対応	○ 共用部の高齢化対応	○ 駐輪場	× 屋外物置
	○ 集会所	○ 児童遊園	○ その他問題点	○ ゴミ集積場

● 周辺状況

用途地域等	市街化調整区域（200/60） 建替制限；高さ10m以下、延べ床面積・戸数1.5倍以内、階数3階まで
立地性	● 近隣に公共施設が充実しており、商業施設もある。 ● 路線バスが多く通っており、駅周辺へのアクセスは良い。 ● 1km圏内に簡平団地が1か所あるが、タイプが違うため相互連携は困難。



玉穂第2

～ 凡 例 ～

● 団地周辺の便利施設等を各団地毎に示す。

「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」

「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」

「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」

「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」

「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」

「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」

「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

- 小学校
- 保育園等
- 医療機関
- 商業施設
- コンビニストア
- 金融機関
- 郵便局
- 高齢者福祉施設
- 市役所・支所
- 駅
- バス停
- 路線バス（1時間1本以上）
- 路線バス（1時間1本未満）

● 敷地状況

敷地面積	15,955.05㎡	市有地 -	借地 15,955.05㎡	延べ面積 (住棟合計)	耐二： 6,169㎡	駐車場	耐二： 有
特記事項	まとまった敷地形状。 A棟～I棟に向かって上り勾配になっている。(高低差が有り)						

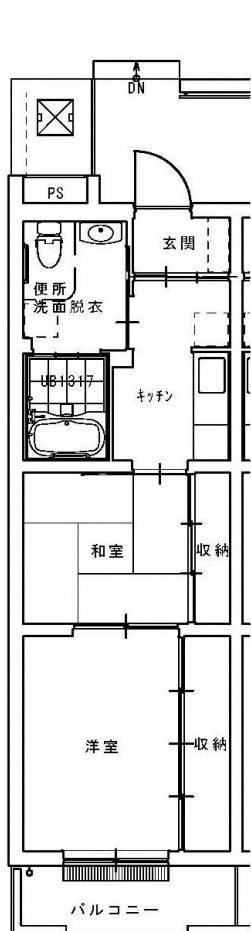


※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



● 間取り

耐二	2 K	38.6 m ²	60 戸	3 DK	58.8~59.2 m ²	60 戸
----	-----	---------------------	------	------	--------------------------	------



2 Kタイプ



3 DKタイプ



玉穂第4団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	81 戸	41 戸	41 戸		- 戸	- 戸	- 戸

● 住棟データ 耐用年数超過 耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
1	簡平	1	1968	52	30	27	31.4	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
2	簡平	1	1968	52	30	20	36.4	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
3	簡平	1	1969	51	30	20	36.4	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
4	簡平	1	1969	51	30	14	31.4	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
集会所	木造平屋建て		1981	39	耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	簡平	5	3	5	3	5	0	0	0	0	21
応募	簡平	13	7	8	1	1	0	0	0	0	30
倍率	簡平	2.6	2.3	1.6	0.3	0.2	-	-	-	-	1.4

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位(1~8)	簡平	4,100 ~ 13,400
近傍同種	簡平	13,400 ~ 15,400

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	簡平: 木造小屋組、大波板スレートの上折板葺き
外壁/外部建具	簡平: C B造、モルタル塗り、リシン吹付/木製建具(一部アルミサッシ)
給排水/給湯/ガス	簡平: 水道直結直圧方式、雑排水側溝放流/給湯器持込/プロパンガス
浴室/便所	簡平: 浴槽・風呂釜持込み/汲取り

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
			なし

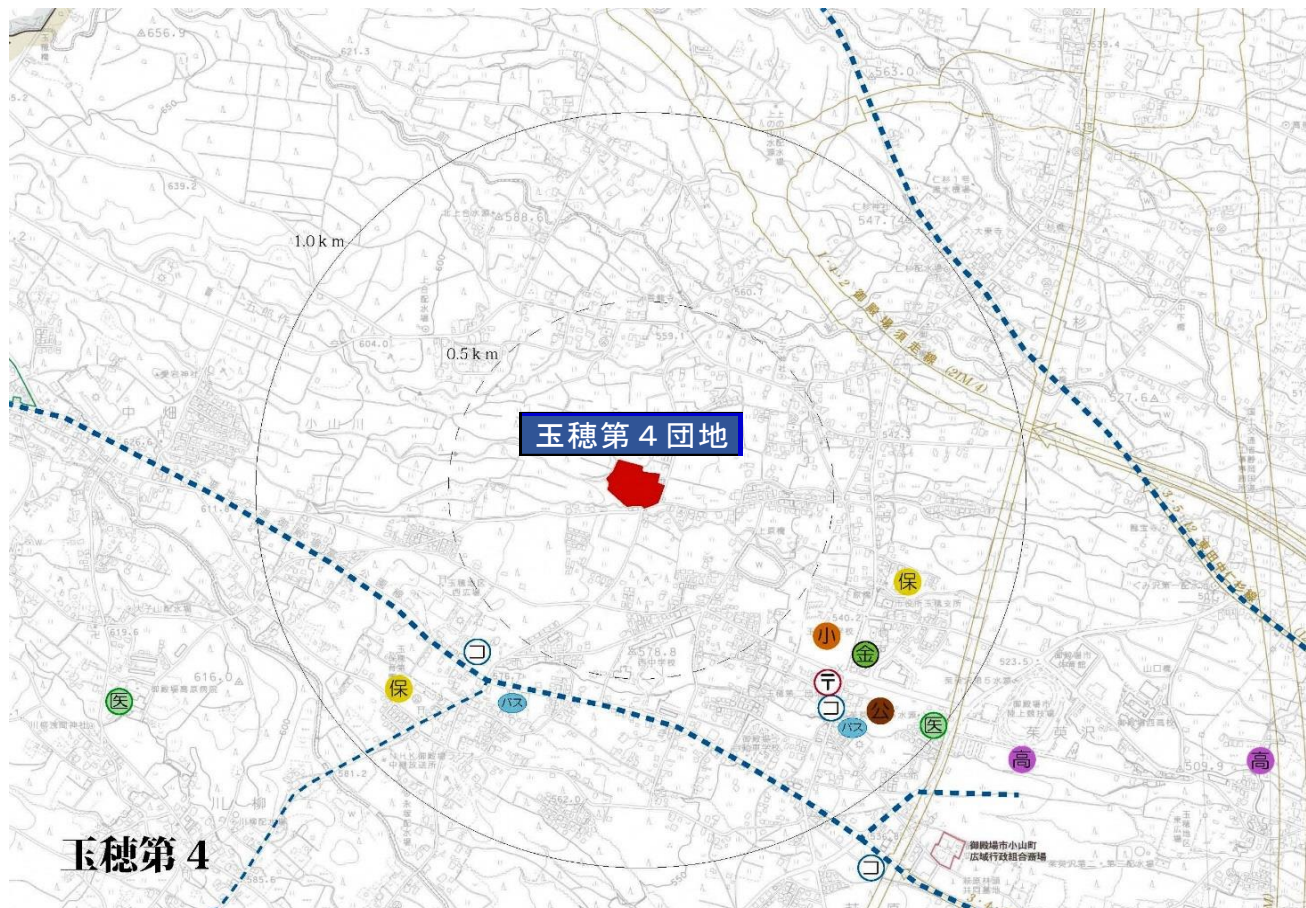
● 居住性(設備の有無等)

※問題が有る場合は×、問題が無い場合は○

簡平	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 × 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 ○ 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 × 屋外物置 ○ ゴミ集積場 ○ 集会所 ○ 児童遊園 ○ その他問題点
----	---

● 周辺状況

用途地域等	市街化調整区域（200/60） 建替制限；高さ10m以下、延べ床面積・戸数1.5倍以内、階数3階まで
立地性	● 近隣に公共施設が充実しており、商業施設もある。 ● 近隣に新東名ICが出来る予定で、将来的には利便性が良くなる可能性はある。 ● 路線バスは最寄りのバス停まで距離があり、運行本数も少ない。 ● 1km圏内に耐二団地が1か所あるが、タイプが違うため相互連携は困難。



～ 凡 例 ～

● 団地周辺の便利施設等を各団地毎に示す。

「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」

「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」

「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」

「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」

「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」

「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」

「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ ｺﾝﾍﾞﾆｴﾝｽｽﾄｱ
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 市 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス（1時間1本以上）
- 路線バス（1時間1本未満）

● 敷地状況

敷地面積	11,554.44㎡	市有地 11,554.44㎡	借地 -	延べ面積 (住棟合計)	簡平： 2,746㎡	駐車場	簡平： 有
特記事項	まとまった敷地形状。 入口から奥に向かって上り勾配になっている。(高低差が有り)						

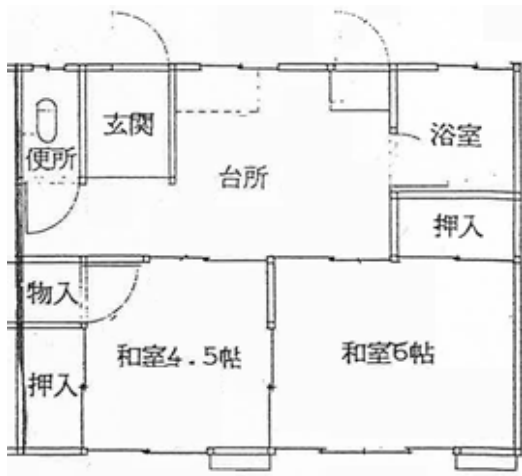


※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積



● 間取り

簡平	2 K	31.4～36.4 m ²	60 戸
----	-----	--------------------------	------



2 Kタイプ



印野第1団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	- 戸	- 戸	- 戸		16 戸	7 戸	0 戸

● 住棟データ 耐用年数超過 耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
-	中耐	4	1979	41	80	16	68.9	耐震診断 I b	確保: 玄関+バルコニー
集会所	なし			耐用年数基準年: 2020 年					

● 応募倍率

年（西暦20xx）		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	中耐	0	1	4	1	1	0	1	0	2	4	14
応募	中耐	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
倍率	中耐	-	1.0	0.3	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.3	0.2

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位(1~8)	中耐	16,600 ~ 43,500
近傍同種	中耐	43,500

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	中耐: R C造スラブ上断熱材、鉄骨小屋組、耐火野地板、ゴムアスシート、ガルバリウム鋼板葺き ※既存R C造スラブの上に鉄骨造勾配屋根新設
外壁/外部建具	中耐: R C造外断熱パネル張り、複層仕上げ塗材吹付/アルミサッシ
給排水/給湯/ガス	中耐: ポンプ圧送方式(受水槽)、浄化槽/給湯器持込み/プロパンガス
浴室/便所	中耐: 浴槽・風呂釜持込み/水洗

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
1998		16	置屋根 外壁外断熱
2011		16	宅内外ガス管取替工事(全取替)

● 居住性(設備の有無等)

※問題が有る場合は×、問題が無い場合は○

中耐	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 ○ 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 × 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 ○ 屋外物置 ○ ゴミ集積場 × 集会所 ○ 児童遊園 ○ その他問題点
----	---

● 周辺状況

用途地域等	市街化調整区域（200/60） 建替制限；高さ10m以下、延べ床面積・戸数1.5倍以内、階数3階まで
立地性	● 近隣に公共施設は充実しているが、医療・商業施設が少ない。 ● 御殿場市の中でも積雪が多い地域。 ● バス路線はあるが、運行本数が非常に少ない。 ● 1km圏内に簡平団地が1か所あるが、タイプが異なるため相互連携は困難。



～凡例～

- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コンビニ コンビニストア
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス (1時間1本以上)
- 路線バス (1時間1本未満)

● 団地周辺の便利施設等を各団地毎に示す。

「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」

「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」

「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」

「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」

「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」

「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」

「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

● 敷地状況

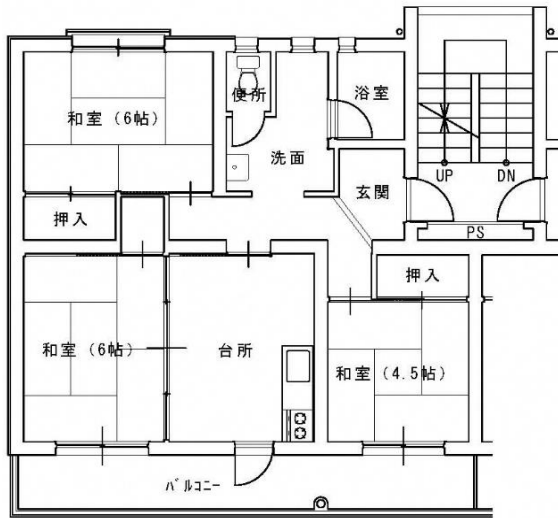
敷地面積	1,631.8㎡	市有地 -	借地 1,631.8㎡	延べ面積 (住棟合計)	中耐： 1,102㎡	駐車場	中耐： 有
特記事項	比較的まとまった形状。 公道（接道）と敷地とに1.5m程度の高低差が有り。						



※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積

● 間取り

中耐	3DK	68.9 m ²	16 戸
----	-----	---------------------	------



3DKタイプ



印野第2団地							
簡平住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家	中耐住宅	管理戸数	空家戸数	空家のうち政策空家
	15 戸	6 戸	6 戸		- 戸	- 戸	- 戸

● 住棟データ 耐用年数超過 耐用年数過半超過

棟名	構造	階数	建設年度	経過年数	耐用年数	管理戸数	住戸面積(㎡)	耐震性能ランク	二方向避難
1	簡平	1	1964	56	30	10	31.0	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
2	簡平	1	1965	55	30	5	31.0	耐震診断 III	確保: 玄関+南側掃出
集会所	なし				耐用年数基準年: 2020 年				

● 応募倍率

年(西暦20xx)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
募集	簡平	0	1	4	0	2	0	0	0	0	7
応募	簡平	0	5	0	0	1	0	0	0	0	6
倍率	簡平	-	5.0	0.0	-	0.5	-	-	-	-	0.9

家賃 ※令和2年度

種別	構造	家賃(円)
分位 (1~8)	簡平	3,000 ~ 8,400
近傍 同種	簡平	11,100 ~ 11,200

● 主な仕上げ・設備

仕様	
屋根	簡平: 木造小屋組、大波板スレートの上折板葺き
外壁/ 外部建具	簡平: C B造、モルタル塗り、リシン吹付/木製建具(一部アルミサッシ)
給排水/ 給湯/ガス	簡平: 水道直結直圧方式、雑排水側溝放流/給湯器持込/プロパンガス
浴室/便所	簡平: 浴槽・風呂釜持込み/汲取り

● 大規模修繕履歴

年度	棟名	戸数	修繕工事内容
			なし

● 居住性(設備の有無等) ※問題が有る場合は×、問題が無い場合は○

簡平	○ 日照・通風 ○ プライバシー・騒音等問題 × 便所水洗化 × 給湯器 × 住戸内部の高齢化対応 ○ 共用部の高齢化対応 × 駐輪場 × 屋外物置 ○ ゴミ集積場 × 集会所 × 児童遊園 ○ その他問題点
----	---

● 周辺状況

用途地域等	市街化調整区域（200/60） 建替制限；高さ10m以下、延べ床面積・戸数1.5倍以内、階数3階まで
立地性	● 近隣に公共施設は充実しているが、医療・商業施設が少ない。 ● 御殿場市の中でも積雪が多い地域。 ● バス路線はあるが、運行本数が非常に少ない。（バス停は近い） ● 1km圏内に中耐団地が1か所あるが、タイプが異なるため相互連携は困難。



～凡例～

- 小 小学校
- 保 保育園等
- 医 医療機関
- 商 商業施設
- コ コンビニエンスストア
- 金 金融機関
- 〒 郵便局
- 高 高齢者福祉施設
- 公 市役所・支所
- 駅 駅
- バス バス停
- 路線バス（1時間1本以上）
- 路線バス（1時間1本未満）

● 団地周辺の利便施設等を各団地毎に示す。

「駅」「バス停（1時間に1本以上停車するバス停）」

「バス路線（1時間に1本以上運行している路線）」

「保育園等（保育園・幼稚園・認定子ども園）」「小学校」「市役所及び支所」

「金融機関（銀行・JA・信金・労金の本店、支店）」「郵便局」

「高齢者福祉施設（デイサービスセンター・地域包括支援センター）」

「医療機関（病院・診療所のうち内科・整形外科を標榜している施設）」

「商業施設（スーパーマーケット・コンビニエンスストア等）」

● 敷地状況

敷地面積	2,055.24㎡	市有地 -	借地 2,055.24㎡	延べ面積 (住棟合計)	簡平： 465㎡	駐車場	簡平： 有
特記事項	敷地は袋小路形状で幅員も4.5mと狭い為、大型車両の進入は困難。						



※面積表示は住棟別（建設年度別）延べ面積

● 間取り

簡平	2 K	31.0 m ²	16 戸
----	-----	---------------------	------



2 Kタイプ



第3章 長寿命化に関する基本方針の設定

1 長寿命化に関する基本方針

市営住宅の適正管理と効果的な活用のために、長寿命化に関する基本方針を下記の項目とする。

- (1) ストックの状況を適切に把握するために点検を確実に実施する。
- (2) 点検結果に応じた適切な修繕等を実施する。
- (3) 実施結果を今後の修繕・改善事業等に活用できるよう適切なデータ管理を実施する。
- (4) 改修・改善の実施については、対症療法的な手法から予防保全的な改修・改善方法に切替えることにより市営住宅の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を図っていく。

2 ストックの状態の把握・修繕・日常的な維持管理・データ管理の方針

- (1) 点検及び整備・修繕履歴を住棟単位で整理し、随時、履歴を確認できるようにする。

団地ごとに築年数、構造、住戸面積・間取り、主な設備・仕上げ、耐震診断結果、募集倍率、敷地状況等の基礎データを整理し、住棟ごとに点検及び整備・修繕の履歴データを整理し、団地・住棟カルテとして取りまとめを行い、随時の更新を図る。

- (2) 定期点検を実施し、予防保全的な維持管理を実施する。

築後10年を超えている住棟を対象に概ね3年ごとの定期点検を実施し、点検結果については対応方針を明確に位置付けるものとする。

なお、定期点検・日常点検の詳細については第6章に示す。

3 ライフサイクルコストの縮減に関する方針

- (1) 定期点検の充実を図り、緊急修繕から予防保全を重視した計画修繕への転換を図る。

点検結果をA：早期対応、B：次期点検対応、C：問題なしのいずれかの方針に明確に区分し、その方針に基づく予防保全の取り組みを確実に実施する。

- (2) 耐久性が向上する改善を実施し、修繕周期の延長を図る。

耐久性を向上させるための主要な改善事業として、屋根改修（50年周期）※金属葺き勾配屋根、外壁塗装（20年周期）、給排水管更新（20年周期）の3点を位置づけ、定期点検の結果を踏まえながら、これらの改善事業の計画的な実施を図る。

- (3) 構造的な問題等から建替えまたは用途廃止が想定される住宅（簡易平屋住宅）については、建替えまたは用途廃止までの期間を考慮しながら、必要な修繕や維持管理を図る。

簡易平屋住宅については、建替えまたは用途廃止に向けた取り組みを進めていくことが基本であり、簡易平屋住宅全体の更新には中長期間での対応が求められることから引き続き政策空家とするが、災害関係・福祉関連等の特例的な入居に関しては従来どおりに入居を認めるとともに、必要な修繕及び維持管理を行う。

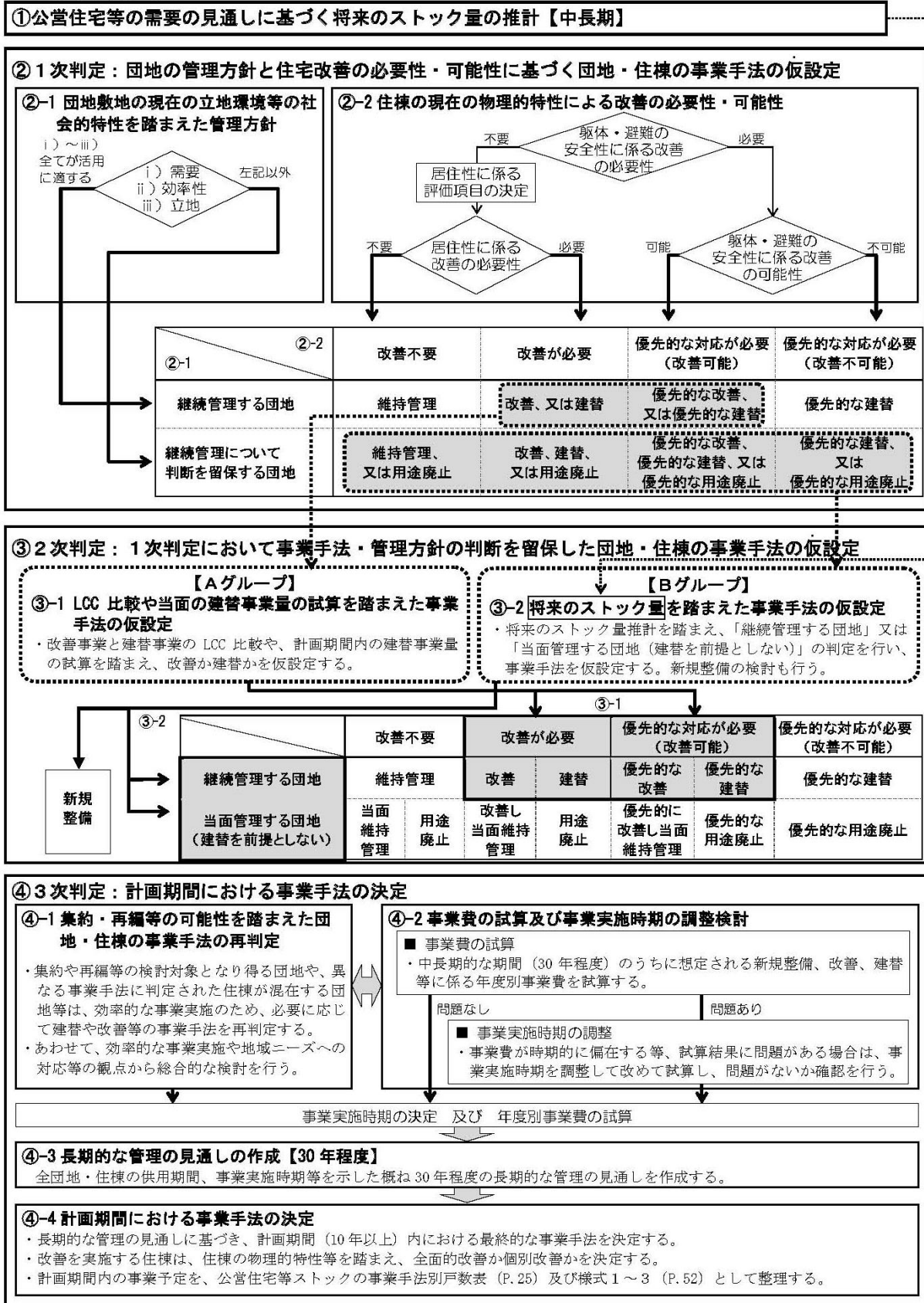
また、入居者の集約化が可能で維持管理上効果的である場合には、入居者の状況を考慮しつつ住み替えを推進するものとする。

第4章 公営住宅等長寿命化計画の対象と事業手法の選定

1 団地別・住棟別の事業手法の選定

事業手法の選定に当たっては、国土交通省住宅局『公営住宅等長寿命化計画策定指針（改訂）』に示された『事業手法の選定フロー』に基づいて行う。

■事業手法の選定フロー



2 公営住宅の需要の見通しに基づく将来のストック量の推計

公営住宅の需要の見通しの検討については、『公営住宅等長寿命化計画策定指針（改定）』で示された『ストック推計プログラム』を用いて、『著しい困窮年収未満の世帯』の世帯数を推計する。

(1) 著しい困窮年収未満の世帯の推計

『公営住宅長寿化計画策定指針（改定）』で示された『ストック推計プログラム』を用いて、公営住宅、民間賃貸住宅等も含めた借家に居住する『著しい困窮年収未満の世帯』の世帯数を推計した。

その結果、2015年（平成27年）に1,928世帯と推計される『著しい困窮年収未満の世帯』は減少傾向にあり、2040年（令和22年）には1,542世帯になると推計される。

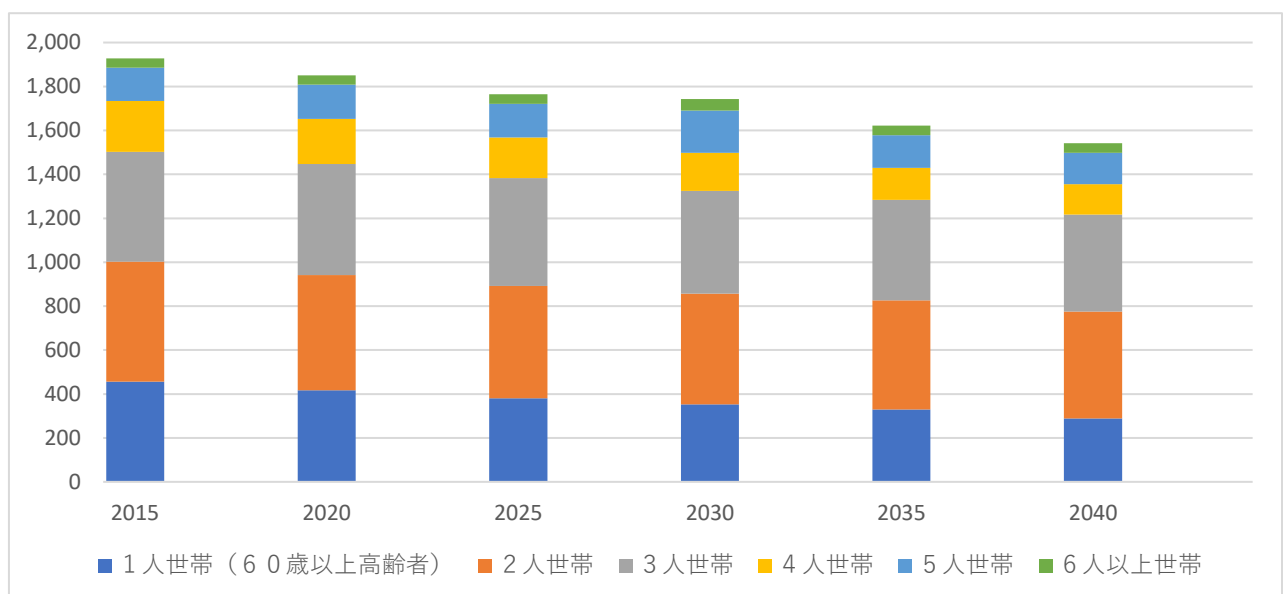
◆著しい困窮年収未満の世帯の推計－世帯数

（単位：世帯）

年度	2015 H27	2020 R2	2025 R7	2030 R12	2035 R17	2040 R22
1人世帯（60歳以上高齢者）	456	417	380	353	330	289
2人世帯	546	524	512	504	496	487
3人世帯	500	506	491	468	458	441
4人世帯	232	206	185	173	146	138
5人世帯	152	156	153	193	148	143
6人以上世帯	42	42	43	51	44	44
合計	1,928	1,851	1,764	1,742	1,622	1,542

◆著しい困窮年収未満の世帯の推計－構成割合

年度	2015 H27	2020 R2	2025 R7	2030 R12	2035 R17	2040 R22
1人世帯（60歳以上高齢者）	23.7%	22.5%	21.5%	20.3%	20.3%	18.7%
2人世帯	28.3%	28.3%	29.0%	28.9%	30.6%	31.6%
3人世帯	25.9%	27.4%	27.9%	26.9%	28.3%	28.6%
4人世帯	12.0%	11.1%	10.5%	9.9%	9.0%	8.9%
5人世帯	7.9%	8.4%	8.7%	11.1%	9.1%	9.3%
6人以上世帯	2.2%	2.3%	2.4%	2.9%	2.7%	2.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



(2) 公営住宅等の将来のストック量の推計

2020年の著しい困窮年収未満の世帯数 1, 851世帯に対し、現在使用可能な公営住宅（市営、県営）は、市営住宅891戸、県営住宅54戸、合計945戸となっている。

◆公営住宅等のストックの現状値と推計値

		現状値	推計値				
年度		2015 H27	2020 R2	2025 R7	2030 R12	2035 R17	2040 R22
総世帯数（世帯）		33,393	34,206	34,722	35,054	35,183	35,195
著しい困窮年収未満の世帯数（世帯） 推計結果		1,928	1,851	1,764	1,742	1,622	1,542
ストック量 （住戸）	公営住宅：市営住宅	891	891	891	830	830	830
	公営住宅：県営住宅	54	54	54	54	54	54
	合計	945	945	945	884	884	884

(3) 市営住宅の目標管理戸数の設定

今後の市営住宅管理戸数については、今後の人口・世帯数の見通しや、現状では比較的高い水準にある公営住宅率（市内世帯数に対する市営・県営住宅の割合）等を勘案しながら、中長期的な観点に基づいてより柔軟に調整を図っていくことが重要となる。

当面（約10年間）の世帯数の増加に対しては、新規建設等での対応ではなく、収入超過者の入替え促進、既存ストックの回転率を高めることを基本とした対応を図ることとし、必要戸数は10年後以降は当面830戸とする。

なお、ストック推計プログラムにより算定される「著しい困窮年収未満の世帯数」は、将来のある時点（目標年次）における、全ての借家（公営住宅だけでなく民間住宅等も含めた借家）に居住する世帯が対象であることから、市営住宅の目標管理戸数は、他の公的賃貸住宅やサービス付き高齢者向け住宅、民間賃貸住宅等の活用を想定して設定されるものである。

3 1 次判定

1 次判定は『②団地の管理方針と住宅改造の必要性・可能性に基づく団地・住棟の事業手法の仮設定』により、下記の２段階の検討から、事業手法を仮設定する。

- ・事業手法の選定フロー②－１：団地敷地の現在の立地環境等の社会的特性を踏まえた管理方針
- ・事業手法の選定フロー②－２：住棟の現在の物理的特性による改善の必要性・可能性による判定

(1) 団地敷地の現在の立地環境等の社会的特性を踏まえた管理方針（②－１）

i) 需要、ii) 効率性、iii) 立地に視点を置き、『継続管理する団地』か『継続管理について判断を保留する団地』のどちらであるかの判定を行う。

判断基準

- ・継続管理する団地：i)、ii)、iii) 全てが活用に適する団地
- ・継続管理について判断を保留する団地：上記以外

判定項目	判定基準	◎	○	▲	×
需要	・応募倍率（過去５年平均）	５以上	３～５未満	１～３未満	１未満
	・入居率（令和２年３月時点）	８０％以上	６０～８０％未満	４０～６０％未満	４０％未満
効率性	・高度利用の可能性 法規則（用途地域、容積率、高さ規制等）	－	高い	－	低い
	・敷地規模、形状、接道条件等	－	敷地が広い 敷地が平坦 接道が広い	－	敷地が狭い 敷地に勾配が有り 接道が狭い
立地	・土砂・水害等災害危険区域の内外 ・利便性 ・地域バランス	－	災害危険区域外 利便性が良い 近隣に同種の 団地なし	－ － －	災害危険区域内 利便性が悪い 近隣に同種の 団地有り

※ 高度利用：４階建て以上が建設可能、既存建物以上の戸数確保が可能、環境が向上（駐車場・共同施設等確保）
接道幅員・袋小路敷地アプローチ幅員が６ｍ以上確保が可能

判定基準	継続管理する団地	需要：応募倍率『◎、○』 ：入居率『○』 効率性：高度利用の可能性、法規則『○』 ：敷地規模、形状、接道条件等『○』 立地：土砂・水害等災害危険区域の内外『○』 ：利便性、地域バランス『○』
	継続管理について 判断を保留する 団地	需要：応募倍率『▲、×』 ：入居率『▲、×』 効率性：高度利用の可能性、法規則『×』 ：敷地規模、形状、接道条件等『×』 立地：土砂・水害等災害危険区域の内外『▲、×』 ：利便性、地域バランス『▲、×』

(2) 住棟の現在の物理的特性による改善の必要性・可能性による判定 (②-2)

『躯体の安全性』『避難の安全性』『居住性』に係る改善の必要性について、住棟単位で判定する。

判断基準

- ・ 躯体及び避難の安全性に係る改善が不要→居住性に係る改善が不要→改善不要
- ・ 躯体及び避難の安全性に係る改善が不要→居住性に係る改善が必要→改善が必要
- ・ 躯体及び避難の安全性に係る改善が必要→改善が可能→優先的な対応が必要 (改善可能)
- ・ 躯体及び避難の安全性に係る改善が必要→改善が不可能→優先的な対応が必要 (改善不可能)

判定項目	判定基準	◎	○	▲	×
躯体の 安全性	・ 新耐震基準 (S56) 以降に施工 判定：問題なし ・ 耐震診断で確認 判定：I b 以上は問題なし ※▲×：RC造はIs値≥ 0.3で改修可能 CB造は改修不可能	—	問題なし 耐震性能有り	問題有り 改善可能	問題有り 改善不可能
避難の 安全性	・ 二方向避難が確保されている ・ 防火区画が確保されている	—	問題なし 確保されている	問題有り 改善可能	問題有り 改善不可能
居住性	・ 住戸面積	60㎡以上	40以上60㎡未満	25以上40㎡未満	25㎡未満
	・ 日照・通風・採光、プライバシー、騒音等 ・ 住戸内設備の設備状況 水洗化、3ヶ所給湯有無等 ・ バリアフリー性 (住戸内、共用部) 手摺の設置、スロープの設置等 ・ 附帯・共同施設の有無 駐輪場、物置、ゴミ置場、集会所、児童遊園 ・ その他居住性に係る著しい問題点等	0～1項目 該当	2～3項目 該当	4～6項目 該当	7～12項目 該当

■ 1次判定：②－1の結果

団地名 (構造)	事業手法の選定フロー②－1：団地敷地の現在の立地環境等の社会的特性を踏まえた管理方針							
	需要		効率性		立地			判定結果
	応募倍率	入居率	高度利用の可能性	敷地規模・形状	利便性	地域バランス確保	災害危険区域	
御殿場 (中耐)	×	○	○	○	○	×	○	継続管理
御殿場 (簡平)	×	○	○	×	○	×	○	継続管理について 判断を保留
上栄 (中耐)	×	▲	○	○	○	×	○	継続管理について 判断を保留
上栄 (簡平)	×	▲	○	○	○	×	○	継続管理について 判断を保留
西田中第1 (簡平)	×	▲	×	○	○	×	○	継続管理について 判断を保留
西田中第2 (簡平)	×	○	×	○	○	×	○	継続管理について 判断を保留
二枚橋 (中耐)	○	○	○	○	○	×	○	継続管理
便船塚 (中耐)	○	◎	○	○	○	×	○	継続管理
富士岡 (中耐)	×	○	○	○	○	○	○	継続管理
富士岡 (簡二)	×	○	○	×	○	○	○	継続管理について 判断を保留
大坂 (簡平)	×	▲	○	○	×	○	○	継続管理について 判断を保留
かまど (簡平)	×	▲	×	○	×	○	○	継続管理について 判断を保留
永原第1 (中耐)	▲	○	○	○	○	○	○	継続管理
永原第2 (中耐)	▲	○	○	○	○	○	○	継続管理
永原第3 (簡平)	×	▲	○	○	○	○	○	継続管理について 判断を保留
保土沢 (簡平)	×	▲	×	○	×	○	○	継続管理について 判断を保留
玉穂第2 (耐二)	○	◎	×	○	○	○	○	継続管理
玉穂第4 (簡平)	×	▲	×	×	×	○	○	継続管理について 判断を保留
印野第1 (中耐)	×	▲	○	×	×	○	○	継続管理について 判断を保留
印野第2 (簡平)	×	○	×	×	×	○	○	継続管理について 判断を保留

■ 1次判定：②－2の結果

団地名	棟名	事業手法の選定フロー②－2：住棟の現在の物理的特性による改善の必要性・可能性																	
		躯体		避難の安全性		居住性												判定結果	
		耐震性能	判定	二方向避難 防火区画	住戸面積	日照通風 採光等	住戸内設備 水洗便所 3ヶ所給湯	バリアフリー性			附帯・共同施設の有無						居住性 総合判定		
								住戸内	共用部	屋外	駐輪場	物置	ゴミ置場	集会所	児童遊園	その他			
御殿場	1	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	改善不可能
	2	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	改善不可能
	A1	Ib	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	6 ▲	改善必要
	A2	Ib	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	6 ▲	改善必要
	A3	Ib	○	○	◎	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	6 ▲	改善必要
	A4	Ib	○	○	◎	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	6 ▲	改善必要
	A5	Ib	○	○	◎	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	6 ▲	改善必要
	A6	Ib	○	○	◎	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	6 ▲	改善必要
上栄	1	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	7 ×	改善不可能
	1	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	7 ×	改善不可能
	K1	Ib	○	○	◎	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	6 ▲	改善必要
西田中第1	1	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	7 ×	改善不可能
	2	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	7 ×	改善不可能
	3	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	7 ×	改善不可能
	4	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	7 ×	改善不可能
	5	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	7 ×	改善不可能
西田中第2	1	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	9 ×	改善不可能
	2	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	9 ×	改善不可能
	3	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	9 ×	改善不可能
二枚橋	A	Ib	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	2 ○	改善必要
	B	Ib	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	2 ○	改善必要
	C	Ib	○	○	◎	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	2 ○	改善必要
便船塚	Ib	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	2 ○	改善必要
富士岡	F1	Ib	○	○	◎	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	6 ▲	改善必要
	F2	Ⅲ	×	○	◎	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	5 ▲	改善必要
	F3	Ⅲ	×	○	◎	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	5 ▲	改善必要
大坂	1	Ⅲ	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	7 ×	改善不可能
	2	Ⅲ	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	7 ×	改善不可能
	4	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	7 ×	改善不可能
かまど	1	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	8 ×	改善不可能
	2	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	8 ×	改善不可能
	4	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	8 ×	改善不可能
永原第1	A	Ib	○	○	◎	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	1 ◎	改善必要
	B	Ib	○	○	◎	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	1 ◎	改善必要
	C	Ib	○	○	◎	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	1 ◎	改善必要
	D	Ib	○	○	◎	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	1 ◎	改善必要
永原第2	N1	Ib	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	7 ×	改善必要
	N2	Ib	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	7 ×	改善必要
永原第3	1	Ⅲ	×	○	▲	○	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	7 ×	改善不可能
	2	Ⅲ	×	○	▲	○	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	7 ×	改善不可能
保土沢	1	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	7 ×	改善不可能
	2	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	7 ×	改善不可能
玉徳第2	A	Ib	○	○	▲/○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	1 ◎	改善不要
	B	Ib	○	○	▲/○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	1 ◎	改善不要
	C	Ib	○	○	▲/○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	1 ◎	改善不要
	D	Ib	○	○	▲/○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	1 ◎	改善不要
	E	Ib	○	○	▲/○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	1 ◎	改善不要
	F	Ib	○	○	▲/○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	1 ◎	改善不要
	G	Ib	○	○	▲/○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	1 ◎	改善不要
	H	Ib	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	1 ◎	改善不要
	I	Ib	○	○	▲/○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	1 ◎	改善不要
玉徳第4	1	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	6 ▲	改善不可能
	2	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	6 ▲	改善不可能
	3	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	6 ▲	改善不可能
	4	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	6 ▲	改善不可能
印野第1	Ib	○	○	◎	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	6 ▲	改善必要	
印野第2	1	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	8 ×	改善不可能
	2	Ⅲ	×	○	▲	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	8 ×	改善不可能

(3) 1次判定の結果

②－1および②－2の検討結果を総合的に勘案し、事業手法を仮設定する。

仮設定については、次のとおりA、Bの2つのグループとする。

【Aグループ】

②－1において『継続管理する団地』、②－2において『優先的な対応が必要（改善可能）』または、『改善が必要』と評価され、ライフサイクルコスト（LCC）や計画期間内の建替事業量を検討するため、改善か建替かの判断を留保する団地・住棟。

2次判定において『優先的な改善・建替』または『改善・建替』の事業手法の仮設定を行う。

【Bグループ】

②－1において『継続管理について判断を留保する団地』であり、原則、②－1の評価項目である需要・効率性・立地のいずれかの状況が活用に適さないと評価された団地。

2次判定において、将来にわたって『継続管理する団地』か、建替を前提とせず『当面管理する団地』か等を改めて判定する。

■②－1及び②－2の検討結果に応じた事業手法の仮設定

②－1 \ ②－2	改善不要	改善が必要	優先的な対応が必要 (改善可能)	優先的な対応が必要 (改善不可能)
継続管理する団地	維持管理 ・ 玉穂第2 ・ ・ ・	改善又は建替 ・ 御殿場（中耐） ・ 二枚橋 ・ 便船塚 ・ 富士岡（中耐） ・ 永原第1 ・ 永原第2 ・ ・ ・	優先的な改善又は優先的な建替 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	優先的な建替 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
継続管理について 判断を留保する 団地	維持管理又は用途廃止 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	改善・建替又は用途廃止 ・ 上栄（中耐） ・ 印野第1 ・ 富士岡（簡二） ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	優先的な改善、優先的な建替 又は優先的な用途廃止 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	優先的な建替 又は優先的な用途廃止 ・ 御殿場（簡平） ・ 上栄（簡平） ・ 西田中第1 ・ 西田中第2 ・ 大坂 ・ かまど ・ 永原第3 ・ 保土沢 ・ 玉穂第4 ・ 印野第2 ・

Aグループ

継続管理する団地のうち、改善か
建替かの判断を留保する団地・住棟

Bグループ

継続管理について判断を留保する団地

4 2次判定

2次判定では、1次判定において事業手法・管理方針の判断を留保した団地・住棟を対象として、次の2段階の検討から事業手法を仮設定する。

【Aグループ】 事業手法の選定フロー：③－1

ライフサイクルコストの比較や当面の建替事業量の試算を踏まえた事業手法の仮設定

【Bグループ】 事業手法の選定フロー：③－2

将来のストック量を踏まえた事業手法の仮設定

(1) Aグループの事業手法の仮設定（③－1）

1次判定②－1で、【Aグループ】に分類された住宅については、改善事業を実施する場合と建替事業を実施する場合のライフサイクルコスト（LCC）の比較や、計画期間内での建替事業量の試算を踏まえて、整備手法『改善』または『建替』を仮設定する。

- ① 令和2年（2020年）3月時点で耐用年数を超過する住棟、耐用年数は超過していないが10年以内に超過する住棟については、改善事業を実施しても長期的使用が困難なため、『建替』と仮設定をする。
- ② 令和2年（2020年）3月時点で耐用年数が過半（1／2）以下の住棟については、建替事業の対象外のため『改善』と仮設定をする。
- ③ 既に改善事業を実施していて、令和2年（2020年）3月時点で標準管理期間（10年）を超過していない住棟は『改善』と仮設定をする。

■2次判定：【Aグループ】③－1の結果

団地名	棟名	構造	建設年度	経過年数	耐用年数	戸数	耐用年数超過	改善事業				LCC		LCC縮減効果		判定結果			
								浴室	給湯	外壁	給水	計画前	計画後	住戸当り	棟当り	改善が必要		優先的な対応が必要(改善可能)	
								UB化改善	器設置	改善	排水改善	住戸当り(円/戸・年)	住戸当り(円/戸・年)	年平均減額(円/戸・年)	年平均減額(円/棟・年)	改善	建替	優先的な改善	優先的な建替
御殿場	A1	中耐	1974	46	80	24	該当なし	●	●	●	●	241,985	178,938	63,047	1,513,128	●			
	A2	中耐	1975	45	80	24	該当なし	●	●	●	●	303,103	223,800	79,303	1,903,272	●			
	A3	中耐	1976	44	80	16	該当なし	●	●	●	●	332,713	245,366	87,347	1,397,552	●			
	A4	中耐	1977	43	80	24	該当なし	●	●	●	●	353,044	260,067	92,977	2,231,448	●			
	A5	中耐	1977	43	80	16	該当なし	●	●	●	●	353,044	260,067	92,977	1,487,632	●			
	A6	中耐	1978	42	80	16	該当なし	●	●	●	●	360,916	264,222	96,694	1,547,104	●			
二枚橋	A	中耐	2000	20	80	32	該当なし			●	●	429,918	308,578	121,340	3,882,880	●			
	B	中耐	2001	19	80	16	該当なし			●	●	415,447	298,167	117,280	1,876,480	●			
	C	中耐	2001	19	80	16	該当なし			●	●	415,447	298,167	117,280	1,876,480	●			
便船塚	-	中耐	1999	21	80	40	該当なし			●	●	416,648	299,207	117,441	4,697,640	●			
富士岡	F1	中耐	1980	40	80	16	該当なし	●	●	●	●	344,266	252,254	92,012	1,472,192	●			
永原第1	A	中耐	1996	24	80	16	該当なし			●	●	399,882	287,519	112,363	1,797,808	●			
	B	中耐	1996	24	80	32	該当なし			●	●	399,882	287,519	112,363	3,595,616	●			
	C	中耐	1995	25	80	32	該当なし			●	●	402,399	288,397	114,002	3,648,064	●			
	D	中耐	1993	27	80	32	該当なし			●	●	339,613	244,940	94,673	3,029,536	●			
永原第2	N1	中耐	1972	48	80	24	該当なし	●	●	●	●	278,055	208,218	69,837	1,676,088	●			
	N2	中耐	1973	47	80	24	該当なし	●	●	●	●	278,055	208,218	69,837	1,676,088	●			

(2) Bグループの事業手法の仮設定 (③-2)

1次判定結果表で、【Bグループ】に分類された住宅については、将来のストック量推計を踏まえて、『継続管理する団地』または『当面管理する団地（建替を前提としない）』かのいずれに該当するか判断し事業手法を仮設定する。

■ 2次判定：【Bグループ】③-2の結果

団地名	棟名	構造	建設年度	戸数	1次判定②-1結果			1次判定②-2結果			判定結果
					需要	効率性	立地	躯体の安全性	避難の安全性	居住性	
御殿場	1	簡平	1963	20	○	○	○	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	2	簡平	1964	6	○	○	○	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
上栄	1	簡平	1961	10	▲	○	○	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	1	簡平	1962	15	▲	○	○	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	K1	中耐	1979	16	▲	○	○	○	○	▲	継続管理
西田中第1	1	簡平	1960	8	▲	×	○	×	○	▲	当面管理(建替前提しない)
	2	簡平	1960	7	▲	×	○	×	○	▲	当面管理(建替前提しない)
	3	簡平	1961	15	▲	×	○	×	○	▲	当面管理(建替前提しない)
	4	簡平	1962	2	▲	×	○	×	○	▲	当面管理(建替前提しない)
	5	簡平	1963	3	▲	×	○	×	○	▲	当面管理(建替前提しない)
西田中第2	1	簡平	1966	10	○	○	○	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	2	簡平	1966	5	○	○	○	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	3	簡平	1967	5	○	○	○	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
富士岡	F2	簡二	1981	8	○	×	○	▲	○	×	当面管理(建替前提しない)
	F3	簡二	1981	4	○	×	○	▲	○	×	当面管理(建替前提しない)
大坂	1	簡平	1960	10	▲	○	×	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	2	簡平	1960	10	▲	○	×	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	4	簡平	1962	20	▲	○	×	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
かまど	1	簡平	1965	15	▲	×	×	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	2	簡平	1965	25	▲	×	×	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	3	簡平	1966	10	▲	×	×	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
永原第3	1	簡平	1963	10	▲	○	○	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	2	簡平	1964	5	▲	○	○	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
保土沢	1	簡平	1960	10	▲	×	×	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	2	簡平	1960	10	▲	×	×	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
玉穂第4	1	簡平	1968	27	▲	×	×	×	○	▲	当面管理(建替前提しない)
	2	簡平	1968	20	▲	×	×	×	○	▲	当面管理(建替前提しない)
	3	簡平	1969	20	▲	×	×	×	○	▲	当面管理(建替前提しない)
	4	簡平	1969	14	▲	×	×	×	○	▲	当面管理(建替前提しない)
印野第1	-	中耐	1979	16	▲	×	×	○	○	▲	継続管理
印野第2	1	簡平	1964	10	○	×	×	×	○	×	当面管理(建替前提しない)
	2	簡平	1965	5	○	×	×	×	○	×	当面管理(建替前提しない)

(3) 2次判定の結果

③－１及び③－２の検討結果を総合的に勘案し、事業手法を仮設定する。

■③－１及び③－２の検討結果に応じた事業手法の仮設定

	改善不要	改善が必要		優先的な対応が必要		
				(改善可能)		(改善不可能)
	維持管理	改善	建替	優先的な改善	優先的な建替	優先的な建替
継続管理する団地	玉穂第2 (耐二) 120 戸	- 御殿場 (中耐) 120 戸 - 二枚橋 (中耐) 64 戸 - 便船塚 (中耐) 40 戸 - 富士岡 (中耐) 16 戸 - 永原第1 (中耐) 112 戸 - 永原第2 (中耐) 48 戸				
合計	120 戸	400 戸	戸	戸	戸	戸

	改善不要		改善が必要		優先的な対応が必要	
	維持管理		改善	建替	優先的な改善	優先的な建替
	当面維持管理	用途廃止	改善し当面維持管理	用途廃止	優先的に改善し当面維持管理	優先的な用途廃止
当面管理する団地 (建替を前提としない)			- 上栄 (中耐) 16 戸 - 富士岡 (簡二) 12 戸 - 印野第1 (中耐) 16 戸			- 御殿場 26 戸 - 上栄 25 戸 - 西田中第1 35 戸 - 西田中第2 20 戸 - 大坂 40 戸 - かまど 50 戸 - 永原第3 15 戸 - 保土沢 20 戸 - 玉穂第4 81 戸 - 印野第2 15 戸 ※全て簡平
合計	戸	戸	44 戸	戸	戸	327 戸

3次判定においては、以下の4段階の検討により、計画期間に実施する事業手法を決定する。

- ④－1 集約・再編等の可能性を踏まえた団地・住棟の事業手法の再判定
- ④－2 事業費の試算及び事業実施時期の調整検討
- ④－3 長期的な管理の見通しの作成
- ④－4 計画期間における事業手法の決定

(1) 集約・再編等の可能性を踏まえた団地・住棟の事業手法の再判定（④－1）

1次・2次判定結果を踏まえ、集約や再編等の検討対象となり得る団地や、異なる事業手法に判定された住棟が混在する団地等は、効率的な事業実施のため、必要に応じて建替や改善等の事業手法の再判定を行う。

あわせて、効率的な事業実施や地域ニーズへの対応等の観点から総合的な検討を行う。

ア 住棟相互の連携による効率的ストック活用

- ・建替え、全面的改善または個別改善と判定された住棟が混在する場合、住棟の配置や事業の手順、高度利用の可能性等を勘案して、建替えが適切と考えられる住棟について隣接住棟との一体的な建替えを検討する。
- ・大規模な団地等で、コミュニティミックスを図る必要がある場合、事業の平準化を図る必要がある場合には、個別改善、全面的改善または建替えの複合的实施を検討する。

イ まちづくり（都市施設整備）の観点から見た地域整備へ配慮したストック活用

- ・周辺市街地において不足している公益的施設等の団地内における整備を検討する。
- ・都市計画道路や公共下水道等の整備計画がある場合、団地整備への影響やそれらの整備時期を勘案した団地の整備時期等を検討する。

ウ 近接団地相互の連携による効率的ストック活用

- ・建替えや全面的改善が必要な複数の団地が一定の地域内で近接して立地していて、コミュニティミックスや事業の平準化が可能となる場合、仮住居の確保や居住者の移転負担の軽減が可能となる場合は、整備時期の調整を図るなど複合的实施を検討する。
- ・高度利用の可能性が低く、他の敷地での高度利用の可能性がある場合には、別の敷地での整備（非現地建替え）を検討する。

エ 周辺道路の整備状況との調整

- ・全面的改善もしくは建替えの実施に際して必要となる大型工事車両等のアクセス道路の整備、資材置き場の確保等の実施時期を勘案した団地の整備時期を検討する。

オ 土地所有状況からみた供給の確実性

- ・建替えが必要な団地の敷地に借地が含まれている場合は、将来的に借地を返還することを想定して、同団地や近隣団地の市有地に立地する住棟と合わせた活用方法を検討する。

カ 低所得者用住居の確保

- ・低所得者のための住宅を市全体で一定戸数確保するために、建替えや用途廃止と判定された住棟でも、建物の延命措置が可能かを検討する。

(2) 事業費の試算及び事業実施時期の調整検討（④－２）

中長期的な期間（３０年程度）のうちに想定される新規整備事業、改善事業、建替事業等に係る、年度別事業費を試算し、今後の財政的な見通しを立てる。

また、事業量及び事業費が時期的に偏在する等、試算結果に問題がある場合は、将来にわたる事業実施が可能となるよう事業実施時期の調整を行う。

(3) 長期的な管理の見通しの作成（④－３）

④－２で決定した事業実施時期をもとに、全団地・住棟の供用期間、事業実施時期の見通しを示した概ね３０年程度の長期的な管理の見通しを作成する。

(4) 計画期間における事業手法の決定（④－４）

長期的な管理の見通しに基づき、計画期間（１０年以上）内に実施を予定する事業（新規整備、改善、建替え、用途廃止）を決定する。

また、改善を実施する住棟は、住棟の物理的特性等を踏まえ、個別改善か全面的改善かを決定する。

■ 3次判定：④－2事業費の試算及び事業実施時期の調整検討（30年）

事業費：千円

団地名	棟名	構造	建設年度	戸数	2021～2025 R3～R7		2026～2030 R8～R12		2031～2035 R13～R17	
					工事内容	事業費	工事内容	事業費	工事内容	事業費
御殿場	1	簡平	1963	20						
	2	簡平	1963	6						
	A1	中耐	1974	24	外壁防水塗装	21,260			浴室UB化、給湯器設置	20,640
	A2	中耐	1975	24	外壁防水塗装	21,260			浴室UB化、給湯器設置	20,640
	A3	中耐	1976	16			外壁防水塗装	14,170	浴室UB化、給湯器設置	13,760
	A4	中耐	1977	24	外壁防水塗装	21,260				
	A5	中耐	1977	16			外壁防水塗装	14,170		
上栄	A6	中耐	1978	16			外壁防水塗装	14,170		
	1	簡平	1961	10						
	2	簡平	1962	15						
西田中第1	K1	中耐	1979	16	給排水設備	20,000	外壁防水塗装	14,170		
	1	簡平	1960	8						
	2	簡平	1960	7						
	3	簡平	1961	15						
	4	簡平	1962	2						
西田中第2	5	簡平	1963	3						
	1	簡平	1966	10						
	2	簡平	1966	5						
二枚橋	3	簡平	1967	5						
	A	中耐	2000	32						
	B	中耐	2001	16						
便船塚	C	中耐	2001	16						
	－	中耐	1999	40					給排水設備	50,000
富士岡	－	中耐	1999	40					給排水設備	50,000
	F1	中耐	1980	16	給排水設備	20,000			外壁防水塗装	14,170
	F2	簡二	1981	8						
大坂	F3	簡二	1981	4						
	1	簡平	1960	10						
	2	簡平	1960	10						
かまど	4	簡平	1962	20						
	1	簡平	1965	15						
	2	簡平	1965	25						
永原第1	3	簡平	1965	10						
	A	中耐	1996	16					給排水設備	20,000
	B	中耐	1996	32					給排水設備	40,000
	C	中耐	1995	32					給排水設備	40,000
永原第2	D	中耐	1993	32					給排水設備	40,000
	N1	中耐	1972	24					外壁防水塗装	21,260
永原第3	N2	中耐	1973	24					外壁防水塗装	21,260
	1	簡平	1963	10						
保土沢	2	簡平	1964	5						
	1	簡平	1960	10						
玉穂第2	2	簡平	1960	10						
	A	耐二	2003	15						
	B	耐二	2003	15						
	C	耐二	2004	15						
	D	耐二	2004	15						
	E	耐二	2005	14						
	F	耐二	2005	14						
	G	耐二	2006	10						
	H	耐二	2006	12						
玉穂第4	I	耐二	2006	10						
	1	簡平	1968	27						
	2	簡平	1968	20						
	3	簡平	1969	20						
印野第1	4	簡平	1969	14						
	－	中耐	1979	16	給排水設備	20,000	外壁防水塗装	14,170		
印野第2	1	簡平	1964	10						
	2	簡平	1965	5						

団地名	棟名	2036～2040 R18～R22		2041～2045 R23～R27		2046～2050 R28～R32	
		工事内容	事業費	工事内容	事業費	工事内容	事業費
御殿場	1						
	2						
	A1					給排水設備	21,160
	A2					給排水設備	21,260
	A3						
	A4	浴室UB化、給湯器設置	20,640			給排水設備	21,260
	A5	浴室UB化、給湯器設置	13,760				
	A6	浴室UB化、給湯器設置	13,760				
上栄	1						
	2						
	K1					給排水設備	20,000
西田中 第1	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
西田中 第2	1						
	2						
	3						
二枚橋	A	給排水設備	40,000	外壁防水塗装	28,350		
	B	給排水設備	20,000	外壁防水塗装	14,170		
	C	給排水設備	20,000	外壁防水塗装	14,170		
便船塚	－			外壁防水塗装	35,430		
富士岡	F1			浴室UB化、給湯器設置	13,760	給排水設備	20,000
	F2						
	F3						
大坂	1						
	2						
	4						
かまど	1						
	2						
	3						
永原第1	A			外壁防水塗装	14,170		
	B			外壁防水塗装	28,350		
	C			外壁防水塗装	28,350		
	D			外壁防水塗装	28,350		
永原第2	N1			浴室UB化、給湯器設置	20,640	給排水設備	30,000
	N2			浴室UB化、給湯器設置	20,640	給排水設備	30,000
永原第3	1						
	2						
保土沢	1						
	2						
玉穂第2	A	給排水設備	18,750	外壁防水塗装	13,290		
	B	給排水設備	18,750	外壁防水塗装	13,290		
	C	給排水設備	18,750	外壁防水塗装	13,290		
	D	給排水設備	18,750	外壁防水塗装	13,290		
	E	給排水設備	17,500			外壁防水塗装	12,400
	F	給排水設備	17,500			外壁防水塗装	12,400
	G	給排水設備	12,500			外壁防水塗装	8,860
	H	給排水設備	15,000			外壁防水塗装	10,630
	I	給排水設備	12,500			外壁防水塗装	8,860
玉穂第4	1						
	2						
	3						
	4						
印野第1	－					給排水設備	20,000
印野第2	1						
	2						

■ 3次判定：④－3 長期的な管理の見通し（30年）

事業費：千円

団地名	棟名	構造	建設年度	戸数	2021～2025 R3～R7		2026～2030 R8～R12		2031～2035 R13～R17	
					工事内容	事業費	工事内容	事業費	工事内容	事業費
御殿場	1	簡平	1963	20						
	2	簡平	1963	6						
	A1	中耐	1974	24	外壁防水塗装	21,260			浴室UB化、給湯器設置	20,640
	A2	中耐	1975	24	外壁防水塗装	21,260			浴室UB化、給湯器設置	20,640
	A3	中耐	1976	16			外壁防水塗装	14,170	浴室UB化、給湯器設置	13,760
	A4	中耐	1977	24	外壁防水塗装	21,260				
	A5	中耐	1977	16			外壁防水塗装	14,170		
上栄	1	簡平	1961	10						
	2	簡平	1962	15						
	K1	中耐	1979	16	給排水設備	20,000	外壁防水塗装	14,170		
西田中第1	1	簡平	1960	8						
	2	簡平	1960	7						
	3	簡平	1961	15						
	4	簡平	1962	2						
	5	簡平	1963	3						
西田中第2	1	簡平	1966	10						
	2	簡平	1966	5						
	3	簡平	1967	5						
二枚橋	A	中耐	2000	32						
	B	中耐	2001	16						
	C	中耐	2001	16						
便船塚	－	中耐	1999	40					給排水設備	50,000
富士岡	F1	中耐	1980	16	給排水設備	20,000			外壁防水塗装	14,170
	F2	簡二	1981	8						
	F3	簡二	1981	4						
大坂	1	簡平	1960	10						
	2	簡平	1960	10						
	4	簡平	1962	20						
かまど	1	簡平	1965	15						
	2	簡平	1965	25						
	3	簡平	1965	10						
永原第1	A	中耐	1996	16					給排水設備	20,000
	B	中耐	1996	32					給排水設備	40,000
	C	中耐	1995	32					給排水設備	40,000
	D	中耐	1993	32					給排水設備	40,000
永原第2	N1	中耐	1972	24					外壁防水塗装	21,260
	N2	中耐	1973	24					外壁防水塗装	21,260
永原第3	1	簡平	1963	10						
	2	簡平	1964	5						
保土沢	1	簡平	1960	10						
	2	簡平	1960	10						
玉穂第2	A	耐二	2003	15						
	B	耐二	2003	15						
	C	耐二	2004	15						
	D	耐二	2004	15						
	E	耐二	2005	14						
	F	耐二	2005	14						
	G	耐二	2006	10						
	H	耐二	2006	12						
	I	耐二	2006	10						
玉穂第4	1	簡平	1968	27						
	2	簡平	1968	20						
	3	簡平	1969	20						
	4	簡平	1969	14						
印野第1	－	中耐	1979	16	給排水設備	20,000	外壁防水塗装	14,170		
印野第2	1	簡平	1964	10						
	2	簡平	1965	5						

団地名	棟名	2036～2040 R18～R22		2041～2045 R23～R27		2046～2050 R28～R32	
		工事内容	事業費	工事内容	事業費	工事内容	事業費
御殿場	1						
	2						
	A1					給排水設備	21,160
	A2					給排水設備	21,260
	A3						
	A4	浴室UB化、給湯器設置	20,640			給排水設備	21,260
	A5	浴室UB化、給湯器設置	13,760				
	A6	浴室UB化、給湯器設置	13,760				
上栄	1						
	2						
	K1					給排水設備	20,000
西田中 第1	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
西田中 第2	1						
	2						
	3						
二枚橋	A	給排水設備	40,000	外壁防水塗装	28,350		
	B	給排水設備	20,000	外壁防水塗装	14,170		
	C	給排水設備	20,000	外壁防水塗装	14,170		
便船塚	－			外壁防水塗装	35,430		
富士岡	F1			浴室UB化、給湯器設置	13,760	給排水設備	20,000
	F2						
	F3						
大坂	1						
	2						
	4						
かまど	1						
	2						
	3						
永原第1	A			外壁防水塗装	14,170		
	B			外壁防水塗装	28,350		
	C			外壁防水塗装	28,350		
	D			外壁防水塗装	28,350		
永原第2	N1			浴室UB化、給湯器設置	20,640	給排水設備	30,000
	N2			浴室UB化、給湯器設置	20,640	給排水設備	30,000
永原第3	1						
	2						
保土沢	1						
	2						
玉穂第2	A	給排水設備	18,750	外壁防水塗装	13,290		
	B	給排水設備	18,750	外壁防水塗装	13,290		
	C	給排水設備	18,750	外壁防水塗装	13,290		
	D	給排水設備	18,750	外壁防水塗装	13,290		
	E	給排水設備	17,500			外壁防水塗装	12,400
	F	給排水設備	17,500			外壁防水塗装	12,400
	G	給排水設備	12,500			外壁防水塗装	8,860
	H	給排水設備	15,000			外壁防水塗装	10,630
	I	給排水設備	12,500			外壁防水塗装	8,860
玉穂第4	1						
	2						
	3						
	4						
印野第1	－					給排水設備	20,000
印野第2	1						
	2						

■ 3次判定：④－4 計画期間における事業手法の決定

団地・住棟別に事業手法を選定し、その結果を『公営住宅等ストックの事業手法別戸数表』に記載する。

■ 公営住宅等ストックの事業手法別戸数表

		基準年 (令和2年/2020年)	1～5年目 (令和7年/2025年)	6～10年目 (令和12年/2030年)	合計
市営住宅管理戸数		891 戸	891 戸	599 戸	599 戸
	・新規整備事業予定戸数		0 戸	0 戸	0 戸
	・維持管理予定戸数		891 戸	564 戸	564 戸
	うち計画修繕対応戸数		564 戸	336 戸	336 戸
	うち改善事業予定戸数		0 戸	228 戸	228 戸
	個別改善事業予定戸数		0 戸	228 戸	228 戸
	全面的改善事業予定戸数		0 戸	0 戸	0 戸
	うちその他戸数		327 戸	0 戸	0 戸
	・建替事業予定戸数		0 戸	35 戸	35 戸
	・用途廃止予定戸数		0 戸	327 戸	327 戸

※建替事業：上栄(簡平)・西田中第1・第2団地を統合（御殿場市営住宅建替事業基本計画による）

(5) 3次判定の結果

■ 3次判定結果

	維持管理			改善（統合建替を含む）			建替（単独建替）		
	・		戸	・		戸	・		戸
継続 管理 する 団地	・ 二枚橋	(中耐)	64 戸	・ 御殿場	(中耐)	120 戸	・		戸
	・ 便船塚	(中耐)	40 戸	・ 富士岡	(中耐)	16 戸	・		戸
	・ 永原第1	(中耐)	112 戸	・ 永原第2	(中耐)	48 戸	・		戸
	・ 玉穂第2	(耐二)	120 戸	・ 上栄	(中耐)	16 戸	・		戸
	・		戸	・		戸	・		戸
			336 戸			200 戸			戸

	当面維持管理			改善し当面維持管理			用途廃止		
	・		戸	・		戸	・		戸
当面 管理 する 団地 (建替を 前提と しない)	・		戸	・ 富士岡	(簡二)	12 戸	・ 御殿場		26 戸
	・		戸	・ 印野第1	(中耐)	16 戸	・ 上栄		25 戸
	・		戸	・		戸	・ 西田中第1		35 戸
	・		戸	・		戸	・ 西田中第2		20 戸
	・		戸	・		戸	・ 大坂		40 戸
	・		戸	・		戸	・ かまど		50 戸
	・		戸	・		戸	・ 永原第3		15 戸
	・		戸	・		戸	・ 保土沢		20 戸
	・		戸	・		戸	・ 玉穂第4		81 戸
	・		戸	・		戸	・ 印野第2		15 戸
			戸			28 戸	※全て簡平		327 戸

第5章 長寿命化のための事業実施予定一覧

【科目】物理 【年次】第1年 【学期】第1学期 【単元】力学

住宅の区分： 公営住宅 特定公共 地優賃
 賃貸住宅 (公共供給) 改良住宅 その他（ ）

[illegible]

■計画修繕・改善事業の実施予定一覧（様式１）

住宅の区分：

公営住宅

特定公共
賃貸住宅

地優賃
(公共供給)

改良住宅

その他（

団地名	住棟 番号	戸数	構造	建設 年度	次期点検時期		計画修繕・改善事業の内容										LCC	備考
					法定 点検	法定点検に 準じた点検	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	縮減効果 (千円/年)	
永原第1	A	16	RC造	1996		R4												
永原第1	B	32	RC造	1996		R4												
永原第1	C	32	RC造	1995		R4												
永原第1	D	32	RC造	1995		R4												
永原第2	N1	24	RC造	1972		R3												
永原第2	N2	24	RC造	1973		R3												
玉穂第2	A	15	RC造	2003		R5												
玉穂第2	B	15	RC造	2003		R5												
玉穂第2	C	15	RC造	2004		R5												
玉穂第2	D	15	RC造	2004		R5												
玉穂第2	E	14	RC造	2005		R5												
玉穂第2	F	14	RC造	2005		R5												
玉穂第2	G	10	RC造	2006		R5												
玉穂第2	H	12	RC造	2006		R5												
玉穂第2	I	10	RC造	2006		R5												
印野第1	-	16	RC造	1979		R4	給排水 設備改修									外壁 防水塗装	1, 557	

3 共同施設に係る事業の実施予定一覧（集会所・遊具等）【様式3】

住宅の区分：

公営住宅

特定公共
賃貸住宅

地優賃
(公共供給)

改良住宅

その他（

団地名	共同施設名	建設 年度	次期点検時期		維持管理・改善事業の内容										備考
			法定 点検	法定点検に 準じた点検	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	

実施予定なし

1 点検の実施方針

(1) 定期点検の実施方針

- ・法定点検については、引き続き法令（建築基準法）に基づき適切な点検を実施する。
- ・法定点検の対象外の住棟においては、建築基準法第12条の規定に準じて法定点検と同様の点検を実施する。
- ・定期点検の結果はデータベースに記録し、修繕・維持管理の的確な実施や次回の点検に役立てる。

(2) 日常点検の実施方針

- ・定期点検とは別に外観からの目視により容易に確認することが可能な部位については、必要に応じて日常点検を行う。
- ・日常点検は年1回程度とし、点検項目については『公営住宅等日常点検マニュアル（平成28年8月国土交通省住宅局住宅総合整備課）』を参考に、建築基準法第12条で規定する有資格者以外の者（担当課スタッフ）が実施可能である簡便なものとし、実施することとする。
- ・法定点検にはない点検項目（遊具、外構、駐車場等）についても、維持管理のため日常点検を行うこととする。なお、高い専門性や特殊機器等が求められる事項については、外部委託等による対応を検討する。

① 点検周期

築10年を超えたものに対して、3年ごとに定期点検を行う。 ※設備の点検は毎年行う。

実施年度	対象団地（住戸数）	合計戸数(戸)	1か月当たり(戸)
R3(2021)	永原第2(48)、御殿場(120)、上栄(16)	184	15
R4(2022)	印野第1(16)、富士岡(28)、永原第1(112)、便船塚(40)	196	16
R5(2023)	二枚橋(64)、玉穂第2(120)	184	15
R6(2024)	永原第2(48)、御殿場(120)、上栄(16)	184	15
↓			

※簡平は定期点検の対象外としている。各団地の状況に応じ延命化のための点検方法を検討する。

② 点検項目

■敷地及び地盤

点検部位	点検項目	法定点検対象
a) 地盤	地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況	○
b) 敷地	敷地内の排水状況	○
c) 敷地内通路	敷地内の通路の支障物の状況	○
d) 塀	組積造の塀または補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況	○
	金属フェンス等の劣化及び損傷の状況	
e) 擁壁	擁壁の劣化及び損傷の状況	○
	擁壁の水抜きパイプの維持保全の状況	○
f) 屋外工作物	遊具・ベンチ等の劣化及び損傷の状況	
g) 屋外電気設備	外灯の不具合、劣化及び損傷の状況	
h) 通路・車路	平面駐車場の劣化及び損傷の状況	
	車路、歩道、スロープ、屋外階段の劣化及び損傷の状況	
i) 付属施設	駐輪場、ゴミ集積所等の劣化及び損傷の状況	

■建物の外部

点検部位	点検項目	法定点検対象
a) 基礎	基礎の沈下等の状況	○
	基礎の劣化及び損傷の状況	○
b) 土台	土台の沈下等の状況	○
	土台の劣化及び損傷の状況	○
c) 外壁	補強コンクリートブロック造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	○
	P C a 鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	
	鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	○
	塗仕上げ、タイル、石張り等（乾式工法を除く）、モルタル等の劣化及び損傷の状況	○
	金属系パネルの劣化及び損傷の状況	○
	コンクリート系パネルの劣化及び損傷の状況	○
	窯業系サイディングの劣化及び損傷の状況	
	シーリングの劣化及び損傷の状況	
	サッシ等の劣化及び損傷の状況	○
d) 建具	共用部ドア、住戸玄関ドアの劣化及び損傷の状況	
	シャッター、メーターボックス扉、P S 扉等の枠及び扉の劣化及び損傷の状況	
e) 金属類	落下防護底の劣化及び損傷の状況	
	集合郵便受け、掲示板等、室名札の劣化及び損傷の状況	

■屋上及び屋根

点検部位	点検項目	法定点検対象
a) 屋根	屋根の劣化及び損傷の状況	○
	雨樋の劣化及び損傷の状況	

■避難施設等

点検部位	点検項目	法定点検対象
a) 廊下 (共用廊下)	物品の放置の状況	○
	手摺の劣化及び損傷の状況	
	床の劣化及び損傷の状況	
	壁・柱・梁の劣化及び損傷の状況	
	天井・軒裏の劣化及び損傷の状況	
b) 出入口	物品の放置の状況	○
c) バルコニー	手摺の劣化及び損傷の状況	○
	物品の放置の状況	○
	隔て板、物干し金物等の劣化及び損傷の状況	
	床・壁・柱・梁・天井の劣化及び損傷の状況	
d) 階段	物品の放置の状況	○
	階段各部の劣化及び損傷の状況	○

■建築設備（給水設備及び排水設備）

点検部位	点検項目	法定点検対象
a) 飲料用配管及び排水配管 (隠蔽部分及び埋設部分を除く)	配管の腐食及び漏水の状況	○
b) 給水タンク等、給水ポンプ	給水タンク等の腐食及び漏水の状況	○
c) 排水設備 (隠蔽部分及び埋設部分を除く)	屋内雑排水管、汚水管、雨水管の腐食及び漏水の状況	

■建築設備（電気設備）

点検部位	点検項目	法定点検対象
a) 共用部	照明、非常灯、避難誘導標識等の劣化及び損傷の状況	

■住戸内部

住戸内の設備やバルコニーの状況等の点検は、住戸内部に立ち入る必要があるため、定期点検・日常点検の実施が困難であることから、入居者が退去して空室となった際に、住戸内部・バルコニー等の点検を実施することとする。

点検部位	点検項目	法定点検対象
a) 内装・建具	床・壁・天井仕上の劣化及び損傷の状況	
	外部建具・内部建具の劣化及び損傷の状況	
b) 給水排水設備	配管、水栓器具、トラップ、キッチンシンク、劣化及び損傷の状況	
	配管の詰まり、漏水の状況	
c) 浴室	排水口の詰まり、水漏れ、内装等の劣化及び損傷の状況	
d) ガス設備	ガスホース、給湯器のガス漏れ、水漏れ等の異常	
e) その他設備	換気設備、コンセントなどの電気設備等の異常	

③ 点検結果の判定と対応方針

判定	対応方針	判断基準
A 早期対応	次期点検までに実施	- 生活・安全に支障をきたすもの。 - 早期に改善・修繕を行うことで長寿命化が期待できるもの。
B 次期点検時対応	次期点検までに実施	しばらくは支障ないが、改善・修繕すべき兆候が見え始めている。
C 問題なし	日常の維持管理	問題がない。

2 計画修繕の実施方針

(1) 計画修繕の内容と実施周期

- ・ 公営住宅等を長期に渡り良好に維持管理していくために、建物の内外装・設備等の経年劣化に応じて適時・適切な修繕計画を実施する。
- ・ 実施周期については、『公営住宅等長寿命化計画策定指針（改定）』に示されている修繕周期表を参考に決定する。

(2) 効率的な計画修繕の実施

- ・ 計画修繕の実施にあたっては、点検結果及びデータベース等の内容を踏まえ、予防保全的な観点から屋上防水や外壁塗装等の修繕を実施する。
- ・ 公営住宅等長寿命化計画における改善事業の実施時期と、長期修繕計画における計画修繕の実施時期が近い場合は、効率的な工事の実施のために工事実施時期を調整し、両工事をあわせて実施する等、柔軟に対応する。

3 改善事業の実施方針

住棟の状況に応じて改善事業の必要性・効果を考慮し、以下のとおり改善事業を実施する。

(1) 安全確保型改善事業

- ・ 非常時に円滑に避難できるよう避難設備や経路の整備・確保を行う。
- ・ 防犯性や落下・転倒防止等生活事故防止に配慮した改善を行う。

【実施内容】

屋外通路等の避難経路の整備、防犯に配慮した部品の設置等

(2) 長寿命化型改善事業

- ・ 一定の居住性や安全性等が確保され、長期的な活用を図るべき住棟において、耐久性の向上や、躯体の劣化の低減、維持管理の容易性向上の観点から予防保全的な改善を行う。

【実施内容】

外壁改修、給排水管・ガス管・受水槽の耐久性向上等

(3) 福祉対応型改善事業

- ・ 高齢者等が安全・安心して居住できるよう、住戸内部・共用部・屋外のバリアフリー化を進め、高齢者等に配慮した住環境の整備を図る。

【実施内容】

住戸内部・共用部の段差解消、手摺設置等

(4) 居住性向上型改善事業

- ・ 住戸規模・間取りの改善や住戸住棟設備の機能向上を行い、居住性を向上させる改善を行う。
- ・ 新たに下水道が整備される区域にある簡平以外の団地については、浄化槽から下水道への接続に切替える。

【実施内容】

間取りの変更、給湯設備の設置、下水道への切替、等

4 建替事業の実施方針

『第4章 公営住宅等長寿命化計画の対象と事業手法の選定』において、本計画期間で『建替』に選定した団地については、以下の実施方針に基づき事業を進める。

- (1) 住宅が立地する地域における良好なコミュニティ形成に寄与するよう、多様な世帯の居住に対応できる住宅供給を図る。
- (2) 人口・世帯構成及び家族構成の変化（超高齢化社会・少子化の進展、単身世帯・無親族世帯の増加等）に対応しやすい住宅供給を図る。
- (3) 福祉施設等との複合的整備、近傍団地との集約的整備なども考えた建替事業並びに、当該地域の社会資本整備の効率化を推進する。
また、市営住宅立地の地域バランスや過疎化地域での人口定着等も考慮しながら建替事業を進める。
- (4) 建替え事業（直接建設型）を優先的に推進すべき住宅の選定では、次の5点を重視して選定を行う。
 - ① 建物の安全性に不備がある（耐震性が著しく劣る）。
 - ② 敷地が市有地である。
 - ③ 公共下水道の事業区域である。
 - ④ 利便性の高い立地である。
 - ⑤ 建替えしやすい敷地である（活用しやすい規模・形状、良好な接道条件 等）。

第7章 ライフサイクルコストとその縮減効果の算出

改善事業を実施するか建替事業を実施するかを判断する際に、ライフサイクルコスト（LCC）の比較を行うため、また、予防保全的な計画修繕等の計画的な実施により公営住宅等の長寿命化を図り、ライフサイクルコスト（LCC）の縮減につなげるために、次のようにライフサイクルコスト（LCC）とその縮減効果の算出を行う。

1 ライフサイクルコスト（LCC）の算出の基本的な考え方

新規整備及び建替事業を実施する公営住宅等については、建設、改善、修繕、除却に要するコストを考慮した『ライフサイクルコスト（LCC）』を算出する。基本的な考え方は次のとおり。

$$LCC = (\text{建設費} + \text{改善費} + \text{修繕費} + \text{除却費}) \quad [\text{単位 千円/棟・年}]$$

- ・ 建設費： 当該住棟の建設時点に投資した建設工事費
- ・ 改善費： 想定される管理期間における改善工事費の見込み額から修繕費相当額を控除（改善事業を実施することにより不要となる修繕費を控除）した額（※）
- ・ 修繕費： 管理期間における修繕工事費の見込み額（※）。
長期修繕計画で設定している標準的な修繕項目・周期等に基づき修繕費を算定する。
典型的な修繕計画モデルから得られる修繕費乗率を建設費に乗じて算定される累積修繕費で代用しても良しとする。
- ・ 除却費： 想定される管理期間が経過した後の除却工事費の見込み額（※）

（※）現時点以後、将来に発生するコスト（将来の改善費、修繕費、除却費）については、社会的割引率（4%）を適用して現在価値化する。

2 ライフサイクルコスト（LCC）の縮減効果の算出の基本的な考え方

長寿命化型改善事業または全面的改善事業を実施する公営住宅等については『ライフサイクルコスト（LCC）の縮減効果』を算出する。基本的な考え方は次のとおり。

なお、算出手順は、国土交通省により公表された『ライフサイクルコスト（LCC）算出プログラム』を活用する。

$$(1) \text{ 1棟のLCC縮減効果} = \text{LCC（計画前）} - \text{LCC（計画後）} \quad [\text{単位 千円/棟・年}]$$

$$(2) \text{ LCC（計画前）} = \frac{(\text{建設費} + \text{修繕費} + \text{除却費})}{\text{評価期間（改善非実施）}} \quad [\text{単位 千円/棟・年}]$$

$$(3) \text{ LCC（計画後）} = \frac{(\text{建設費} + \text{改善費} + \text{修繕費} + \text{除却費})}{\text{評価期間（改善実施）}} \quad [\text{単位 千円/棟・年}]$$

【改善を実施した場合】

- ・ 建設費： 推定再建築費（＝当該住棟の建設時点に投資した建設工事費×公営住宅法施行規則第23条の率）ただし、当該住棟の建設時点に投資した建設工事費を把握できない場合は、建設当時の標準建設費で代用する。
- ・ 改善費： 公営住宅等長寿命化計画に基づく改善事業費及び公営住宅等長寿命化計画の計画期間以後に想定される改善事業費の総額から修繕費相当額を控除した額。
- ・ 修繕費： 建設後、評価期間（改善実施）末までに実施した修繕工事費（※）
長期修繕計画で設定している標準的な修繕項目・周期等に基づき、修繕費を算定する。
典型的な修繕計画モデルから得られる修繕費乗率を建設費（推定再建築費）に乗じて算定される累積修繕費で代用しても良しとする。
- ・ 除却費： 評価期間（改善実施）末に実施する除却工事費（※）
- ・ 評価期間： 公営住宅等長寿命化計画に基づく改善事業（LCC算定対象）及び、公営住宅等長寿命化計画の計画期間以後に想定される改善事業（LCC算定対象）を実施する場合に想定される管理期間。
※目標管理期間：耐火構造建物で80年と想定する。

（※）現時点以後、将来に発生するコスト（将来の改善費、修繕費、除却費）については、社会的割引率（4％）を適用して現在価値化する。

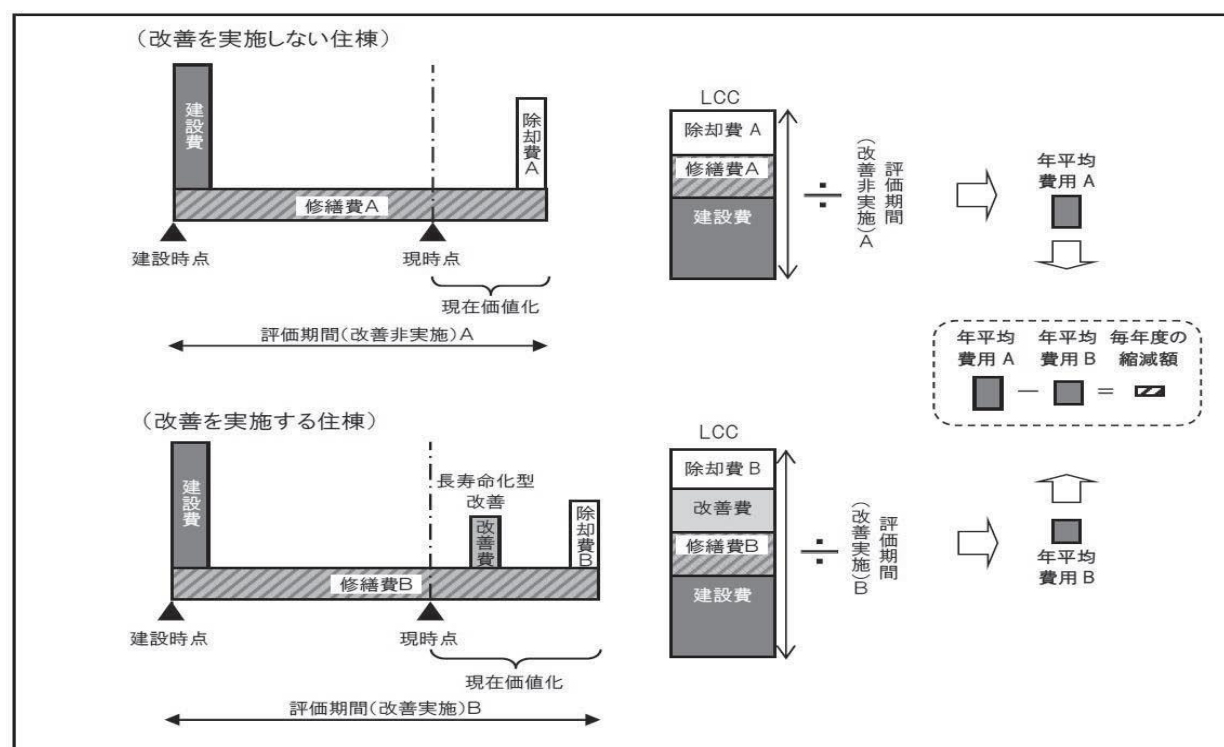
【改善を実施しない場合】

- ・ 建設費： 推定再建築費（＝当該住棟の建設時点に投資した建設工事費×公営住宅法施行規則第23条の率）ただし、当該住棟の建設時点に投資した建設工事費を把握できない場合は、建設当時の標準建設費で代用する。
- ・ 改善費： 公営住宅等長寿命化計画に基づく改善事業費及び公営住宅等長寿命化計画の計画期間以後に想定される改善事業費の総額から修繕費相当額を控除した額。
- ・ 修繕費： 建設後、評価期間（改善非実施）末までに実施した修繕工事費（※）
長期修繕計画で設定している標準的な修繕項目・周期等に基づき、修繕費を算定する。
典型的な修繕計画モデルから得られる修繕費乗率を建設費（推定再建築費）に乗じて算定される累積修繕費で代用しても良しとする。
- ・ 除却費： 評価期間（改善非実施）末に実施する除却工事費（※）
- ・ 評価期間： 長寿命化型改善事業を実施しない場合に想定される管理期間。
耐火構造建物で50年と想定する。

（※） 現時点以後、将来に発生するコスト（将来の改善費、修繕費、除却費）については、社会的割引率（4％）を適用して現在価値化する。

以上のように長寿命化型改善事業を実施する住棟のLCCの縮減効果を算出し、年平均改善額がプラスであれば、長寿命化型改善事業によるLCCの縮減効果があると判断できる。

【ライフサイクルコストの算出イメージ図】



出典：公営住宅等長寿命化計画策定指針（改定） 国土交通省

御殿場市営住宅等長寿命化計画

御殿場市 都市建設部 建築住宅課 市営住宅スタッフ

〒412-8601 静岡県御殿場市萩原4 8 3 番地

TEL:0550-82-4229 FAX:0550-70-1030

E-mail:kenchiku@city.gotemba.lg.jp